（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）

図面№	図面名称	図面№	図面名称	図面№	図面名称	図面№	図面名称	図面№	図面名称
A-01	特記仕様書（1）	A-21	断面詳細図（6）	A-41	2階展開図（1）	S-01	構造特記仕様書	S-21	母屋割付及び取り付け詳細図
A-02	特記仕様書（2）	A-22	昇降路平面図及びＥＶ断面詳細図 屋外階段断面詳細図 各階準耐火壁及び遮音壁概要図	A-42	2階展開図（2）	S-02	鉄筋コンクリート造配筋標準図（1）	S-22	胴縁割付及び取り付け詳細図
A-03	特記仕様書（3）	A-23	建具伏図・防災図	A-43	2階展開図（3）	S-03	鉄筋コンクリート造配筋標準図（2）	S-23	階段詳細図
A-04	特記仕様書（4）	A-24	建具リスト1（木製建具）	A-44	2階展開図（4）	S-04	鉄骨構造標準図（1）		
A-05	特記仕様書（5）	A-25	建具リスト2（金属製建具・共通事項）	A-45	2階展開図（5）	S-05	鉄骨構造標準図（2）	G-01	外構図
A-06	配置図	A-26	1階天井伏図	A-46	各部詳細図	S-06	ＱＬデッキ標準図	G-02	各部断面詳細図
A-07	敷地面積算定・地盤面算定	A-27	2階天井伏図	A-47	日陰図	S-07	柱脚標準図	G-03	自転車置場設計図
A-08	求積図・面積表	A-28	1階平面詳細図（1）			S-08	柱型標準図	G-04	歩廊棟設計図
A-09	外部仕上表・共通事項	A-29	1階平面詳細図（2）	EV-01	エレベーター詳細図（1）	S-09	杭頭補強標準図	G-05	倉庫棟－意匠図（1）
A-10	内部仕上表	A-30	1階平面詳細図（3）	EV-02	エレベーター詳細図（2）	S-10	杭伏図	G-06	倉庫棟－意匠図（2）
A-11	1階平面図	A-31	1階展開図（1）	EV-03	エレベーター詳細図（3）	S-11	基礎伏図・基礎リスト	G-07	倉庫棟－構造図
A-12	2階平面図	A-32	1階展開図（2）	EV-04	エレベーター詳細図（4）	S-12	地中梁リスト	G-08	現況図・工事施設図・撤去図
A-13	立面図（1）	A-33	1階展開図（3）			S-13	2ＳＬ伏図・1階柱・2階梁リスト	G-09	撤去リスト
A-14	立面図（2）	A-34	1階展開図（4）			S-14	ＲＳＬ伏図・2階柱・Ｒ階梁リスト		
A-15	断面図	A-35	1階展開図（5）			S-15	軸組図（1） 1－4通		
A-16	断面詳細図（1）	A-36	1階展開図（6）			S-16	軸組図（2） Ａ－Ｅ通		
A-17	断面詳細図（2）	A-37	1階展開図図（7）			S-17	継ぎ手リスト表		
A-18	断面詳細図（3）	A-38	2階平面詳細図（1）			S-18	鉄骨詳細図（1）		
A-19	断面詳細図（4）	A-39	2階平面詳細図（2）			S-19	鉄骨詳細図（2）		
A-20	断面詳細図（5）	A-40	2階平面詳細図（3）			S-20	鉄骨詳細図（3）		

TITLE	NAME	DATE	SCALE		共同企業体名称	
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	タイトル・図面リスト	H25.5		代表設計者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作	匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋２１５ TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録 第２５－４６８号 一級建築士登録２９９９６９号 村中耕作	00 A 47

建　築　工　事　仕　様　書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工事場所　倉吉市福吉町

2．敷地面積　3,041.39㎡

3．地域地区　都市計画地域（ ⊙内 ・外 ）　市街化調整区域

用途地域等　（ 第一種住居地域・近隣商業地域 ）

4．建物概要

番号	名　称	工事種別	構　造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
1	倉吉福祉センター棟	新築	鉄骨造	2	681.91	1,192.12
2	倉庫棟	新築	木造	1	74.87	46.37
3	歩廊棟	新築	アルミニウム造	1	34.41	-
4	自転車置場棟	新築	鉄骨造	1	10.33	10.33

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様

（1）　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（2）　請負者は完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。

（3）　電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2．特記仕様

（1）　項目は番号に○印のついたものを適用する。

（2）　特記事項は⊙印のついたものを適用する。
⊙印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
⊙印と(※)印のついた場合は共に適用する。

（3）　項目に記載の（　　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［　　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表す。

（4）　Ｇ印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成２２年２月）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。

（5）　標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守（１．１．１３）の規定を優先する。

（6）　材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項目	特記事項

① 一般共通事項

① 適用基準等

※　建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成２２年版）（以下「標準詳細図」という）
※　建築工事監理指針（上巻・下巻）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成２２年版）
※　工事写真の撮り方（改訂第三版）建築編　建設大臣官房官庁営繕部監修
・
・
・

② 官公庁その他への手続（1.1.3）

工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする

3 電気保安技術者（1.3.3）

工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第５条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。

4 工事安全計画書（1.3.7）

建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する

⑤ 発生材の処理等（1.3.8）

・　引き渡しを要するもの（　　　　　　　　　　）
・　現場において再利用を図るもの（　　　　　　　　　　）
⊙　再生資源化を図るもの
⊙ コンクリート塊　⊙ アスファルトコンクリート塊　⊙ 建設発生木材

⑥ 環境への配慮（1.4.1）

化学物質を放散させる建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の１）から５）を満たすものとする
１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド又はスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散がきわめて少ないものとする
５）１）、３）及び４）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする
ホルムアルデヒド放散量　規制対象外
該当する建築材料
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるＪＡＳ適合品
ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
ｂ．接着剤等不使用
ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
ホルムアルデヒド放散量　第三種
該当する建築材料
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆品
②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品
③旧ＪＩＳのＥｏ品
④旧ＪＡＳのＦｃｏ品

⑦ 材料の品質等（1.4.2）

本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける
ＪＩＳ又はＪＡＳマーク表示のない材料及びその製造業者等又は、別表に示す材料・機材等の製造業者等は、次の（１）から（６）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける
（１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（３）安定的な供給が可能であること
（４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
（５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場で施工体制が整えられていること）

別表

床型枠用鋼製デッキプレート	オーバーヘッドドア
鉄骨柱下無収縮モルタル	防水剤
無収縮グラウト材	現場発泡断熱材
乾式保護材	フリーアクセスフロア
透水・保水性床タイル及びブロック	可動間仕切
既成調合モルタル	移動間仕切
ルーフドレン	トイレブース
吸水調整材	煙突用成形ライニング材
アルミニウム製建具	天井点検口
鋼製建具	床点検口
鋼製軽量建具	グレーチング
ステンレス製建具	屋上緑化システム
錠前類	トップライト
クローザ類	エポキシ樹脂
自動扉機構	タイル部分張替え用接着剤
自閉式上吊り引戸機構	ポリマーセメントモルタル
重量シャッター	既成調合目地材
軽量シャッター	鋳鉄製ふた

⑧ 特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法による

⑨ 技能士（1.5.2）

下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと
（技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者）
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札（下図参考）を常時着用すること

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	⊙ とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	⊙ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	⊙ 型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	⊙ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	⊙ 構造物鉄工作業
	とび	⊙ とび作業
コンクリートブロック・ＡＬＣ	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業
パネル・押出成形セメント板工事	ＡＬＣパネル施工	・ ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ⊙ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法 ・ 防水工事作業 ・ ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	・ タイル張り作業
木工事	建築大工	⊙ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	⊙ 内外装板金作業
	スレート施工	・ スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工	⊙ 鋼製下地工事作業
	建築板金	⊙ 内外装板金作業
左官工事	左官	・ 左官作業
建具工事	サッシ施工	⊙ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	⊙ ガラス工事作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	⊙ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	⊙ プラスチック系床仕上工事作業 ⊙ カーペット系床仕上作業 ⊙ ボード仕上工事作業
	表装	⊙ 壁装作業
排水工事	配管	・ 建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・ 溶解ペイントマーカー工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・ 造園工事作業
畳工事	畳	・ 畳製作作業

《技能士名札参考図》

□ 技能士 ―― 技能士の職種により色を変えることも可
職種　建築大工 ―― 技能士の種別
級別　１級 ―― 技能士の級の別
氏名　○山○夫
血液型　○型
勤務先　○○工務店
自宅　鳥取市 ―― 技能士本人の住所
発行　○○○○○○○○会 ―― 名札の発行元
写真（30×40）
55㎜
90㎜

10 化学物質の濃度測定（1.5.9）

図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するパッシブ型採取機器を用いて、次の要領で測定及び分析を行う
・　パラジクロロベンゼン
①３０分間換気
測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する
②５時間閉鎖
①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする
③測定
イ　②の状態のままで測定する
ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する
ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする
④分析
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する
⑤その他
監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること

⑪ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	原版の大きさ(㎜)
※ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	2部	・ 24× 36以上
※ 完成写真	カラーサービス判	⊙ 内部各室１箇所	2部	・ 24× 36以上
		・ 外部　箇所	2部	・ 24× 36以上
・	カラーキャビネ判	・ 内部　箇所	部	・ 24× 36以上
		⊙ 外部 4 箇所	2部	・ 24× 36以上
⊙ パネル	カラー	・ 四ッ切 1 箇所	2部	・ 100×125以上
		⊙ 半切　箇所		・ 24× 36以上
		・ 全紙　箇所		
・				

⊙ 電子データ及びネガの提出[工事記録写真]　（⊙ 要 ・ 不要）
⊙ 電子データ及びネガの提出[完成写真]　（⊙ 要 ・ 不要）

⑫ 完成時の提出図書（1.7.1~2）

下記のものを監督職員に提出する
⊙ 原図Ａ１版又はＡ２版（設計図の第２原図訂正不可）　1 部
⊙ ＣＡＤデータ　1 部
⊙ 原図の陽画複写紙の２つ折製本　3 部
⊙ 原図の縮小版の陽画複写紙の２つ折製本（Ａ４版）　2 部
・ 複写　縮小版Ａ３バラ焼　部

完成図の種類及び内容
⊙ 案内図・配置図・面積表 ： 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（ＢＭの表示）
⊙ 平面図 ： 室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する
⊙ 立面図 ： 外壁仕上等を表示する
・ 断面図 ： 階高、天井高等を表示する
⊙ 仕上表 ： 屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する
・

⑬ 施工図及び施工計画書（1.7.2）

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

⑭ 設備工事との取り合い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける

設備工事との取り合い		建築	電気	機械
⊙ コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	※	・	・
	スリーブ・箱入れ	・	※	※
⊙ 鉄骨造の開口及び補強		※	・	・
⊙ 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（釘処理共）		・	※	・
⊙ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		・	※	・
⊙ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの	仮枠	・	※	・
仮枠及び埋込部分の補強	補強	※	・	・
⊙ ＯＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	・	・
⊙ 埋込型機器取付用の天井	切込	・	※	※
壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・	・
⊙ 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	・	・
・ 電気室、自家発電室などの基礎及びピット（蓋を含む）		※	・	・
・ テレビアンテナ	基礎	※	・	・
	アンカーボルト	・	※	・
⊙ 天井点検口		※	・	・
⊙ 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・	※	※
	屋上設備	※	・	・

⑮ 設計ＧＬ

(※) 図示による　・（　　　）

⑯ 耐荷重及び耐外力

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速　Ｖｏ＝　30ｍ／ｓ
地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　・(Ⅲ)　・Ⅳ
積雪区分　建設省告示第１４５５号　別表（　　　）

⑰ 保全に関する資料（1.7.3）

下記のものをＪＩＳ　Ａ４版ファイルに製本して監督職員に提出する。
⊙ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表
⊙ 機器性能試験成績書及び取扱説明書
⊙ 保証書
⊙ 官公署届出書類（保守に必要とするもの）
⊙ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書
・
・

⑱ 火災保険等

工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する
（保険の加入期間は、工事完成引き渡しまでとする）

19 環境配慮

鳥取県公共工事環境配慮指針　※ 対象工事　⊙ 非対象工事

⑳ 建設リサイクル法

(※) 対象工事　・ 非対象工事

21 鳥取県福祉のまちづくり条例

※ 対象工事　⊙ 非対象工事

22 鳥取県景観形成条例

※ 対象工事　⊙ 非対象工事

23 バリアフリー法

※ 対象工事　⊙ 非対象工事

㉔ 省エネ法

(※) 対象工事　・ 非対象工事

② 仮設工事

① 足場その他（2.2.4）

足場を設ける場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成２２年版２．２．４（ｂ）によるほか、設置においては「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと

② 監督職員事務所（2.3.1）

(※) 設ける　㎡　・ 設けない
備品等は、監督職員の指示を受けて設置すること

③ 表示板

(※) 工事表示板（900 × 1,200）

建築工事中
工事名　○○○○○○新築工事
構造・規模　○○○○○造　○階建
延べ面積○○○○m2
工事期間　平成○年○月から○年○月まで
設計者　○○○○○○設計
監理者　○○○○○○設計
施工者　○○○○○建設
連絡先昼間　○○－○○○○
夜間　○○－○○○○
現場責任者　○○ ○○
発注者
○○○○○○○
連絡先　○○－○○○○

・ お願い表示板（1,200 × 1,600）

御通行中の皆様へ
平成○○年○月工事完成予定
簡単なパース、又は立面図を掲載する
（拡大カラーコピーを張り付けてもよい）
事業の目的
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
現在の進捗率○○%
事業協力のお願い
工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願いします。
施工者　○○○○○○建設
連絡先　ＴＥＬ　○○－○○○○
発注者　○○○○○○○
連絡先　○○○○○○○
ＴＥＬ　○○－○○○○

記入要領
１．書体は角ゴシックとする。
２．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

④ 工事用水

構内既存の施設　※ 利用できない　⊙ 利用できる（(※) 有償　・ 無償）

⑤ 工事用電力

構内既存の施設　※ 利用できない　⊙ 利用できる（(※) 有償　・ 無償）

6 工事用仮設物

構内既存の施設　・ できる　・ できない

7 工事現場のイメージアップ

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土（3.2.3）

埋戻し土　種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　表3.2.1
・ 建設汚泥から再生した処理土Ｇ
Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う

盛土　種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種
・ 建設汚泥から再生した処理土Ｇ
Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う

② 建設発生土の処理（3.2.5）

※ 構外指示の場所に処分
・ 構内指示場所に敷き均し
・ 構内指示場所に堆積

④ 地業工事

① 共通仕様（4.2.2）（4.2.4）

試験杭　（　　）本　位置は構造図による
地盤の平板載荷試験　※ 行わない
・ 行う（　　）箇所
位置、深さ、対象地盤及び最大載荷荷重は構造図による
試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による

② 既製コンクリート杭地業（4.3.2~7）

材料
(※) 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭）
・ 外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭）
⊙ プレストレス鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭）
・

	符号	杭径 (㎜)	杭長（ｍ）及び種別	継手数	本数	コンクリート強度 (Ｎ／㎟)	長期設計支持力 (ｋＮ／本)	備考
試験杭	図示	図示	７．０ｍ	０	２	図示	図示	
本杭	図示	図示	７．０ｍ	０	２３	図示	図示	

ＳＣ杭の鋼管　・ＳＫＫ４００　・ＳＫＫ４９０　・ＳＴＫ４００　・ＳＴＫ４９０
ＳＣ杭の板厚　※ 構造図による
ＰＨＣ杭の種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
ＰＲＣ杭の種別　・Ⅰ種　・Ⅱ種　・Ⅲ種　・Ⅳ種
なお、特定埋込杭工法における杭材料はＪＩＳ又は認定条件に適合するものとする

先端部材形状　※ 開放形　・ 閉そく平たん形
ネガティブフリクション対策
※ 不要　・ 要（構造図による）
杭の継手　・ 溶接継手
・ 機械式無溶接継手（※ 建築基準法に基づき評定等を受けたもの）
機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う
施工は評定等に記された施工管理基準による
杭頭の処理　※ 切断しない　・
杭頭の中詰材料　※ コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）
支持地盤　※ 構造図による
施工方法
※ 特定埋込み杭工法　・ セメントミルク工法
・ Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・ Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝　、β＝　、γ＝　を採用できる工法
工法　・ プレボーリング拡大根固め工法　・ 中掘り拡大根固め工法
杭周固定液の使用　・ する　・ しない
杭の精度
水平方向の位置ずれ　⊙ １００mm以下　・
杭の傾斜　・ １／１００　⊙ 評定条件または認定条件による　・

④ 地業工事

3 鋼杭地業 (4.4.2~5)

種類の記号　・ＳＫＫ４００　・ＳＫＫ４９０　・

寸法、継手等

	符号	杭径（mm）	杭長（m）及び厚さ（mm）	長期設計支持力（kN／本）	本数	備考
試験杭						
本杭						

杭先端部形状　・開放形　・半開放形　・閉そく形　・

先端部の補強　※ 図４．４．１、表４．４．２による　・

施工方法　※ 特定埋込杭工法
・中堀り拡大根固め工法　・
・
国土交通省告示第１１１３号第６に定める地盤の許容支持力式の内α、β、ｒが下記の値をとれる工法とする
α＝（　　）、β＝（　　）、ｒ＝（　　）

杭の精度　水平方向の位置ずれ　・杭径の１／４かつ１００mm以下　・
杭の傾斜　・１／１００以内　・

試験杭　試験杭の位置　※ 構造図による　・
試験杭の施工　※ 本杭の施工に先立ち行う　・

杭の現場継手　・溶接継手
形状　※ ＪＩＳＡ５５２５による　・
溶接材料　※ ７．２．５(a)(b)による　・７．２．５(a)(b)以外（　　）
溶接部の確認方法　※ ７．６．１０による　・
抜取り率　・全数　・
・無溶接継手
工法　※ 建築基準法による審査を受けた工法　・
検査　※ 建築基準法による審査により定められた項目　・
施工　※ 建築基準法による審査された施工管理基準による　・

杭頭の処理　・処理しない
・処理する
処理方法　※ 構造図による　・
補強方法及び試験、溶接部確認方法　※ 構造図による　・
杭頭の中詰め材料　※ 基礎のコンクリートと同調合のもの　・

4 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.2~6)

施工管理技術者　※ 適用する

杭断面・長期許容支持力

	符号	軸径（mm）	杭長（m）	拡底径（mm）	セット数	長期設計支持力（kN／本）	備考
試験杭							
本杭							

材料　表4.5.1

コンクリートの種別及び設計基準強度
（　　）種かつ（　　）N／mm²以上
構造体コンクリート強度と供試体の強度差を考慮した割り増し　・行う　・３N／mm²　・　※ 行わない
気温によるコンクリート強度の補正（Ｔ）　・行う　※ 行わない
セメントの種類　※ 高炉セメントＢ種 [G]
鉄筋の種類　※ ５章鉄筋工事の鉄筋の種類による
鋼管巻きの材料　・ＳＫＫ４００　・ＳＫＫ４９０　・ＳＴＫ４００　・ＳＴＫ４９０
鋼管径・板厚・長さ　※ 構造図による

掘削工法　・アースドリル工法（※ 安定液使用　・無水掘削）
・リバース工法
・オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない）

併用する工法　・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・拡底杭工法（※ 安定液使用　・　　）

孔壁測定　※ 行う
測定方法　※ 超音波測定器
測定場所　※ 試験杭（　　）箇所及び本杭（　　）箇所
・行わない

支持地盤　※ 構造図による

帯筋　※ 構造関係共通事項６.２（ａ）（３）⑥（ロ）による
・構造図による

鉄筋かごの補強　※ 構造図による

鉄筋の最小かぶり厚さ　・１００mm　・

5 直接基礎

支持地盤の設計支持力度　・（　　）ｋＮ／㎡以上
支持地盤　※ 構造図による

⑥ 砂利地業 (4.6.2~3)

材料　※ 再生クラッシャラン [G]　・切込み砂利及び切込み砕石

厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
※ ６０	
⊙	図示

⑦ 捨てコンクリート地業 (4.6.4)

コンクリートの仕様　※ コンクリート工事無筋コンクリートによる

厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
※ ５０	
⊙	図示

⑧ 床下防湿層 (4.6.5)

施工範囲　※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
防湿工法　※ ポリエチレンフィルム厚さ０．１５mm以上
防湿層の位置　※ 図示による

9 地盤改良

工法　・浅層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による
・深層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による

10 置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状　※ 構造図による
支持地盤の長期設計支持力　・（　　）（KN／㎡）
支持地盤　※ 構造図による
コンクリートの仕様　※ コンクリート工事　無筋コンクリートによる
型枠使用の有無　・無し　※ 有り

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類 (5.2.1)

表5.2.1

規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径（mm）	備考
異形鉄筋（鉄筋コンクリート用棒鋼）	※ ＳＤ２９５Ａ		※ Ｄ１６以下	
	※ ＳＤ３４５		※ Ｄ１９以上	

② 溶接金網 (5.2.2)

種類の記号	使用箇所	呼び径・寸法・形状（mm）
	コンクリート舗装	φ6　１５０目

③ 圧接完了後の試験 (5.4.9)

外観試験　※ 行う（全数）
抜取試験　※ 超音波探傷試験　・引張試験

④ 鉄筋の継手 (5.3.4)

継手の工法

部位	継手工法と適用径の範囲
・柱主筋	※ ガス圧接（Ｄ１９以上）
・梁主筋	※ ガス圧接（Ｄ１９以上）
・基礎スラブ、耐圧スラブ	・ガス圧接（　　）
・土圧壁など	・重ね継手（　　）
・耐震壁	※ 重ね継手
・杭主筋	※ 重ね継手

鉄筋の継手位置　・構造関係共通事項による　・構造図による
鉄筋の継手長さ　※ ４０ｄと標準仕様書　表５.３.２の重ね継手長さのうち、大きい値とする。
・４０ｄ　・

⑤ 基礎梁主筋の継手

・構造関係共通事項　図５．２による（※ 全て　・構造図による　・　）
・構造関係共通事項　図５．３による（※ 全て　・構造図による　・　）
・構造関係共通事項　図５．４による（※ 全て　・構造図による　・　）

⑥ 鉄筋の定着長さ (5.3.4)

※ ４０ｄと標準仕様書　表５.３.４の定着長さのうち大きい値とする
・４０ｄ　・

⑦ 耐久性不利な箇所の鉄筋最小かぶり厚さ (5.3.5)

耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による

施工箇所	構造関係共通図の値に加える寸法（mm）
⊙ 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打ち放し面	※ １０　・
・塩害の恐れがある部分	・２０　・３０　・図示

⑧ 各部配筋

※ 構造関係共通事項による　⊙ 図示

⑨ 帯筋

※ Ｈ形　構造関係共通事項　図６．２（ａ）①Ｈ形による
（※ 全て　・構造図による　・　）
・Ｗ－Ｉ形　構造関係共通事項　図６．２（ａ）②Ｗ－Ｉ形による
（※ 全て　・構造図による　・　）
・ＳＰ形　構造関係共通事項　図６．２（ａ）⑤ＳＰ形による
（※ 全て　・構造図による　・　）

⑩ 壁開口部の補強

一般壁　・Ａ形　構造関係共通事項　表８．３による
（※ 全て　・構造図による　・　）
※ Ｂ形　構造関係共通事項　表８．４による
（※ 全て　・構造図による　・　）
⊙ 構造図による
耐震壁　※ 構造図による

⑪ 梁貫通孔の補強形式

※ Ｈ形　構造関係共通事項　表１１．１による
（※ 全て　・構造図による　・　）
・Ｍ形　図示による
（※ 全て　・構造図による　・　）
・ＭＨ形　図示による
（※ 全て　・構造図による　・　）
⊙ 構造図による

12 構造（耐震）スリット

耐震スリットの設置箇所　※ 構造図による　・
方式　※ 完全　・部分
形状　※ 構造図による
耐火、遮音、防水処理への配慮
適用箇所　※ 意匠図による　・
仕様　※ 意匠図による　・
耐震スリット部詳細　※ 図示による　・

13 特殊な鉄筋継手

機械式継手
使用箇所　※ 構造図による
性能（Ｈ１２建告第１４６３号に適合するもの）　・Ａ級　・
機械式継手の種類　・グラウト材必要　・グラウト材不要

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの種類及び強度 (6.1.3~4) (6.2.1~3)

※ 普通コンクリート

設計基準強度 Ｆｃ（N／mm²）	気乾単位容積質量（t／m³）	スランプ（cm）	施工場所
・２１　※ ２４　・	２．３程度	※ １５　・１８	建物躯体（基礎、基礎梁、土間スラブ）
		※ １８	建物躯体（基礎、基礎梁、土間スラブ以外）
・１８	２．３程度	※ １５　・１８	上記以外

② レディーミクストコンクリート (6.1.5) (6.4.1~2)

※ Ｉ類（ＪＩＳ　Ａ５３０８「レディーミクストコンクリート」に適合）　表6.1.1
・II類

③ セメントの種類 (6.3.2)

表6.3.1

セメントの種類	施工場所
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種	
・高炉セメントＢ種 [G]	

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ　Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱		
	７日目	３５２Ｊ／ｇ以下
	２８日目	４０２Ｊ／ｇ以下

④ 骨材の種類 (6.3.3) (6.5.4)

アルカリシリカ反応による区分
※ Ａ
・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量 Ｒｔ＝３．０ｋｇ³／ｍ 以下）

⑤ 混和材料 (6.3.5)

※ 混和剤（ＪＩＳ　Ａ６２０４に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤）
・混和材（ＪＩＳ　Ａ６２０１に適合するフライアッシュのＩ種又はII種、ＪＩＳ　Ａ６２０６に適合する高炉スラグ微粉末又はＪＩＳ　Ａ６２０２に適合する膨張材）

⑥ コンクリートの製造工場の選定 (6.4.1~2)

生コンクリート工場を選定する際には、ＪＩＳマーク表示認定工場で、かつ、コンクリート主任技師等の常駐と全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等から選定すること。

⑦ 無筋コンクリート (6.14.2~3)

適用箇所　※ 捨てコンクリート、防水層の保護コンクリート
設計基準強度Ｆｃ（N／mm²）　※ １５または１８
セメントの種類　※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントＡ種
・高炉セメントＢ種 [G]

⑧ ひび割れ誘発目地 打継目地 (6.6.3) (6.9.2~3)

目地寸法　※ ９．６．３（ａ）（１）による　・
間隔　※ 図示による　・
位置　※ 図示による　・
ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する

⑨ コンクリートの仕上り (6.2.5) (6.6.6) (6.9.3)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　表6.2.3

種類	適用箇所
・Ａ種	
・Ｂ種	
・Ｃ種	

⑩ 型枠 (6.9.2~4)

外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ　※ ２０mm　・意匠図による
せき板の材料　※ 合板
・床型枠用鋼製デッキプレート
施工範囲　※ 構造図による　・
スリーブ材　※ 標準仕様書６.９.３（ｉ）（２）　・図示
コンクリートの打増し厚さ　※ １０mm
断熱材兼用型枠
・使用する　※ ２５mm以下かつ熱抵抗値１ｍｈ℃／ｋＣａｌ以上
・
・使用しない
メッシュ型枠
・使用する
使用部位　図示による
※ 使用しない

11 コンクリートの単位水量測定

・行わない
・行う
実施要領　・構造図による
※ 構造関係共通事項による

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨の製作工場 (7.1.3)

製作工場の加工能力
※ 建築基準法第７７条の５６第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び、（株）全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（・J　・R　※M　・H　・S）グレード」としてとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・監督職員の承諾する製作工場

② 施工管理技術者 (7.1.3~4) (7.6.2) (7.12.2)

※ 適用する　・適用しない

③ 鋼材 (7.2.1)

鋼材の材質　表7.2.1

種類の記号	使用箇所	規格等
SSC400	母屋、胴縁	※ ＪＩＳ規格による
SS400	梁、GPL	※ ＪＩＳ規格による
STKR400	間柱、柱(1C3)	※ ＪＩＳ規格による
BCR295	柱	※ ＪＩＳ規格による
SN400C	BPL(1C3柱)	

④ 高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)

区分
※ トルシア形高力ボルト　２種（Ｓ１０Ｔ）建築基準法に基づき認定を受けたもの
・ＪＩＳ形高力ボルト　２種（Ｆ１０Ｔ）
高力ボルトの径　※ 構造図による
すべり係数試験　※ 行わない　・行う

⑤ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.12,4)

セットの種類
※ １種（Ｆ８Ｔ相当）建築基準法に基づき認定を受けたもの
摩擦面の処理
※ ブラスト処理（表面粗度５０μmＲｚ以上）
・りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法　※ 構造図による

⑥ 普通ボルト (7.2.3)

ボルト及びナットの材料等　※ 表７．２．３による
ボルトの径　・
座金　※ 表７．２．３（ｄ）による

⑦ アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3)

材質
・構造用　⊙ ＳＮＲ４００Ｂ　⊙ ＳＮＲ４９０Ｂ（ﾊｲﾍﾞｰｽ）
・建方用　・ＳＳ４００　・
アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げ
・構造用　※ ＪＳＳII－１３－２００４「（社）日本鋼構造協会規格／建築構造用転造ねじアンカーボルト・ナット・座金のセット」
・
・建方用　※ 普通ボルトによる
・
保持及び埋込み工法　表7.10.1
・構造用　※ 構造図による
・建方用　・表７．１０．１（・Ａ種　※ Ｂ種　・Ｃ種）による

⑧ ターンバックル (7.2.6)

種類
建築用ターンバックル胴　※ 割枠式　・
建築用ターンバックルボルト　※ 羽子板ボルト　・
ボルトの呼び　※ 構造図による　・
ボルトの材質　・Ｆ１０Ｔ　※ Ｆ８Ｔ

⑨ デッキプレート (7.2.7)

材質、形状及び寸法　※ 構造図による

⑩ スタッドボルト

※ 頭付スタッド（ＪＩＳ　Ｂ１１９８）

径（呼び名）	長さ（呼び長さ）mm	使用箇所
１６φ	・８０　・１００　・１２０	
１９φ	・８０　・１００　・１３０　・１５０	
２２φ	・８０　・１００　・１３０　・１５０	

⑪ 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3)

モルタルの種別
※ 無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料及び調合
※ ７．２．９（ｂ）（１）～（３）による
無収縮モルタルの品質及び試験方法

工法の種別
※ 表７．１０．２（※ Ａ種［モルタル厚さ５０］　・Ｂ種［モルタル厚さ３０］）による
・図示による

⑫ 仮組 (7.3.10)

※ 行わない　・行う

⑬ 高力ボルト接合

スプライスプレートの材質　※ 鋼材の鋼種はＳＮ－Ｂとし、引張強さによる区分は母材と同等とする
フィラープレートの材質　※ ＳＳ４００とする

⑭ 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)

開先の形状　※ 構造関係共通事項（５）３．溶接継手の種類別開先規準による
・構造図による
スカラップの形状　※ 構造関係共通事項（６）５．鉄骨溶接施工（３）による
・構造図による
鋼製エンドタブの切除する部分　※ 全て　・（　　）
完全溶込み溶接部の余盛り高さ　※（社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」付則６［鉄骨精度検査基準］付表３［溶接］による
エンドタブ・裏あて金　※ 鋼材の鋼種はＳＮ－Ｂとし、引張強さによる区分は母材と同等とする

⑮ 入熱パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
※ 構造関係共通事項による　・図示
適用箇所
※ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
・図示による

⑯ 溶接部の試験 (7.6.11)

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　表7.6.2~4
※ 行う　・行わない
工場溶接の場合
ＡＯＱＬ　※ ４．０％　・２．５％

節	※ 全て	・	・	・	・
検査水準	※ 第６水準	・	・	・	・

工事現場溶接の場合
ＡＯＱＬ　※ ４．０％　・２．５％
割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う

突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査
独立行政法人建築研究所監修
「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・抜き取り検査１　※ 抜き取り検査２

17 耐火被覆 (7.9.2~7)

種別

種別	材料・工法	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
	・	
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板	
	・	
・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール	
	・	
・ラス張りモルタル塗り	－	

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性能	適用箇所（部位・部分）

⑱ 建方精度 (7.10.2)

※（社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」付則６［鉄骨精度検査基準］付表［工事現場］による

⑲ 錆止め塗装 (7.8.1~4)

塗料の種別
亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
※ １８．３．２　表１８．３．２のＡ種　・
・ＥＰ－Ｇの適用箇所は１８．３．２　表１８．３．２のＣ種　・
耐火被覆材の接着する面への塗装
・行う
適用箇所　※ 構造図による　・
塗装の種別　※ 構造図による　・
※ 行わない

⑳ 溶融亜鉛めっき工法 (7.12.1~6)

※ 第７章１２節による

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 コンクリートブロック (8.2.2) (8.2.5) (8.3.2)

表8.3.1

適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※ 空洞ブロック１６　・空洞ブロックＷ－１６
衛生配管用裏積みブロック	※ 空洞ブロック０８　・空洞ブロック１６

厚さ　図示による

2 ＡＬＣパネル (8.4.2~5)

表8.4.2~4

種類	厚さ（mm）	単位荷重（N／㎡）	耐火性能	工法種別
・外壁用	※ １００　・		・	・Ａ種・Ｂ種・Ｃ種
・間仕切用	１００		・	・Ｂ種・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種
・屋根用	※ １００　・		・３０分	・Ｆ種
・床用	・１００　・１５０		・６０分　・１２０分	・Ｆ種

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の
目地幅（mm）　※ ２０　・
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する

3 押出成形セメント板（ＥＣＰ） (8.5.2~4)

表8.5.1~2

	表面形状	厚さ（mm）	耐火性能	取付工法の種別
・外壁	※ フラットパネル	・５０　・６０	・	・Ａ種　・Ｂ種
	・デザインパネル（図示）	・５０　・６０	・	
・間仕切壁	※ フラットパネル	・５０　・６０	・	・Ｂ種　・Ｃ種
	・デザインパネル（図示）	・５０　・６０	・	

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水 (9.2.2~5)

アスファルトの種類　3種
防水層の下地のモルタル塗り　・　適用する（施工範囲　・　図示　・　）

屋根保護防水　表9.2.3~6

種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・ A－1			※ ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 ・	※ 乾式保護材 ・ コンクリート押え
・ A－2				
・ B－1				
・ B－2				
・ AI－1		※ 押出法ポリスチレンフォーム 3種bスキン層付 厚さ ※ 25mm ・ 50 ・	※ フラットヤーンクロス 70g／㎡程度 ・	
・ AI－2				
・ BI－1				
・ BI－2				

断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること

屋根保護防水断熱工法の断熱材（オゾン層破壊物質を含まないもの。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること） G
材質　※　押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付（JIS　A9511）
厚さ　※　25㎜　・
防水立上がり部の保護
※　乾式保護材
無石綿繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したもの（窯業系パネル）とし、寸法は図示による
品質・性能等
寸法の許容差　厚さ：－5～＋10％、幅：±1％
曲げ強さ、　曲げモーメント（N・cm）（スパン50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント）標準時450以上、凍結融解完了時（試験サイクル数）320以上（200）耐凍結融解性能（試験サイクル数：上記）試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと
吸水性　（20％以下）　吸水による長さ変化率（0．07％以下）
耐火性能　不燃
耐衝撃性　高さ1．0mから試験体の弱点部に500gのおもりを落としたとき、裏面に達する穴があかないこと
出荷時の含水率　10％以下
・　れんが

屋根露出防水　表9.2.7

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ D－1		・ D－2	

屋根露出防水　表9.2.8

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ E－1		・ E－2	

保護層　・　設ける（図示）

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2~3)

表9.3.1

工程による種別	施工箇所	改質アスファルトシート 種類		厚さ（mm）
・ AS－1		下層用	※非露出複層防水用R種 ・	※2.5mm以上 ・
		上層用	※露出複層防水用R種 ・	※3.0mm以上 ・
・ AS－2		※露出単層防水用R種 ・		※4.0mm以上 ・

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~3)

防水層の種類　表9.4.1

種別	施工箇所	ルーフィングシートの厚さ（mm）	絶縁用シートの材種	仕上塗料
・ S－F1		※ 1.2 ・		・ カラー ※ シルバー
・ S－F2		※ 2.0 ・		
・ S－M1		※ 1.5 ・	※発泡ポリエチレンシート ・	・ カラー ※ シルバー
・ S－M2		※ 1.5 ・		
・ S－M3		※ 1.2 ・	※発泡ポリエチレンシート ・	

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力に対した工法を施工計画書として提出する

④ 塗膜防水 (9.5.3)

防水層の種類　表9.5.1~2

種別	施工箇所	備考
・ X－1		仕上げ塗料塗り　・ カラー
⊙ X－2	玄関ポーチ	※ シルバー
・ Y－1	※ 地下外壁防水	
・ Y－2	※ 屋内防水	Y－2の保護層　・ 設ける

5 脱気装置

防水種別	脱気装置の種類	材質	設置数量
D－1 D－2	※ 製造所の仕様による ・	※ 製造所の仕様による ・	※ 製造所の仕様による ・
X－1	・ 平面部脱気型	・ ポリエチレン樹脂 ・ ABS樹脂 ・ ステンレス ・ 鋳鉄 ・	（　）個／㎡
	・ 立上り部脱気型	・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ・ ステンレス ・ 銅 ・	（　）個／㎡

⑥ シーリング用材料 (9.6.2)

種類及び施工箇所（図示以外は（表9．6．1）による）
シーリング面への仕上塗材仕上げ等　(※) 行わない　⊙ 行う

⑦ シーリング材の試験 (9.6.5)

接着性試験
⊙ 行う（ (※) 簡易接着性試験　・　引張接着性試験　）
・　行わない（試験成績書がある場合）

⑩ 石工事

① 石材 (10.2.1)

種類　※　天然石　・　人工石
品質　※　1等品（床以外）　※　2等品（床）
形状、寸法及び厚さ　※　図示による
石材の種類及び表面仕上げ　表10.2.1~2

施工箇所	種類（産地、名称）	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無
内部	カレドニアブラウン		
外部	中国産御影石		

2 取付け金物 (10.2.2)

乾式工法用金物の種類　・　スライド方式　・　ロッキング方式　表10.2.4

3 その他の材料 (10.2.3)

・　石裏面処理材　（　）
・　裏打ち処理材　（　）
・　ドレンパイプの材質　（　）
・　金物固定充填材料　（　）

⑪ タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)

外壁　※　図示による　・　表11．1．1による　・　耐震スリット部

② 材料 (11.2.1)

タイルの形状、寸法等

主な用途による区分	形状寸法（㎜）	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 あり	なし	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	備考
床	150角	・	・	・	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受けること

役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内装	（標準一体成型品以外は接着成型品とする）
外装	出隅、天端出隅、窓台、マグサ

タイルの試験張り　※　行わない　・　行う（　）
タイルの見本焼き　※　行わない　・　行う（　）
有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

3 外部陶磁器質タイル後張り (6.9.3)(11.3.3)

施工箇所　※　庁舎外壁（ホールを含む）　・　図示による
適用タイル　・　小口タイル　・　二丁掛タイル　・
躯体表面処理　※　2階以上を行う　・　行わない
躯体表面処理工法の種類
※　目荒し工法
高圧水洗による目荒しは、50Mpa以上の水圧で2．5分／㎡程度とし、仕上がり面の程度は監督職員の承諾を受ける
施工箇所の躯体打増しは、図示による
・　MCR工法
MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による
施工箇所の躯体打増し厚さ及び範囲は、図示による
下地モルタル塗り　※　モルタル　・　ポリマーセメントモルタル　・　行わない
ポリマーセメントモルタルの調合は、15．2．3（d）による
工法　※ 密着張り　・改良圧着張り　・改良積上張り　・モザイクタイル張り　表11.3.2

4 内部陶磁器質タイル後張り (11.3.3)

施工箇所　※　便所等　・　図示による
適用タイル　・　内装陶器質タイル　・　50角モザイクタイル　・
下地モルタル塗り　※　モルタル　・　ポリマーセメントモルタル　・　行わない
ポリマーセメントモルタルの調合は、15．2．3（d）による
工法　※　壁タイル接着剤張り　・　改良積上げ張り　・　表11.3.2

⑫ 木工事

① 表面仕上げ (12.1.4)

・　A種　※　B種　・　C種

② 木材 G (12.2.1)

代用樹種を使用できない箇所（　）
保存処理木材　・　使用する（使用箇所　）
間伐材等　・　使用する（使用箇所　）
現場搬入時の木材の含水率　※　A種　・　B種
造作材の材面の品質の基準　※　A種　・　B種
構造材及び下地材の品質の基準　※　標準仕様書12.2.1（b）（3）による
樹種
※図示による［代用樹種の使用：※　認めない　⊙　認める(監督職員と協議要)］
※木材のうち、杉、桧及び松は、「鳥取県産材産地証明制度」の認証を受けたものを使用する。

③ 集成材 G (12.2.2)

ホルムアルデヒド放散量　(※) 規制対象外　・　第三種

・　構造用集成材

施工箇所	強度等級	材面の品質	使用環境	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
		・1種 ※2種 ・3種	・1 ・2			・
						・
						・

・　構造用単板積層材

施工箇所	区分	使用環境	曲げ性能	水平せん断性能	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
	・特級 ・1級 ・2級	・1 ・2					・
							・
							・

⊙ 造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
	※ 1等 ・ 2等			・
				・
				・

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ（mm）	寸法（mm）	間伐材等の適用
	※1等 ・2等					・
						・
						・

・　単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法（mm）	間伐材等の適用
	・ 塗装加工 ・ 加工しない（・1等 ・2等 ・3等）	・ する ・ しない		・

④ 床張り用合板及びその他の合板 G (12.2.3)(19.7.2)

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種　表15.5.1

⊙ 普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
会議室倉庫壁	4.0	⊙2種	シナ		・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理	・
床下張・祭壇庫床	12.0	(※)1種	ラワン		・ する ・ しない	・	・
押入床	9.0	・ 2種					
							・

⊙ 構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	有効断面係数化	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	間伐材等の適用
倉庫棟野地板	12．0	⊙特類 ※ 1類	・ 1級 ※ 2級		ラワン	※ C－D ・	・ する ・ しない	・
								・
								・

・天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板の樹種名	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
（壁、天井）	※ 4.2 ・ 3.2 ・ 6.0	・ 1類 ・ 2類	・ なら ・ しおじ	・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理 ・ しない	・
						・

・特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	加工面	単板の樹種名	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
（壁、天井）	※ 4.0 ・	・ 1類 ・ 2類	・ F ・ FW ・ W ・ SW	・ 表面 ・ 両面		・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理 ・ しない	・
								・

⑤ 接着剤 (12.2.6)

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という）を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
(※) 規制対象外　・　第三種

⑥ 防腐、防蟻処理 (12.2.8~9)

防腐処理　・　行う
防蟻処理　・　行う（施工範囲　※　図示　・　）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存（防腐・防蟻処理）剤はクロルピリホスを含有しない薬剤とし、監督職員の承諾するものとする

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺 (13.2.2~3)

長尺金属板の種類　表13.2.1
※　塗装溶融55％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGLCCR－20－AZ150）
・　塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGCCR－20－Z25）
・　ポリ塩化ビニル被覆金属板（A種、SG）
・　塗装溶融亜鉛－5％アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CZACCR－20）
・
長尺金属板の厚さ（㎜）
一般部　・　0．3　・　0．35　※　図示　　谷部　・　0．3　※　図示
屋根葺き形式　・　横葺　・　芯木なし瓦棒葺　・　立平葺　⊙　図示
屋根葺き工法を定める専門工事業者　※　監督職員の承諾する業者
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する

2 折板葺 (13.3.2)

形式　※　重ね形又ははぜ締め形　・　かん合形　表13.2.1
山高　㎜　山ピッチ　㎜
耐力　※
厚さ　※　0．8㎜　・　0．6㎜
材料　※　塗装溶融55％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGLCCR－20－AZ150）
・　塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGCCR－20－Z25）
・　ポリ塩化ビニル被覆金属板（SG　A種）
・　塗装溶融亜鉛－5％アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CZACCR－20）
軒先面戸板　・　適用する
ペフ張り　・　適用する（t＝　mm）［・　不燃材　・　30分耐火］
・　適用しない
変形防止材　・　鉄鋼製　・　ステンレス製
鉄鋼製の表面処理の上塗り　・　行う（　）　・　行わない
表面処理の上塗り　・　行う　・　行わない
耐火性能　・　30分　・　なし
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する

3 粘土瓦葺 (13.4.2~3)

材料　：　※　JIS A 5208 及び図示による　産地［　］産
下葺材料
※　アスファルトルーフィング940　（ JIS A 6005 ）
・
桟木　樹種　：　※　杉　※　桧　・
寸法　：　※　21(w)×15(h)以上　・
補強用芯材　樹種　：　※　杉　※　桧　・
寸法　：　※　40(w)×30(h)以上　・
棟の工法　※　図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する

④ とい (13.5.2~3)

材種　※　配管用鋼管　表13.5.1
・　硬質ポリ塩化ビニル管（VP）［　※　RFVP G　・　VP　］
⊙　図示
鋼管製といの防露　※　行う（表13．5．4）　・　行わない
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量
※　規制対象外　・　第三種
とい受け金物　※　市販品　・　表13．5．2
飾り桝
ルーフドレイン　※　市販品　・　設けない

⑤ 鋼管製といの防露巻工法部等の処理 (13.5.3)

防露部　ステンレス（SUS304、厚さ0．2㎜）で被覆する　表13.5.4
高さ（㎜）　床　※　150　・
天井　※　30　・
防露を行わない場合　ステンレス製シーリングプレートを取付ける（床、天井共）

⑭ 金属工事

1 あと施工アンカー (14.1.3)

引抜き耐力の確認試験　※　機械的簡易引抜試験機による引張試験　・行わない
設計用引張強度［　］　・

② ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)

※　HL仕上げ　・　鏡面仕上げ　・
施工箇所［　］

③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)

表14.2.1

種別	施工箇所	種別	施工箇所
B－1種			
B－2種			
C－1種			

他の項目に特記されたものを除く

④ 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)

表14.2.2

種別	施工箇所	種別	施工箇所
A種	屋外階段・手摺		
C種			

他の項目に特記されたものを除く

⑤ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)

野縁等の種類　屋外　※　25型　・
屋内　※　19型　・　25型
屋外の軒天井、ピロティ天井等
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する
天井下地における耐震性を考慮した補強
※　14.4.4（h）による
・　天井のふところが3mを超える場合　補強箇所　※　図示
補強方法　※　図示

⑥ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.2~4)

スタッド、ランナー等の種類　表14.5.1
・　50形　・　65形　・　75形　・　90形　・　100形

⑦ 金属成形板張り (14.6.2~3)

表14.2.1

種別	※　アルミスパンドレル　・
製法	※　押出し　・　ロール
寸法（㎜）	板幅 板厚
表面処理	・　B－1種　・　B－2種
伸縮継手	・　設ける（図示による）　※　設けない
形状	・　図示による　・

8 アルミニウム製笠木 (14.7.2~3)

※　押出し形材　表14.7.1
部材の種類　・　250形（呼称肉厚は1．6以上）
・　300形（呼称肉厚は1．8以上）
・　350形（呼称肉厚は2．0以上）
表面処理　※　A－1種又はB－1種　・
隅角部及び突当り部等の役物　笠木製造所の仕様による
・　曲げ材
材質　JIS　H4000による
表面処理　※　A－1種又はB－1種　・
厚さ（㎜）　・　2．0　形状は図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する

⑨ 手すり (14.8.2)

材料の種別　※　図示　・　ステンレスSUS304（　※　HL　・　）
亜鉛めっき　・　行う（　※　C種　・　）　・　行わない

⑩ タラップ (14.8.3)

材料の種別　※　ステンレス（SUS304）　・　鋼製

11 サッシ取合い間仕切板

※　アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具の項による）
・　鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　亜鉛の付着量Z12又はF12）

12 エキスパンションジョイント金物

材質　※　アルミニウム製
表面処理　※　B－1種　・　B－2種
クリアランス　※　50　・　100　・　150
耐火性能　・　図示による

⑮ 左官工事

① 防水材料 (15.2.2)(15.5.2)(15.7.2)

屋内の壁及び天井の仕上材は、不燃材料又は、建築基準法に基づく基材同等の認定を受けたものとする。複層仕上塗材を内装不燃箇所に使用する場合は、CE又はSiとするか、基材同等の認定を受けた内装甲とする。

② 吸水調整材 (15.2.2)

※　表15.2.2による　表15.2.2

③ 防水剤 (15.2.2)

品質・性能等
防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする
膨張性のひび割れおよびそりがないこと（JIS　R5201規定9）
混合割合　セメント重量の5％以下（JIS　A1404）
吸水比　95％以下（JIS　A1404）
透水比　80％以下（水圧は294kPaとし、1時間行う）
凍結時間　始発1時間以上、終結10時間以内（JIS　R5201規定8）
曲げ及び圧縮強度比　70％以上（JIS　A1404）

4 既製目地材 (15.2.2)

・　使用する（形状　）

⑤ セルフレベリング材塗り (15.4.2~3)

表15.4.1

種類	厚さ（㎜）	施　工　箇　所
※ セメント系	※ 10	図示
・ せっこう系	・ 10	

⑥ 床コンクリート直均し仕上 (15.3.2~3)

下表以外は表6.2.4及び15.3.2による　表6.2.4

施　工　箇　所	平坦さ（mm）	備考
フリーアクセスフロア（パネル工法）範囲	1mにつき10以下	
フリーアクセスフロア（溝工法）範囲	3mにつき　7以下	

⑦ 仕上げ塗材仕上げ (15.5.2)

薄付け仕上塗材　表15.5.1~2

種類	仕上げの形状	工法
⊙ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ⊙ 着色骨材砂壁状	吹付け

・　厚付け仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材
・ 外装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け	・ 行う ・ 行わない

⑮ 左官工事

⑦ 仕上げ塗材仕上げ (15.5.2)

・ 複層仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性　耐候形３種）		
※　複層塗材Ｅ	※　凹凸模様	吹付け	※　水系	※ アクリル系	※ つやあり
・　可とう形複層塗材Ｅ ・　複層塗材Ｓｉ ・　複層塗材ＣＥ ・　複層塗材ＲＥ ・　複層塗材ＲＳ ・　防水形複層塗材ＣＥ ・　防水形複層塗材Ｅ ・　防水形複層塗材ＲＳ ・　防水形複層塗材ＲＥ	・　凹凸模様 ・　凸部処理 ・　ゆず肌状	吹付け ローラー	・　水系 ・　溶剤系 ・　弱溶剤系	・ アクリル系 ・ ポリウレタン系 ・ アクリルシリコン系 ・ フッ素系 ・ シリカ系	・ つやあり ・ つやなし ・ メタリック

・　軽量骨材仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・　吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け
・　こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定　※　屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　　・　第三種

8 ロックウール吹付け (15.7.1~4)

厚さ(mm)　・ 10　・ 15　・ 20　・ 30　・
ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　　・　第三種

⑯ 建具工事

① アルミニウム製建具 (16.2.2~4)

外部に面する建具の性能等級等

種別	※　Ａ種	・　Ｂ種	・　Ｃ種
耐風圧性	※　Ｓ－４	・　Ｓ－５	・　Ｓ－６
気密性	※　Ａ－３		・　Ａ－４
水密性	※　Ｗ－４　・　Ｗ－５		・　Ｗ－５
枠見込み (mm)	・　７０　・　１００		・　１００
表面処理	※　Ｂ－１種　・　Ｂ－２種 （・ アンバー　・ ブロンズ　・ ステンカラー　・ ブラック）		

防音ドアセット・　防音サッシの遮音性の等級　・　Ｔ－１　・　Ｔ－２　・　Ｔ－３
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 Ｇ　・　Ｈ－１　・　Ｈ－２　・　Ｈ－３
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
網戸等

種類	材種	線径	網目
・　防虫網	・　合成樹脂製 ※　ガラス繊維入り合成樹脂製 ・　ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５mm以上	１６～１８メッシュ
・　防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）線材	１．５mm	網目寸法　ピッチ１５mm

外部に面する建具以外の表面処理　Ｃ－１種又はＢ－１種

② 鋼製建具 (16.3.2)

外部に面する建具の耐風圧性の等級　・　Ｓ－４　・　Ｓ－５　・　Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・　Ｔ－１　・　Ｔ－２　・　Ｔ－３
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 Ｇ　・　Ｈ－１　・　Ｈ－２　・　Ｈ－３
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

3 鋼製軽量建具 (16.4.3)

外部に面する建具の耐風圧性の等級　・　Ｓ－４　・　Ｓ－５　・　Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・　Ｔ－１　・　Ｔ－２　・　Ｔ－３
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 Ｇ　・　Ｈ－１　・　Ｈ－２　・　Ｈ－３
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う
戸の鋼板
※　表面処理亜鉛めっき鋼板
・　ビニル被覆鋼板
・　カラー鋼板　　表16.4.1

区分	材質
召合わせ、縦小口包み板	※　鋼板　・　ステンレス　・　アルミニウム
扉の表面材、押縁	※　鋼板　・　ビニル被覆鋼板
枠類	※　鋼板（くつずりはステンレス）　・　製作所仕様

4 ステンレス製建具 (16.5.3)

外部に面する建具の耐風圧性　・ Ｓ－４　・ Ｓ－５　・ Ｓ－６　・
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 Ｇ　・ Ｈ－１　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
ステンレス鋼板（屋外）　・　ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・　ＳＵＳ３０４
ステンレス鋼板（屋内）　※　ＳＵＳ４３０　・　ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・　ＳＵＳ３０４
表面仕上げ　※　ＨＬ仕上げ　・
曲げ加工　※　普通曲げ　・　角出し曲げ（　・　ａ角　・　ｂ角　・　ｃ角　）

⑤ 木製建具 (16.6.2)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種
ふすまの材料　種別　※　表１６．６．３のII型
上張り紙　※　ビニル紙　・　新鳥の子
押入等の裏側　※　雲花紙
縁仕上　・　塗り縁　・　生地縁（素地）　・　生地縁（ウレタンクリアー塗装）
枠及びくつずり材料　※　図示による

⑥ 鍵 (16.7.4)

マスターキー　・　製作する（　　組）　・　製作しない
鍵箱　・　設ける　（　　組用　組）　・　設けない

⑦ 自動ドア開閉装置 (16.8.2~3)

センサーの種類　　表16.8.1~3
※　光線（反射）　・　マット　・　熱線　・　音波　・　光電
・　電波　・　タッチ　・　押しボタン　・　ペダル　・　多機能便所
取付け位置　・　床面　※　天井面　⊙　壁面　⊙　無目
凍結防止措置　※　行わない　・　行う（適用箇所は建具表による）

⑧ 自閉式上吊り引戸装置 (16.9.3)

自閉式上吊り引戸装置の性能　※　表１６．９．１による

9 重量シャッター (16.10.2)

種類　・　一般　・　外壁用防火　・　屋内用防火　・　屋内用防煙
防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び、
煙感知器は別途とする
耐風圧強度　一般（　　）Ｎ／㎡　外壁用（　　）Ｎ／㎡
開閉機能による種類　※　上部電動式（手動併用）　・　上部手動式　　表16.10.1
シャッターケース（防火、防煙以外）　※　設ける　・　設けない

10 軽量シャッター (16.11.2~4)

開閉形式　※　手動式　・　上部電動式（手動併用）　　表16.11.1
耐風圧強度（　　）Ｎ／㎡
スラットの材質　※　ＪＩＳ　Ｇ３３１２（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）又は
ＪＩＳ Ｇ３３１８(塗装溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)
スラットの形状　※　インターロッキング形　・　オーバーラッピング形
シャッターケース　※　設ける　・　設けない
ガイドレールの材質　※　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ１．５mm（　※　中柱共　）
座板（屋外の場合）　※　ステンレス製既製品　・

11 オーバーヘッドドア (16.12.2~3)

セクション材料による区分
※　スチールタイプ　・　アルミニウムタイプ　・　ファイバーグラスタイプ
耐風圧性能　・　５００Ｐａ　・　７５０Ｐａ　・　１０００Ｐａ
・　１２５０Ｐａ　・　１７００Ｐａ
開閉形式による区分　※　バランス式　・　チェーン式　・　電動式
収納形式による区分　・ スタンダード形　・ ローヘッド形　・ ハイリフト形　・ バーチカル形
ガイドレールの材質　※　溶融亜鉛めっき鋼板　・　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ２．０mm

⑫ ガラス (16.13.2)

・　合わせガラス

品　種	構成種類	性　能
※　フロート合わせガラス	※　フロート板合わせガラス ・　熱線吸収、フロート板合わせガラス	・　Ｉ類
・　網入合わせガラス	・　網入り、フロート板合わせガラス ・　網入り、熱線吸収板合わせガラス	・ II－１類　・ II－２類 ・ III類

⊙ 強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種　類	性　能
※　フロートガラス	※　フロート強化ガラス ・　熱線吸収強化ガラス	・ Ｉ類　・ II類
・　型板ガラス	※　型板強化ガラス	

⊙ 複層ガラス

品　種	断熱性	日射遮へい性
・　断熱複層ガラス	・　１種	Ｕ１
	・　２種	Ｕ２
	・　３種	・　Ｕ－３－１　・　Ｕ－３－２
・ 日射熱遮へい複層ガラス	・　４種	Ｅ４
	・　５種	Ｅ５

・　熱線反射板ガラス

品　種	色　調
※　熱線反射ガラス	・　ブルー　・　グレー
・　高性能反射板ガラス	・　ブロンズ　・　シルバー

品　種	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※　熱線反射ガラス	・　１種	Ａ種	
・　高性能反射板ガラス	・　２種	・ Ａ種　・ Ｂ種	
	・　３種	Ｂ種	

反射皮膜面　※　内面　・　外面
映像調整　※　行わない　・　行う

・　倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色　調
※　倍強度ガラス	――
・　倍強度熱線吸収ガラス	・ グレー　・ ブルー　・ ブロンズ　・

⑬ ガラスの留め材 (16.13.2)

表16.13.1

建具の種類	材　種
鋼製	※　シーリング材
アルミニウム製	※　シーリング材　・　ガスケット（グレイジングチャンネル形）
ステンレス製	※　シーリング材
木製	※　シーリング材

防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による

⑭ ガラス溝の寸法、形状等 (16.13.3)

※　表１６．１３．１による
・　図示による

15 ガラスブロック積み (16.13.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅 (mm) 平積み	目地幅 (mm) 曲面積み	伸縮調整目地 (mm)	防火性能
正方形	・ 125x125	80	・	・	※ 8～15	外側	※ 6m以下毎に 10～20	※　なし
	・ 160x160	・ 95 ・ 125	・	・	・ 15～25	※ 15以下		・　あり
	・ 200x200	・ 95 ・ 125	・	・	・	・	・ 図示による	
	・ 320x320	95	・	・		内側	・	
長方形	・ 250x125	80	・	・		※ 6以下		
	・ 320x160	95	・	・		・		

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の１０倍以上とする
壁用金属枠及び補強材　・　設ける　（形状　※　図示による　・　）
力骨　※　ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）径５．５mmはしご形状複筋及び単筋　・
目地部の力骨の補強方法　※　ガラスブロック製造所の仕様による　・
化粧目地モルタルの色　（　　）
シーリング材　※　表９．６．１による　・
金属製化粧カバー　材質　・　ステンレス製　・　アルミニウム製
寸法　・　図示による　・
形状　・　図示による　・
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画として提出する

16 ガラス用フィルム

名　称	種類	張り面	性能値
※ ガラス飛散防止フィルム	第２種	※　内張り　・　外張り	飛散防止率　Ｄ１
・			

品質　ＪＩＳ　Ａ５７６９による。

⑰ 付属電気設備

電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機０．４ｋｗ以上の場合は
機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する

17 カーテンウォール工事

1 カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~5) (17.3.2~5)

取付方法　・　層間方式　・　柱、梁方式　・　方立方式　・　スパンドレル方式
性能

耐震性能（地震力係数） 水平方向（ｋＨ） 垂直方向（ｋＶ）	※ １．０　・ ※ ０．５　・	気密性	・Ａ－１　・Ａ－２ ・Ａ－３　・Ａ－４　・
		耐火性	・３０分 ・１時間
		耐温度差性	・８０℃　・７０℃　・６０℃
		遮音性	・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
水密性	・Ｗ－１　・Ｗ－２　・Ｗ－３ ・Ｗ－４　・Ｗ－５	断熱性	・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４ ・Ｈ－５

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離（ｈ）	耐風圧性能	状態
４m以下	※ たわみ量が±（１／１５０）ｘｈ かつ絶対量２０mm以下であること ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと
４mを超える	・	

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量（ｈ＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※　±（１／２００）ｘｈ以上 ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと シーリングは補修程度の損傷であること
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・　±（１／３００）ｘｈ以上	

その他の性能　図示による
種類　・　メタルカーテンウォール
金属材料の種類（見掛かり部分の仕上げ）
・　アルミニウム製（　・　Ｂ－１　・　　）
・　鋼製（　　）
・　ステンレス製（　　）
・　ＰＣカーテンウォール
ゴンドラ用ガイドレール　・　設置する　・　設置しない
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

⑱ 塗装工事

① 材　料 (18.1.3)

屋内に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種

② 素地ごしらえ (18.2.1~7)

木部　　表18.2.1~7
⊙　Ａ種（不透明塗料塗り）　⊙　Ｂ種（透明塗料塗り）
鉄部他
鉄　鋼　面　・　Ａ種　・　Ｂ種　※　Ｃ種
亜鉛めっき（建具）面　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
亜鉛めっき（建具以外）面　・　Ａ種　⊙　Ｂ種　・　Ｃ種
モルタル及びプラスター面　・　Ａ種　※　Ｂ種
コンクリート及びＡＬＣパネル面　・　Ａ種　※　Ｂ種
コンクリート及び押出成形セメント板面　・　Ａ種　・　Ｂ種
石膏ボード及びその他のボード面　⊙　Ａ種　・　Ｂ種
外部ボード面　・　Ａ種　⊙　Ｂ種

③ 錆止め塗料塗り (18.3.1~3)

塗料種別
鉄鋼面　　表18.3.1

	規 格 名 称	種　類	摘　要
⊙　Ａ種	⊙　シアナミド鉛さび止めペイント	・　２種	・ 屋内　・ 屋外
	・　鉛、クロムフリーさび止めペイント	・　１種	・ 屋内　・ 屋外
・　Ｂ種	・　水系さび止めペイント		・ 屋内
	・　鉛、クロムフリーさび止めペイント	・　２種	・ 屋内

亜鉛めっき鋼面　　表18.3.2

	規 格 名 称	摘　要
・　Ａ種	・　鉛酸カルシウムさび止めペイント	・ 屋内　・ 屋外
・　Ｂ種	・　変性エポキシ樹脂プライマー	・ 屋内　・ 屋外
・　Ｃ種	・　水系さび止めペイント	・ 屋内

塗り工程種別
鉄鋼面　　表18.3.3
見え掛かり部分　（ ※ Ａ種　・ Ｂ種 ）
見え隠れ部分　（ ・ Ａ種　※ Ｂ種 ）
亜鉛めっき鋼面　　表18.3.4
鋼製建具等　（ ※ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種）
その他　（ ・ Ａ種　・ Ｂ種　※　Ｃ種[変性エポキシ樹脂プライマー]）

④ 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ） (18.4.3) (18.4.4)

木部　　表18.4.1
屋外（　※　Ａ種　・　Ｂ種　）
屋内（　・　Ａ種　※　Ｂ種　）
鉄鋼面　　表18.4.2
・　Ａ種　※　Ｂ種

⑤ クリヤラッカー塗り（ＣＬ） (18.5.2)

表18.5.1
・　Ａ種　※　Ｂ種

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ） (18.6.2)

表18.6.1
・　Ａ種　※　Ｂ種

⑦ 耐候性塗料塗り（ＤＰ） (18.7.2~4)

コンクリート面及び押出成形セメント板　　表18.7.3
・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種

8 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ） (18.8.2~5)

コンクリート面等　　表18.8.1~4
・　Ａ種　※　Ｂ種
鉄鋼面（屋内）
・　Ａ種　※　Ｂ種

9 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ） (18.9.2)

表18.9.1
・　Ａ種　※　Ｂ種

⑩ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ） (18.10.2)

表18.10.1
・　Ａ種　※　Ｂ種

11 ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ） (18.11.2)

表18.11.1
・　Ａ種　※　Ｂ種

⑫ 木材保護塗料塗り（ＷＰ） (18.13.2)

表18.13.1
・　Ａ種　※　Ｂ種

13 マスチック塗材塗り (18.14.2)

種別　　表18.14.1
・　Ａ種　・　Ｂ種
仕上げ塗材塗り
※　つや有合成樹脂エマルションペイント

⑲ 内装工事

① 接着剤 (19.2.2)

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする

② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19.2.2~3)

⊙　ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さ (mm)	工法
※ 発泡層のないもの	※ ＮＣ	※ マーブル	⊙ ２．０	・　突付け
⊙ 発泡層のあるもの	⊙ ＰＦ	※ 特殊柄	⊙ ２．５	※ 熱溶接

⊙　ビニル床タイル

種類		記号	厚さ (mm)	柄
・　ホモジニアス		ＨＴ	※　２．０	・　プレーン
	・　置敷き	ＨＴ	※　５．０	※　マーブル
・　コンポジション	※　半硬質	ＣＴ	※　２．０	・　特殊柄
	・　軟質	ＣＴＳ	・	

・　特殊機能床材（帯電防止）

種類	記号	厚さ (mm)	
・　帯電防止床シート	ＮＣ	※　２．０	帯電防止性能評価値（ＪＩＳ　Ａ１４５５）１．２以上～３．２未満
・　帯電防止床タイル	ＣＴＳ		又は体積電気抵抗値（ＪＩＳ　Ａ１４５４）$1 \times 10^{7} \sim 10^{10}$ Ω程度

・　特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)	材料	色柄
・　誘導用床材、注意喚起用床材（表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１）	２．０	・ ３００ｘ３００	※ 塩ビ　・ 合成ゴム	黄色
		・ ４００ｘ４００	合成ゴム	
・				

・　ゴム床タイル

色柄	厚さ (mm)	寸法 (mm)	工法

ビニル幅木の高さ (mm)　※　６０　・　７５
厚さ (mm)　※　２．０　・
材質　※　軟質　・　硬質

③ カーペット敷き (19.3.3~4)

表19.3.2
・　織ジュータン　（　※　帯電防止性能　JIS L 1023 の人体帯電圧 3kv 以下とする。）
・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
・　タフテッドカーペット
パイル形状　：
パイル長さ　：
工　法　：
・　ニードルパンチカーペット
厚　さ　：
⊙　タイルカーペット　　表19.3.2

種別	パイル形状	寸法 (mm)	総厚さ	電気抵抗 (Ω)	工法
	※　ループパイル ・　カットパイル	５００角	※　図示 ・	※ 適用しない ・ 耐電圧３ｋＶ未満	※ のり付加工品敷き

4 合成樹脂塗床 (19.4.3)

・　弾性ウレタン樹脂系塗床材　　表19.4.3
仕上げの種類　※　平滑仕上げ　・　防滑仕上げ　・　つや消し仕上げ
・　エポキシ樹脂系塗床材　　表19.4.4~7
仕上げの種類　・　薄膜流し展べ仕上げ　・　厚膜流し展べ仕上げ
・　樹脂モルタル仕上げ　・　防滑仕上げ
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種

5 床用防じん塗料塗り

材質　水性アクリル系樹脂塗料（　※　標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗りとし、総塗布量は０．２５Ｋｇ／㎡以上とする

6 フローリング張り (19.5.2~7)

複層フローリングのホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種
種別・工法
・　単層フローリング Ｇ（・フローリングボード　・フローリングブロック　・モザイクパーケット）
・　湿式工法　・　乾式工法（　・　釘どめ工法　・　接着工法　）
※　複合フローリング Ｇ（ ※　１種　・　２種　・　３種 ）表層　※ なら　・ ヒノキ
・　乾式工法（ ・ 釘どめ工法（ ・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種）　・ 接着工法）
仕上げ　※ ウレタン樹脂ワニス　・ 生地のままワックス　・ オイルステインの上ワックス塗り
間伐材等の適用　※　適用する　・
間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が１０%以上であること
居室の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量（ＪＡＳ規格による測定方法）が平均値で０．３ｍｇ／Ｌ以下かつ最大値で０．４ｍｇ／Ｌ以下であること
県産材の活用
・　適用しない
・　適用する（樹種 ・　・　・　・　）

⑦ 畳敷き (19.6.2)

種別　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　※　Ｄ種　　表19.6.1
Ｄ種の場合の畳床記号　・ＫＴ－Ｉ　・ＫＴ－II　※ＫＴ－III　・ＫＴ－Ｋ　・ＫＴ－Ｎ

⑧ せっこうボードその他ボード及び合板張り (19.7.2)

材種・規格	施工箇所	張り方		厚さ等 (mm)
・ ・　JIS A 6901 規格品 厚さ9.5tは ⊙ 準不燃認定品 ・　不燃認定品	⊙ 壁	⊙ 下張り	突付け	・ 9.5 ⊙ 12.5（不燃認定品）
		⊙ 上張り ⊙ 直張り ・	・ 目透し ⊙ 突付け ⊙ 継目処理 ・ 突付けＶ目地	⊙ 9.5 ⊙ 12.5（不燃認定品） ・　mm×　mm ・　mm×　mm
	⊙ 天井	⊙ 下張り	突付け	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り ⊙ 直張り ・	・ 目透し ⊙ 突付け ⊙ 継目処理 ・ 突付けＶ目地	⊙ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品） ・　mm×　mm ・　mm×　mm
・ ・	・ 壁 ・ 天井	・ 下張り	突付け	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り ・ 直張り ・	・ 目透し ・ 突付け ・ 継目処理 ・ 突付けＶ目地	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品） ・　mm×　mm ・　mm×　mm

天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種
パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板の原材料 Ｇ
合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、製紙未利用低質チップ、林地残材、かん木、小径木（間伐材を含む）等の再生資源である木質材料又は植物繊維の重量比配合割合が５０%以上であること。（この場合、再生資材全体に占める体積比配合率が２０%以下の接着材、混和剤等（パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質系セメント板におけるセメント等で主要な原材料相互間を接着する目的で使用されたもの）を計上せずに、重量比配合割合を計算することができるものとする）

⑨ 壁紙張り (19.8.2)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別
図示		

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

⑩ 断熱材打込み工法 G (19.9.2)

断熱材の種類　※　押出法ポリスチレンフォーム保温板２種ｂ　厚さ　※　２５mm　・
⊙　押出法ポリスチレンフォーム保温板３種ｂ（土間下）　厚さ　※　２５mm　⊙30mm
・　硬質ウレタンフォーム保温板１種２号　厚さ　※　２０mm　・
・　フェノールフォーム保温材Ａ種　厚さ　・
断熱補修材　・　断熱材と同材
※　吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材（次項による）

⑪ 断熱材現場発泡工法 G (19.9.3)

ユリア樹脂又はメラニン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド
放散量　※　規制対象外　・　第三種
断熱材の種類　※　Ａ種１　・　Ｂ種１
厚さ　⊙　２５　・　３０　・
施工箇所　※　窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければいけない箇所
⊙　図示による
・

⑫ 断熱材の原材料 G (19.9.2~3)

グラスウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８０%以上であること
ロックウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８５%以上であること
発泡断熱材　：オゾン層を破壊する物質を使用していないこと。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること

⑳ ユニット及びその他の工事

① フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	・	・
構法	・ パネル構法　・ 溝構法	・ パネル構法　・ 溝構法
耐震性能	・ １.０Ｇ　・ ０.６Ｇ	・ １.０Ｇ　・ ０.６Ｇ
耐荷重性能	※ ３０００Ｎ　・ ５０００Ｎ	※ ３０００Ｎ　・ ５０００Ｎ
パネル寸法（mm）	・	・
高さ（mm）	・　・	・　・
床表面仕上げ材の材質	※ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル	※ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※ メーカー仕様　・ 図示による	

表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書１９章内装工事による

配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※　２０～３０%　・
配線取り出し開口　※　パネル１枚につき４０mm x ８０mm程度の開口１ヶ所以上　⊙　図示による
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
※　なし
・　有り　（　※　固定式　・　可変式）：　施工箇所（　※　図示による　・　）
耐荷重性能（５０００Ｎ、高さ３００以上）の性能
平成元年建設省告示第１３２２号「耐震性フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等のものとする
ローリングロード性能　※　適用する　・　適用しない
以下（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）
ローリングロード試験
耐荷重性能（３０００Ｎ）：積載荷重１０００Ｎの際、最大変形量１．５mm以下
耐荷重性能（５０００Ｎ）：積載荷重１０００Ｎ以上の際、最大変形量１．０mm以下
（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）

2 可動間仕切 (20.2.3)

ＪＩＳ　Ａ６５１２によるほか、下記による
構造形式による種類　※　スタッド式（・スタッド露出・スタッド内蔵）　・　スタッドパネル式
構成材の種類　※　図示による
表面材質及び厚さ（mm）　※　鋼板０．６　・　鋼板０．８
パネル表面仕上げ　メラニン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（　※　常備色　・　指定色　）
パネル総厚さ（mm）　・　程度
遮音性の区分　・　０　・　１２　・　２０　・　２８　・　３６
防火性能　・　不燃

3 移動間仕切 (20.2.4)

パネルの操作方法による種類　・　製造所の仕様による　・　図示による
表面材質及び厚さ（mm）　※　鋼板０．６　・
仕上げ　メラニン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（　※　常備色　・　指定色　）
パネル厚さ（mm）　・　程度
パネル圧接装置の操作方法　・　製造所の仕様による　・　図示による
遮音性の区分　・　３６未満　・　３６以上（ＪＩＳ　Ａ６５１２に準拠する）

④ トイレブース (20.2.5)

表面材　※　メラニン樹脂系化粧板　・　ポリエステル樹脂系化粧板
ドアエッジ材質形状　※　アルミＲエッジ
幅木材質　※　ステンレス幅木

⑤ 階段滑止め (20.2.6)

材種　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（　・　埋込工法　※　接着工法　）
端部フラットエンド　※　有（　※　タイヤと同材　・　ステンレス鋼　）　・　無
型式　※　ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り　幅（mm）　※　約３５

6 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

※　ホワイトボード　ほうろう　形状・寸法は図示による
・　黒板　※　焼き付け　色彩　※　緑　形状・寸法は図示による

7 鏡 (20.2.9)

取付箇所　・　図示による　・　（　）
寸法（mm）　・　図示による　・
厚さ（mm）　※５　・
※　防蝕処理

⑧ 表示 (20.2.10)

⊙　案内板　・　庁舎案内板（　※　標準詳細図による　⊙　図示による　）
・　各階案内板（　※　標準詳細図による　⊙　図示による　）
・　視覚障害者用案内板（　※　共通詳細図による　⊙　図示による　）
⊙　室名札　※　標準詳細図による　⊙　市販品
⊙　ピクトグラフ　標準案内図用記号　※　ＪＩＳ　Ｚ８２１０による　⊙　図示による
形状・その他　⊗　図示による
⊙　庁名文字　※　標準詳細図による　⊙　図示
・　切抜文字（・ステンレス製・黄銅製）　・　箱文字（・ステンレス製・黄銅製）
字数（　）　文字の大きさ（　x　）
・　対人衝突防止表示　・　図示による
・　非常用進入口　・　図示による
案内用図記号はＪＩＳ２８１０による

9 煙突ライニング (20.2.11)

煙突用成形ライニング材　適用安全使用温度　※　４００℃　・　６５０℃
キャスタブル耐火材　工法　・　こて押さえ　・
最高温度　※　４００℃　・
製造所

10 ブラインド (20.2.12)

形式	・ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド（防炎性能を有するもの）
スラットの材種	アルミニウム合金製	・ アルミスラット　・ クロススラット
スラットの種類	※ ギア式　・ コード式	※ １本操作コード式
スラットの幅（mm）	※ ２５　・ ３５	・ ７５以上　・ １００

11 ロールスクリーン (20.2.13)

材種　遮光性能　・
品質
操作方法　・　電動式　・　プリング式　・　チェーン式

⑫ カーテン及びカーテンレール (20.2.14)

カーテン

施工箇所	きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類	開閉形式	カーテン操作方式
			・ 片引き　・ 引分	※ 手動　・ 電動

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	付属金物

暗幕用は３００mm以上の召し合せの重掛けとする

⑬ 点検口

天井　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　※　４５０x４５０　・　６００x６００
形式　一般型　外枠　・　額縁タイプ　・　目地タイプ
内枠　・　額縁タイプ　・　目地タイプ
枠の許容差　±０．５mm以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０mm以内
材料の品質及び性能
外枠、内枠の材質
アルミニウム合金押出形材　ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理　表１４．２．１のＣ－１種、Ｃ－２種（外部はＢ－１種、Ｂ－２種）
外枠及び内枠のコーナーピース、吊り金物、取付ボルト
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの
床　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　・　４５０x４５０　※　６００x６００
形式　※　屋内用一般型　・　密閉形
パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したもの
枠の許容差　±０．５mm以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０mm以内
材料の品質及び性能
受枠材、蓋枠材、コーナーピース、底板材、底板補強材
アルミニウム合金押出形材ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理　表１４．２．１のＡ－１種、Ａ－２種、Ｂ－１種、Ｂ－２種
開閉方式　施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式
その他　製造所の仕様による

14 鋼製書架及び物品棚

・　固定式（下記以外は図示による）
鋼製書架　※　ＪＩＳ　Ｓ１０３９による　・　法務省型
鋼製物品庫　・　ＪＩＳ　Ｓ１０４０による
・　移動式　形状等は図示による

15 くつふきマット

※　塩化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）ワンライン型
・　硬質アルミニウム合金製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）
・　ステンレス製(ＳＵＳ３０４)（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）

⑯ フェンス

フェンスの種類　・　ビニル被覆エキスパンドフェンス　・　鋼管フェンス
⊙　樹脂塗装メッシュフェンス　・　アルミフェンス
高さ　⊙　図示による　・

⑰ 天井見切り縁

材種　※　アルミニウム既製品　⊙　ビニル既製品

⑱ ピクチャーレール

※　見切り縁兼用タイプ　・
移動フック　ヶ／m　安全荷重　※　１５kg以上　・

⑲ 誘導用床材、注意喚起用床材

材種　・　レジンコンクリート製（厚さ６０mm）　・　磁器質タイル製
⊙　図示
表面形状ＪＩＳ　Ｔ９２５１による
寸法　※　３００x３００　・
色　黄色

20 旗竿

形式　・　ロープ式（テーパー式）
※　ハンドル式（テーパー式又は同一断面式）
材種　・　アルミニウム合金　・
高さ（m）　・
旗竿受金物　※　ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）製　・

㉑ 既製家具

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

㉒ 車止め柵

形　式	材種	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）	備考
⊙ 上下式内蔵式 （・標準品　・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式） ・	⊙ ステンレス製 ・	・ φ76.3　t＝2.0 ・	⊙ ＧＬ＋700	

23 アスベスト成形板の処理工事

※　県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名	厚さ（mm）	処理を行う範囲

施工調査
※　行う　・　行わない
石綿作業主任者
特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者の中から選任する。
特別管理産業廃棄物管理責任者
保温材については、排出事業者は特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。
官公署その他への手続き
改修標準仕様書(9.1.3(b)(2))によるほか、次の必要な手続きを行う
（１）建築物解体等作業届（所管労働基準監督署）
（２）特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書（都道府県知事又は市長）
安全衛生管理
洗浄設備
（ｉ）洗眼、うがいの設備を設ける
（ii）更衣設備等を設ける
表示・掲示
改修工事標準仕様書(9.1.2(c)(4))による表示・掲示を行う。
作業場の養生
処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉塵飛散を防止する。
対象室（　）
改修工事標準仕様書（9.1.2(c)(4)）による表示・掲示を行う。
除去物及び汚染物の処分等
保温材については、改修工事標準仕様書（9.1.2(d)(2)）による。

㉑ 排水工事

① 排水管 (21.2.1)

遠心力鉄筋コンクリート　表21.2.1
種類　※　外圧管Ｂ形１種　・
継手　※　ゴム接合　・　モルタル接合
硬質ポリ塩化ビニル管
⊙　ＶＰ
・　ＶＵ
・　リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＳ－ＶＵ）G
建物外での硬質塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で３０%以上使用されていること

② 側塊、排水桝等 (21.2.2)

鋳鉄製ふた
型式　※　水封型　・　簡易密閉型　・　密閉型　・　中ふた付密閉型
適用荷重（安全荷重〔ｋＮ〕）
屋内用　・　Ｔ－２用（５）
屋外用　・　Ｔ－２用（５）　※　Ｔ－６用（１５）　・　Ｔ－２０用（５０）
鍵　・　有　・　無
グレーチング

種類	形式	用　途	適用荷重	メンバーピッチ		上面形状
				普通目	細目	
・ 鋼製	・ 受枠付	・ 溝ふた（横断用）	・ 歩行用	・	・	※ 凹凸形
	・ ボルト固定	・ 溝ふた（側溝用）	・ Ｔ－２用	・	・	・
		・ 桝ふた用	・ Ｔ－６用	・	・	
	・	・ Ｕ字溝用	・ Ｔ－１４用	・	・	
			・ Ｔ－２０用	・	・	
・ ステンレス製	・ 受枠付	・ 溝ふた（横断用）	・ 歩行用			・ 凹凸形
	・ボルト固定	・ 溝ふた（側溝用）	・ Ｔ－２用			・ 平形
		・ 桝ふた用	・ Ｔ－６用			
	・	・ Ｕ字溝用	・ Ｔ－１４用			
			・ Ｔ－２０用			

㉒ 舗装工事

① 路床 (22.2.2~5)

路床の構成　※　標準詳細図による　⊙　図示による
盛土に用いる材料（表３．２．１による）
・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種
・　建設汚泥から再生した処理土 G
支持力比（ＣＢＲ）試験
※　行わない　・　行う（　※　乱した土　・　乱さない土　）
締固め度の試験
※　行わない　・　行う
砂の粒度試験
※　行わない　・　行う

② 路盤 (22.3.2~5)

路盤の構成　※　標準詳細図による　⊙　図示による　表22.3.3
路盤材料　※　再生材クラッシャランG　・　クラッシャラン鉄鋼スラグG
締め固め度試験
※　行わない　・　行う
砂の粒度試験
※　行わない　・　行う

③ アスファルト舗装 (22.4.2~6)

舗装の構成　※　標準詳細図による　⊙　図示による
アスファルト　※　再生アスファルトG　・　ストレートアスファルト
骨材　※　砕石　・　アスファルトコンクリート再生骨材 G
※　アスファルト舗装
加熱アスファルト混合物等の種類
※　表層　※　密粒度アスファルト混合物（１３）
・　細粒度アスファルト混合物（１３）
・　基層　・　粗粒度アスファルト混合物（２０）
・　カラー舗装
種類　※　表層に着色した加熱アスファルト混合物
・　表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
・　表層の上に常温塗布式舗装又はニート工法による樹脂系舗装
カラー舗装に添付する着色骨材
・　有色骨材（材質＜　＞）
・　着色骨材（材質＜　＞）
シールコート　※　行わない　・　行う
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

④ コンクリート舗装 (22.5.2~6)

舗装の構成　※　標準詳細図による　⊙　図示による
溶接金網　※　使用する（１５０Ｘ１５０Ｘ６φ）　・　使用しない
コンクリート版の厚さの試験　※　行わない　・　行う

5 カラー舗装 (22.6.2~6)

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
車道部の基層　・　有　・　無
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

6 透水性アスファルト舗装 G (22.7.2~6)

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

7 排水性アスファルト舗装 G (22.8.2~6)

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

⑧ ブロック系舗装 (22.9.2~3)

舗装の構成　※　標準詳細図による　⊙　図示による
※　インターロッキングブロック　表22.8.1
材質（　※　コンクリート　・　）　種類（　※　普通　・　透水性　・　植生用　）
形状（　・　長方形　・　正方形　・　六角形　）　厚さ（　・　６０　・　８０　・　１００　）
表面加工　・　ショット仕上げ
クッション材　※　空練りモルタル　・　砂
・　再生材料を用いた舗装用ブロック（焼成）
再生材料が原材料の重量比で２０%以上（複数の材料が使用されている場合は、それらの材料の合計）使用されていること。ただし、再生材料の重量の算定において、通常利用している同一工場からの廃材の重量は除かれるものとする。重金属等有害物質の含有や、施工時及び使用時に雨水等による重金属等含有物質の溶出について、土壌の汚染に係る環境基準等に照らして問題がないこと

再生材料の原料となるもの	前処理方法
採石及び窯業廃土、無機珪砂（キラ）、鉄鋼スラグ非鉄スラグ、鋳物砂、陶磁器屑、石灰灰、建築廃材（汚泥を除く）、廃ガラス（無色及び茶色のガラスびんを除く）、紙製スラッジ、アルミスラッジ、磨き砂汚泥、石材屑	前処理方法によらず対象
都市ゴミ焼却灰	溶融スラグ化
下水道汚泥	焼却灰化又は溶融スラグ化
上水道汚泥	前処理方法によらず対象
湖沼等の汚泥	

・　再生材料を用いた舗装用ブロック類（プレキャスト無筋コンクリート製品）
再生材料が原材料の重量比で２０%以上（複数の材料が使用されている場合は、それらの材料の合計）使用されていること。なお、透水性確保のために、粗骨材の混入率を上げる必要がある場合は、再生材料が原材料の重量比１５%以上使用されていること
ただし、再生材料の重量の算定において、通常利用している同一工場からの廃材の重量は除かれるものとする。重金属等有害物質の含有や、施工時及び使用時に雨水等による重金属等含有物質の溶出について、土壌の汚染に係る環境基準等に照らして問題がないこと

再生材料の原料となるもの	前処理方法
都市ゴミ焼却灰	溶融スラグ化
下水道汚泥	

コンクリート平板舗装、インターロッキングブロック舗装の歩道部は原則再生材料を用いた舗装ブロックGとする。ただし調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする

⑨ 区画線

※　路面表示用塗料（ＪＩＳ　Ｋ５６６５（路面表示用塗料）による）
・　１種 G　・　２種 G　※　３種１号
・　低揮発性有機溶剤型の路面表示用塗料 G
水性型の路面表示用塗料であって、揮発性有機溶剤（ＶＯＣ）の含有率（塗料総質量に対する揮発性溶剤の質量の割合）が５%以下であること
色　※　白　塗布幅　※　図示による　塗布厚さ　※　１．０

㉓ 植栽及び屋上緑化工事

① 植栽地の確認 (23.1.3)

土壌の水素イオン濃度（ｐｈ）試験　・　行う　※　行わない
水溶性塩類（ＥＣ）の試験　・　行う　※　行わない

② 植栽基盤の整備 (23.2.2~4)

排水　・　設置する(・暗きょ　・閉きょ　・排水層　・縦穴排水　)　・　設置しない
水溶性塩類（ＥＣ）の試験　・　行う　※　行わない
整備工法　表23.2.2
樹木　・　行う（　※　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　）　※　行わない
芝及び地被類　※　行う（　※　Ｂ種　・　）　・　行わない
植込み用土
※　現場発生土の良質土　⊙　客土
土壌改良材
・　適用する（施工箇所　）
・　バーク堆肥 G
製品は以下を満足すること
有機物の含有率（乾物）：７０%以上
炭素窒素比〔Ｃ／Ｎ比〕：３５以下
陽イオン交換容量〔ＣＥＣ〕（乾物）：７０ｍｅｑ／１００ｇ以上
ｐＨ：５．５～７．５
水分：５５～６５%
幼植物試験の結果：生育阻害その他の異常が認められない
窒素全量〔Ｎ〕（現物）：０．５%以上
りん酸全量〔Ｐ２Ｏ５〕（現物）：０．２%以上
加里全量〔Ｋ２Ｏ〕（現物）：０．１%以上
・　汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）G
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和４８年総理府令第５号）の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
ひ素：０．００５%以下
カドミウム：０．０００５%以下
水銀：０．０００２%以下
ニッケル：０．０３%以下
クロム：０．０５%以下
鉛：０．０１%以下
有機物の含有率（乾物）：３５%以上
炭素窒素比〔Ｃ／Ｎ比〕：２０以下
ｐＨ：８．５%以下
水分：５０%以下
窒素全量〔Ｎ〕（現物）：０．８%以上
りん酸全量〔Ｐ２０５〕（現物）：１．０%以上
アルカリ分（現物）：１５%以下（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない）
施工箇所の土壌及び植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする

③ 支柱材 (23.3.2)

※　丸太（間伐材）G　・真竹

④ 新植樹木の枯補償 (23.3.4)

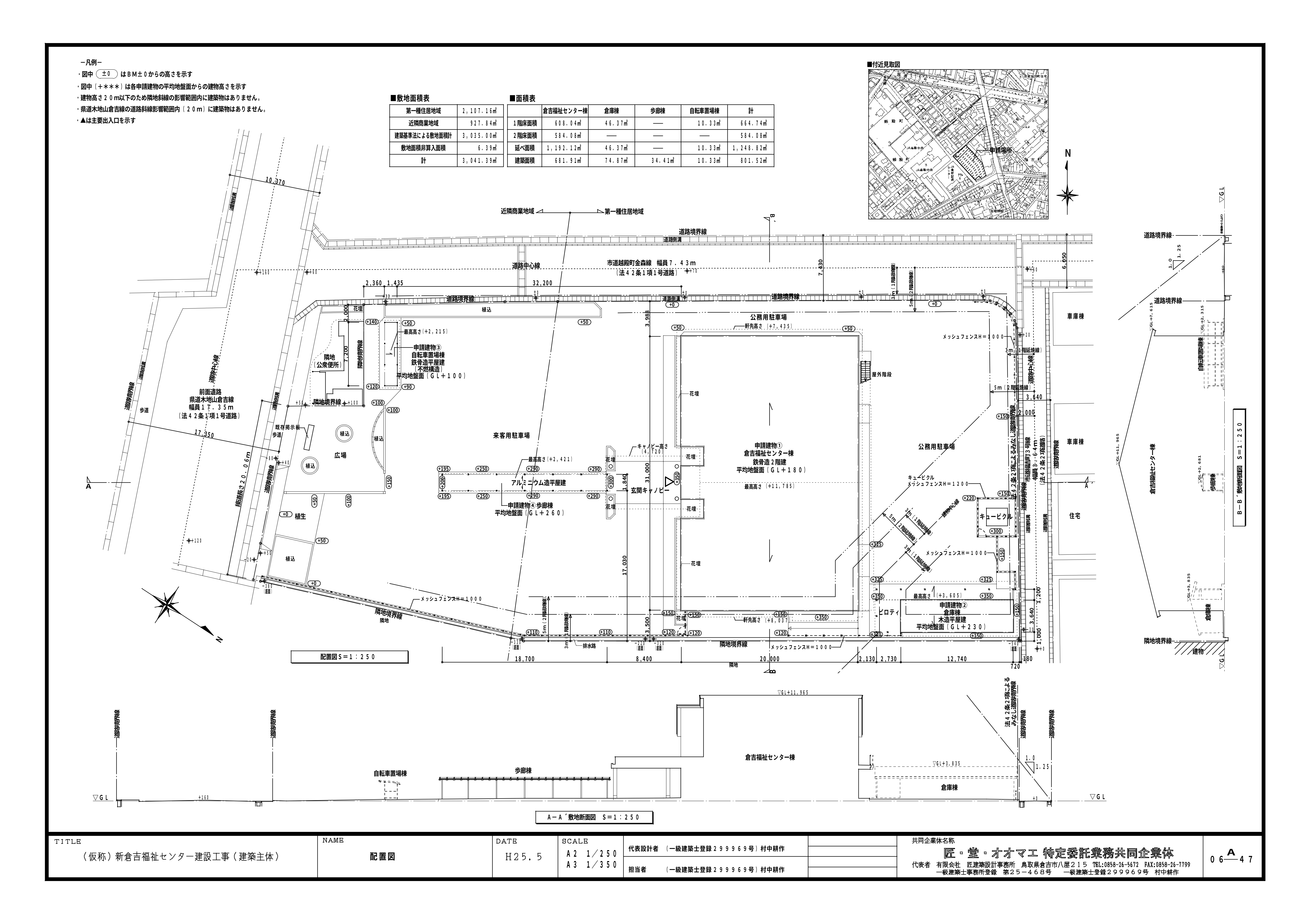
※　１年間　・

⑤ 新植樹木の枯損処理 (23.3.6)

※　１年間　・

6 屋上緑化 G (23.5.2~3)

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・　図示　・
排水層　・　軽量骨材（層の厚さ：　）　・　板状成形品
植込用土　※　改良土　・　人工軽量土
樹木の材種、寸法、株立数等　※　図示　・
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※　図示　・
見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※　図示　・



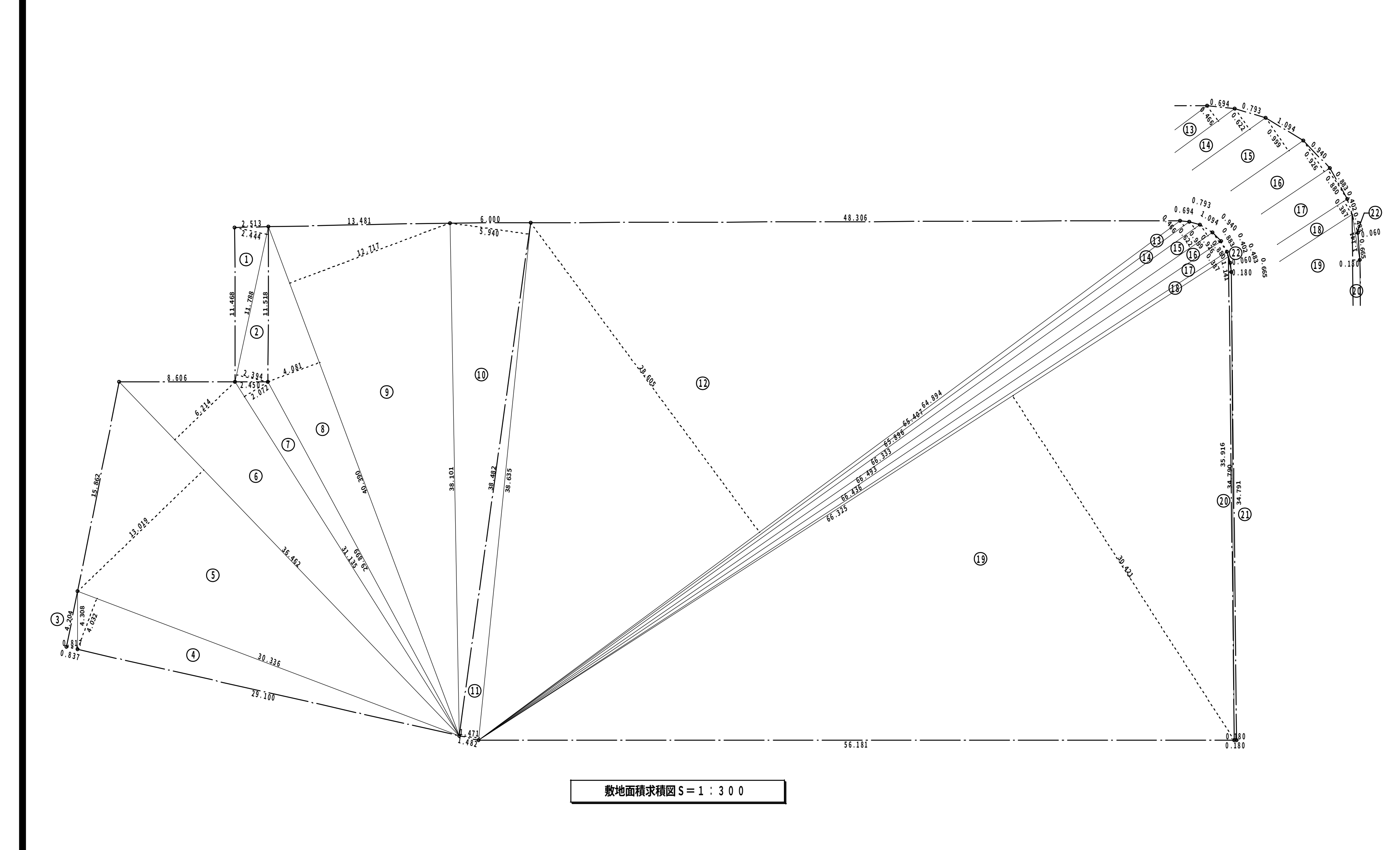
■敷地面積表

第一種住居地域	2，107．16㎡
近隣商業地域	927．84㎡
建築基準法による敷地面積計	3，035．00㎡
敷地面積非算入面積	6．39㎡
計	3，041．39㎡

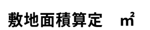
■面積表

	倉吉福祉センター棟	倉庫棟	歩廊棟	自転車置場棟	計
1階床面積	608．04㎡	46．37㎡	—	10．33㎡	664．74㎡
2階床面積	584．08㎡	—	—	—	584．08㎡
延べ面積	1，192．12㎡	46．37㎡	—	10．33㎡	1，248．82㎡
建築面積	681．91㎡	74．87㎡	34．41㎡	10．33㎡	801．52㎡

TITLE	NAME	DATE	SCALE		共同企業体名称	
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	配置図	H25．5	A2 1/250 A3 1/350	代表設計者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作	匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋２１５ TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録 第２５－４６８号 一級建築士登録２９９９６９号 村中耕作	06 A 47

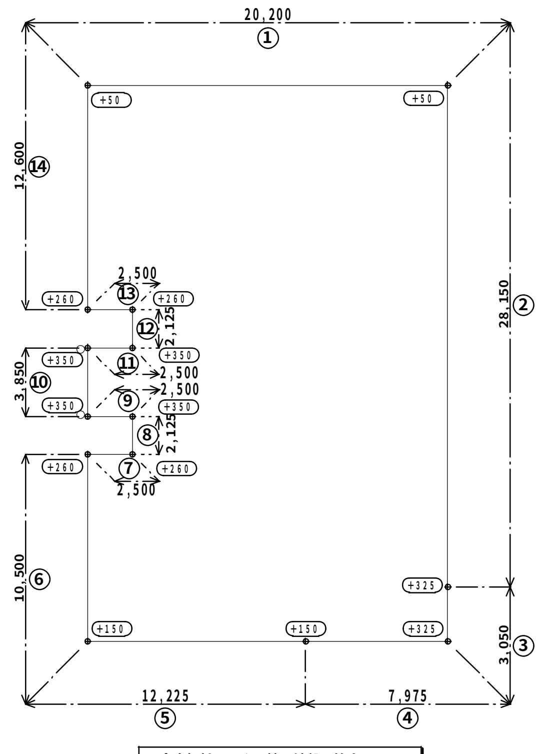


敷地面積求積図Ｓ＝１：３００



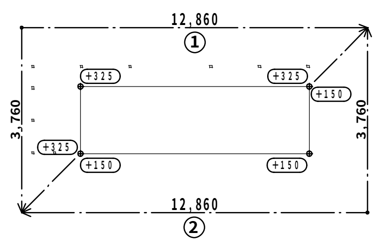
■　敷地面積算定　㎡

（建築基準法による敷地面積算入部分）																
Ａ三斜求積表（近隣商業地域）				Ｂ三斜求積表（近隣商業地域）				Ｃ三斜求積表（第一種住居地域）				（建築基準法による敷地面積非算入部分）Ｄ三斜求積表（第一種住居地域）				
Ｎｏ．	底辺	高さ	倍面積	Ｎｏ．	底辺	高さ	倍面積	Ｎｏ．	底辺	高さ	倍面積	Ｎｏ．	底辺	高さ	倍面積	
1	11.788	2.444	28.809	10	38.482	5.940	228.583	11	38.635	1.471	56.832	20	35.916	0.180	6.464	
2	11.788	2.394	28.22	3	4.308	0.817	3.519	12	64.894	28.605	1856.292	21	34.791	0.180	6.262	
				4	30.336	4.032	122.314	13	65.407	0.466	30.479	22	1.141	0.060	0.068	
				5	36.462	13.019	474.698	14	65.896	0.622	40.987					
				6	36.462	6.214	226.574	15	66.333	0.999	66.266					
				7	31.135	2.072	64.511	16	66.493	0.926	61.572					
				8	40.390	4.081	164.831	17	66.493	0.880	58.513					
				9	40.390	12.717	513.639	18	66.436	0.387	25.71					
計	57.029			計	1,798.669			19	66.325	30.421	2017.672					
１／２	28.514			１／２	899.334			計	4,214.323							
Ａ面積	28.51 ㎡			Ｂ面積	899.33 ㎡			１／２	2,107.161			計	12.794			
（近隣商業地域）927.84 ㎡								Ｃ面積	（第一種住居地域）2,107.16 ㎡			１／２	6.397			
（建築基準法による敷地面積）3,035.00 ㎡												Ｄ面積	（敷地面積非算入面積）6.39 ㎡			
（合計）3,041.39 ㎡																



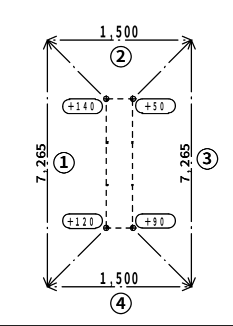
倉吉福祉センター棟　地盤面算定平面図

倉吉福祉センター棟　地盤面算定		
①	(0.050)*20.200	1.010
②	(0.050+0.325)*28.150/2	5.278
③	(0.325)*3.050	0.991
④	(0.325+0.150)*7.975/2	1.894
⑤	(0.150)*12.225	1.834
⑥	(0.150+0.260)*10.500/2	2.153
⑦	(0.260)*2.500	0.650
⑧	(0.260+0.350)*2.125/2	0.648
⑨	(0.350)*2.500	0.875
⑩	(0.350)*3.850	1.348
⑪	(0.350)*2.500	0.875
⑫	(0.260+0.350)*2.125/2	0.648
⑬	(0.260)*2.500	0.650
⑭	(0.260+0.050)*12.600/2	1.953
合計		20.807㎡
※　建築基準法による平均地盤面の算出 20.807㎡（面積）／112.800m（全長）＝0.184m→GL＋180mm		



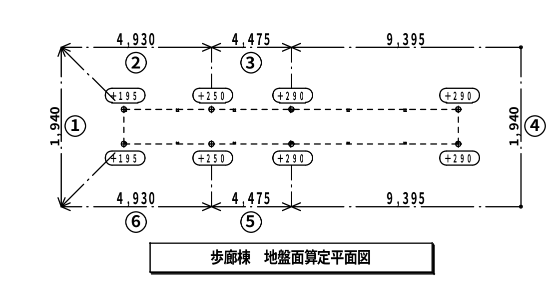
倉庫棟　地盤面算定平面図

倉庫棟　地盤面算定		
①	(0.325)*16.620	5.402
②	(0.150)*16.620	2.493
合計		7.895㎡
※　建築基準法による平均地盤面の算出 7.895㎡（面積）／33.240m（全長）＝0.237m→GL＋230mm		



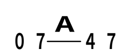
自転車置場棟　地盤面算定平面図

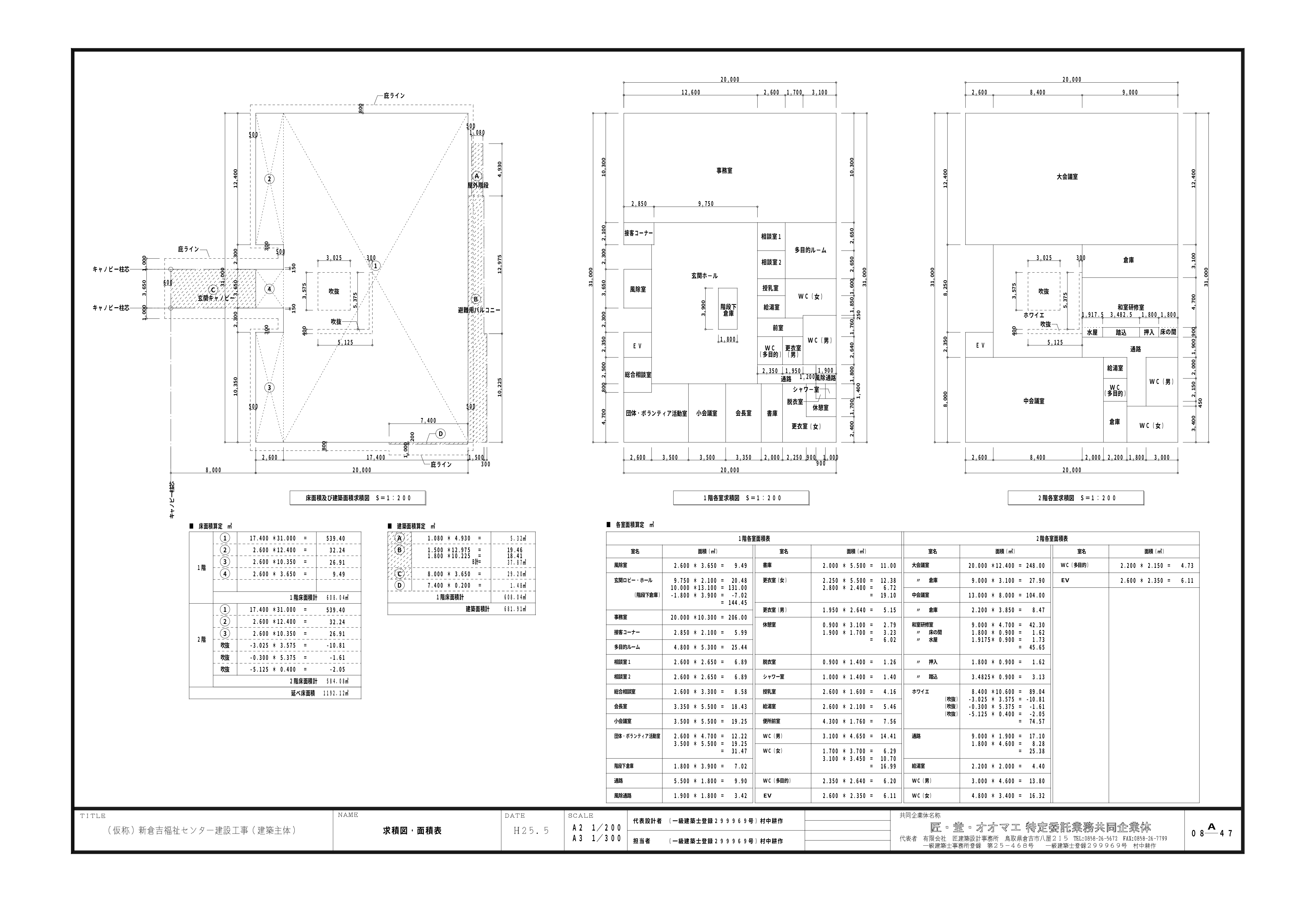
自転車置場棟　地盤面算定表		
①	(0.120+0.140)*7.265/2	0.944
②	(0.140+0.050)*1.500/2	0.143
③	(0.050+0.090)*7.265/2	0.509
④	(0.090+0.120)*1.500/2	0.158
合計		1.754㎡
※　建築基準法による平均地盤面の算出 1.754㎡（面積）／17.530m（全長）＝0.100m→GL＋100mm		



歩廊棟　地盤面算定平面図

歩廊棟　地盤面算定		
①	(0.195)*1.940	0.378
②	(0.195+0.250)*4.930/2	1.097
③	(0.250+0.290)*4.475/2	1.208
④	(0.290)*20.730	6.012
⑤	(0.250+0.290)*4.475/2	1.208
⑥	(0.195+0.250)*4.930/2	1.097
合計		11.000㎡
※　建築基準法による平均地盤面の算出 11.000㎡（面積）／41.480m（全長）＝0.265m→GL＋260mm		

TITLE	NAME	DATE	SCALE		共同企業体名称	
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	敷地面積算定・地盤面算定	H25．5	A2　1／300 A3　1／450	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作	匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作	07  A 47



■ 床面積算定 ㎡

1階	①	17.400 ＊31.000 =	539.40
	②	2.600 ＊12.400 =	32.24
	③	2.600 ＊10.350 =	26.91
	④	2.600 ＊ 3.650 =	9.49
		1階床面積計	608.04㎡
2階	①	17.400 ＊31.000 =	539.40
	②	2.600 ＊12.400 =	32.24
	③	2.600 ＊10.350 =	26.91
	吹抜	-3.025 ＊ 3.575 =	-10.81
	吹抜	-0.300 ＊ 5.375 =	-1.61
	吹抜	-5.125 ＊ 0.400 =	-2.05
		2階床面積計	584.08㎡
		延べ床面積	1192.12㎡

■ 建築面積算定 ㎡

Ⓐ	1.080 ＊ 4.930 =	5.32㎡
Ⓑ	1.500 ＊12.975 = 1.800 ＊10.225 = B計=	19.46 18.41 37.87㎡
Ⓒ	8.000 ＊ 3.650 =	29.20㎡
Ⓓ	7.400 ＊ 0.200 =	1.48㎡
	1階床面積計	608.04㎡
	建築面積計	681.91㎡

■ 各室面積算定 ㎡

1階各室面積表

室名	面積（㎡）	室名	面積（㎡）
風除室	2.600 ＊ 3.650 = 9.49	書庫	2.000 ＊ 5.500 = 11.00
玄関ロビー・ホール （階段下倉庫）	9.750 ＊ 2.100 = 20.48 10.000 ＊13.100 = 131.00 -1.800 ＊ 3.900 = -7.02 = 144.45	更衣室（女）	2.250 ＊ 5.500 = 12.38 2.800 ＊ 2.400 = 6.72 = 19.10
事務室	20.000 ＊10.300 = 206.00	更衣室（男）	1.950 ＊ 2.640 = 5.15
接客コーナー	2.850 ＊ 2.100 = 5.99	休憩室	0.900 ＊ 3.100 = 2.79 1.900 ＊ 1.700 = 3.23 = 6.02
多目的ルーム	4.800 ＊ 5.300 = 25.44		
相談室1	2.600 ＊ 2.650 = 6.89	脱衣室	0.900 ＊ 1.400 = 1.26
相談室2	2.600 ＊ 2.650 = 6.89	シャワー室	1.000 ＊ 1.400 = 1.40
総合相談室	2.600 ＊ 3.300 = 8.58	授乳室	2.600 ＊ 1.600 = 4.16
会長室	3.350 ＊ 5.500 = 18.43	給湯室	2.600 ＊ 2.100 = 5.46
小会議室	3.500 ＊ 5.500 = 19.25	便所前室	4.300 ＊ 1.760 = 7.56
団体・ボランティア活動室	2.600 ＊ 4.700 = 12.22 3.500 ＊ 5.500 = 19.25 = 31.47	WC（男）	3.100 ＊ 4.650 = 14.41
		WC（女）	1.700 ＊ 3.700 = 6.29 3.100 ＊ 3.450 = 10.70 = 16.99
階段下倉庫	1.800 ＊ 3.900 = 7.02		
通路	5.500 ＊ 1.800 = 9.90	WC（多目的）	2.350 ＊ 2.640 = 6.20
風除通路	1.900 ＊ 1.800 = 3.42	EV	2.600 ＊ 2.350 = 6.11

2階各室面積表

室名	面積（㎡）	室名	面積（㎡）
大会議室	20.000 ＊12.400 = 248.00	WC（多目的）	2.200 ＊ 2.150 = 4.73
〃 倉庫	9.000 ＊ 3.100 = 27.90	EV	2.600 ＊ 2.350 = 6.11
中会議室	13.000 ＊ 8.000 = 104.00		
〃 倉庫	2.200 ＊ 3.850 = 8.47		
和室研修室 〃 床の間 〃 水屋	9.000 ＊ 4.700 = 42.30 1.800 ＊ 0.900 = 1.62 1.9175＊ 0.900 = 1.73 = 45.65		
〃 押入	1.800 ＊ 0.900 = 1.62		
〃 踏込	3.4825＊ 0.900 = 3.13		
ホワイエ （吹抜） （吹抜） （吹抜）	8.400 ＊10.600 = 89.04 -3.025 ＊ 3.575 = -10.81 -0.300 ＊ 5.375 = -1.61 -5.125 ＊ 0.400 = -2.05 = 74.57		
通路	9.000 ＊ 1.900 = 17.10 1.800 ＊ 4.600 = 8.28 = 25.38		
給湯室	2.200 ＊ 2.000 = 4.40		
WC（男）	3.000 ＊ 4.600 = 13.80		
WC（女）	4.800 ＊ 3.400 = 16.32		

TITLE	NAME	DATE	SCALE		共同企業体名称	
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	求積図・面積表	H25.5	A2 1／200 A3 1／300	代表設計者 （一級建築士登録299969号）村中耕作 担当者 （一級建築士登録299969号）村中耕作	匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋215 TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録 第25－468号 一級建築士登録299969号 村中耕作	08 A 47

外　部　仕　上　表

名　称	位置（種類）	下　地　及　び　仕　上
本体	屋根	カラーＧＬ鋼板０．５ｔ段葺［Ｈ２５mm、ポリエチレンフォーム４ｔ裏張、雪止アングル（溶融亜鉛メッキ）下部２段、雪止金物上部３段］
		鉄骨垂木の上耐火野地板２５ｔ＋ゴムアスルーフィング１．０ｔ下地
	庇	カラーアルミ製既製品　出幅３００［ＡＦ９３程度］
	破風・鼻隠し	カラーＧＬ鋼板０．８ｔパネル加工　耐水ＰＢ１２．５ｔ裏張
	軒天	軒天ボード１１ｔ張り（一部有孔）ＤＰ塗　ＬＧＳ下地
	外壁	防火サイディング１６ｔ通気金具工法　鉄骨胴縁の上透湿防水シート０．２ｔ下地
	土台水切	カラーＧＬ鋼板０．４ｔ
	根廻	化粧型枠コンクリート打放し仕上
	風除室廻り見切框	御影石張
	犬走り	コンクリート金コテ仕上
	風除通路ポーチ	磁器質１５０角タイル張
	妻飾り	アルミパンチングメタル及びＳＵＳ製

名　称	位置（種類）	下　地　及　び　仕　上
玄関ポーチ	屋根	カラーＧＬ鋼板０．５ｔ立平Ｔカン合葺［ポリエチレンフォーム４ｔ裏張、雪止金物２段］
		鉄骨垂木の上耐火野地板２５ｔ＋ゴムアスルーフィング１．０ｔ下地
	陸屋根	ウレタン系塗膜防水（Ｘ－２仕様）
		鉄骨垂木の上耐火野地板２５ｔ下地
	幕板・笠木・柱型	アルミ鋼板パネル１．５ｔ焼付塗装（グライト吹付け）
	軒天	カラーアルミスパンドレル１．０ｔ張り［発泡ポリスチレンフォーム５ｔ裏張］　ＬＧＳ下地
	床	磁器質１５０角タイル張　ＲＣの上モルタル下地　（床見切縁：御影石１２０＊１２０）
	巾木	御影石１５０Ｈ張
避難用バルコニー・屋外階段	鉄骨階段・手摺	鉄骨部材：溶融亜鉛メッキ下地処理の上ポリウレタン樹脂塗料（踏面モルタルコテ押え）
	バルコニー床	殊機能性防水材〈パラテックス同等品〉Ａ－３歩行用（立上り共）　ＲＣこて押え下地
	バルコニー幕板	押出し成形板２４０＋１５０タイプ（コーナー共）ＤＰ塗
	バルコニー軒天	軒天ボード１１ｔ張り（一部有孔）ＤＰ塗　ＬＧＳ下地

名　称		下　地　及　び　仕　上
樋	本体	軒樋：カラー塩ビ複合樹脂製Ｖ２００　縦樋：カラーＶＵ７５　掴金物：ステンレス製
	玄関ポーチ	縦樋：カラーステンレスφ６０　掴金物：ステンレス製 ルーフドレイン：丸型（軒裏シーリングプレート）
	避難用バルコニー	軒樋：カラー塩ビ複合樹脂製Ｗ１２０　縦樋：カラーＶＵ５０　掴金物：ステンレス製
金物・その他	施設名板１	ステンレス箱文字１５０角［１０文字］
	施設名板２	木製３００×１９００（移設品）
	ピット換気口	アルミ製丸型防風板付ガラリφ１００（ＳＵＳ防虫網付）［４ヶ所］
	旗竿取付金物	ステンレス製
	出入口部溝蓋	ステンレス製グレーチング　縦目細目ノンスリップタイプ２０ｔ　溝巾３００（溝内部は防水モルタル塗）
	点字タイル	磁器質３００角タイプ
	定礎板	御影石製４００×３００
	小屋裏換気口	ステンレス製丸型防風板付ガラリφ１５０（防火ダンパー、ＳＵＳ防虫網付）
	見切框	御影石製

内部仕上　共通事項（特記なきもの下記による）　※倉庫棟も準ずる

（　○印　あるものを適用とする）

○	左官下地及び塗装下地ＰＢジョイントははテーパーエッジによる継目処理工法とすること。（ジョイントテープ等使用）
○	クロス下地ＰＢジョイントはテーパーエッジによる継目処理工法とすること。（ジョイントテープ等使用）
○	窓カーテンは遮光型防炎品（柄物）とし、レールはステンレス製とする※カーテンは別途工事とする。（レールは本工事）
○	ビニール床シートは溶接工法とする。
○	メラミン化粧不燃板は柄物とし、ジョイント、入隅目地はシーリング施工、出隅、天端はカラーアルミ役物施工とする。
○	沓刷りはすべてバリアフリータイプとする。
○	ＬＧＳ壁下地は自立壁部分はｗ６５を標準とし、片面仕上部分はｗ６５を標準とする。
○	外壁内部側ＬＧＳ壁下地はＬＧＳ２５＊２５@３０３下地（ボード継手部２５＊５０）を標準とする。
○	室名札は，Ａ：一般、Ｂ：在室表示、Ｃ：在室表示＋ペーパーハンガー付とし、アルミフレーム製２００角とする。
○	図中ＯＳ塗仕上は木材保護塗料とする。
○	図中ステンレス（ＳＵＳ）はＳＵＳ３０４とする。
○	１階土間コン断熱下には防湿シート０．１５ｔを施工すること。
○	複層ビニル床タイル３ｔは　東リ　ロイヤルウッド程度とする。
○	ビニル床シート（Ａ）２．０ｔは　複層ビニル床シートＦＳ（マーブル程度）とする。 〃　（Ｂ）２．８ｔは　発泡複層ビニル床シートＨＳ（木目程度）とする。
○	タイルカーペット６ｔは　東リ　ＧＡ４００程度とする。 〃　７．５ｔは　〃　ＧＸシリーズ程度とする。
○	消火器ＢＯＸ：スチール製塗装品　全埋込型蓋付［４ヶ所］
○	システムキッチンｗ１８００：［トップ：ステンレス、扉：化粧シート張］ シングルレバー水栓、ＩＨヒーター（埋込型２口）、レンジフードシロッコファン
○	吊戸棚：システムキッチン付属品仕様　［扉：化粧シート張］Ｈ６００
○	床下点検口：６００角　アルミ枠　充填用　施錠式（２ヶ所）
○	タラップ（床下点検口ごと）：ＳＵＳ３０４　Ｈ１０００程度
○	天井点検口：４５０角　アルミ枠　（５０ヶ所）
○	施設概要及び介護保険表示板：アルミフレーム製９００＊１５００
○	内部点字鋲：ステンレス樹脂被覆製　表示寸法３００角タイプ
○	配線ピット：樹脂製ＯＡフロア　Ｈ１００　耐荷重３０００Ｎ品
○	ポスト口：ステンレス製貫通型
○	面台：ポストフォーム
○	案内板：アルミフレーム製１２００＊９００
○	催事用バトン：中型電動昇降式Ｌ＝４０００　アルミ埋込ボックス共
○	映写用スクリーンＡ：電動昇降式　１５０型（４：３）　アルミ埋込ボックス共 〃　Ｂ：電動昇降式　１００型（４：３）　アルミ埋込ボックス共
○	ピクチャーレール：中量用　フック@５００程度

外部仕上　共通事項（特記なきもの下記による）　※倉庫棟も準ずる

○	図中ＧＬ鋼板はガルバリウム鋼板とする。
○	透湿防水シートは横張とし、しジョイント部分及びサッシ回りはシージングテープ張とする
○	外部廻りシーリングは　二成分系　ポリサルファイド系とする。
○	使用タイルは耐凍害性タイルし、床タイルはノンスリップタイプとする。
○	サイディングコーナー部分は同材専用役物により施工すること。
○	図中ステンレス（ＳＵＳ）はＳＵＳ３０４とする。
○	図中軒天ボードはスラグ石膏板（アスノンエンボス同等品）とする。
○	防火サイディングはニチハ　エクセラード（５０００円～／㎡）程度とする。

その他　共通事項（特記なきもの下記による）

○	石綿添加した建築材料は用いない。
○	ホルムアルデヒド発散建築材料（仕上、下地、家具、建具、塗料、接着剤等）はＦ☆☆☆☆タイプもしくは規制対象外品とする。
○	クロルピリポスを使用した建築材料は用いない。
○	換気計画部分の内装仕上はすべて規制対象外とし、換気計画部分の天井裏等の措置について使用材料はすべて規制対象外とする。
○	図面に記入の商品名は全て参考品として同等品以上とする
○	■木材仕様 米松　：木床下地材　タモ積層材：木製建具枠 米栂　：押入造作材・雑巾摺　杉集成材　：鴨居・長押・廻縁 メルサワ　：敷居　桧集成材　：和室柱・付柱
○	■断熱工事 ・土間下：ポリエチレンフォーム３種３０ｔ ・ピットスラブ：木毛セメント板２５ｔ ・外壁（サイディング）：住宅用グラスウール５０ｔ［２４Ｋフィルム張品］ ・外壁（１階ＲＣ立上）：現場発泡硬質ウレタンフォーム２５ｔ ・屋根に面する天井：住宅用グラスウール５０ｔ［２４Ｋフィルム張品］

防火構造・耐火構造認定番号等一覧

（準耐火建築物ロ－２）

位置	仕様	不燃等認定番号	耐火・防火構造等認定番号	法定仕様
屋根	鋼板葺、タル木：鉄骨造、野地板：耐火野地板２５ｔ	鋼板・鉄骨タル木：不燃材料 野地板：準不燃材料	告示１３６５号による法２２条第１項に規定する構造（屋根葺材不燃、野地板及び垂木準不燃以上）	法２２条第１項に規定する構造
軒裏	軒天ボード１１ｔの上ＡＥ塗　ＬＧＳ下地	不燃材料	準耐火ＱＦ０４５ＲＳ－９００１	防火構造以上
外壁（延焼のおそれのある部分共）	外側：防火サイディング１６ｔ＋鉄骨胴縁 内側：ＰＢ１２．５ｔ張［一部耐水ＰＢ１２．５ｔ］（ＬＧＳ下地又は鉄骨胴縁下地）	準不燃材料	防火ＰＣ０３０ＢＥ－９２０２	準不燃以上（防火構造以上）
延焼のおそれのある開口部	防火設備	——	——	防火設備
柱・梁	鉄骨造	不燃材料	——	不燃
２階床	デッキプレートの上コンクリート	不燃材料	——	準不燃以上
屋内階段	鉄骨造	不燃材料	——	準不燃以上
面積区画間仕切壁	ＬＧＳ準耐火間仕切　：ＬＧＳ下地ＰＢ１２．５ｔ＋ＰＢ９．５ｔ両面張	準不燃材料	告示第１３５８号第１、二による間仕切非耐力壁準耐火構造	準耐火構造以上
面積区画２階床	デッキプレートの上コンクリート	耐火構造	耐火ＦＰ０６０ＦＬ－９０９５	準耐火構造以上
面積区画開口部	常時閉鎖式特定防火設備	——	——	常時閉鎖式特定防火設備
面積区画外壁スパンドレル	外側：防火サイディング１６ｔ＋鉄骨胴縁 内側：強化ＰＢ１２．５ｔ張（ＬＧＳ下地又は鉄骨胴縁下地）	準不燃材料	準耐火ＱＦ０４５ＢＥ－９２２６	準不燃以上（準耐火構造以上）
面積区画外壁スパンドレル開口部	防火設備	——	——	防火設備
昇降路間仕切壁	ＬＧＳ準耐火遮音間仕切　：ＬＧＳ@３０３千鳥下地強化ＰＢ１２．５ｔ＋硬質ＰＢ９．５ｔ両面張（内部GW２４ｋｇ／m3　50ｔ）	準不燃材料	——	難燃材料以上
昇降路開口部	不燃扉	不燃材料	——	難燃材料以上

不燃認定番号等一覧

ＰＢ（石膏ボード）１２．５ｔ	不燃　：ＮＭ－８６１９	耐水ＰＢ（石膏ボード）１２．５ｔ	準不燃：ＱＭ－９８２６	和風化粧ＰＢ（石膏ボード）９．５ｔ	準不燃：ＱＭ－９８２４	ビニールクロス	準不燃：ＱＭ－９４４５	耐火野地板２５ｔ	準不燃：ＱＭ－９７０６	ＤＰ塗（アクリルシリコン樹脂エナメル）	不燃　：ＮＭ－８５８５
ＰＢ（石膏ボード）９．５ｔ	準不燃：ＱＭ－９８２８	押入化粧ＰＢ（石膏ボード）１２．５ｔ	不燃　：ＮＭ－０５３０	ロックウール化粧吸音板　９ｔ張	不燃　：ＮＭ－８５９９	不燃クロス	準不燃：ＮＭ－０４８１	防火サイディング１６ｔ	準不燃：ＱＭ－０６３９		
強化ＰＢ（石膏ボード）１２．５ｔ	不燃　：ＮＭ－８６１５	押入化粧ＰＢ（石膏ボード）９．５ｔ	準不燃：ＱＭ－０１７２	メラミン化粧不燃板３ｔ	不燃　：ＮＭ－１６９９	腰壁用壁紙	不燃：ＮＭ－１４３１	軒天ボード１１ｔ（スラグせっこう板）	不燃　：ＮＭ－８３１４		
硬質ＰＢ（石膏ボード）９．５ｔ	不燃　：ＮＭ－１９０８	化粧ＰＢ（石膏ボード）９．５ｔ	準不燃：ＱＭ－９８２４					押出し成型板	不燃　：ＮＭ－２０９８		

TITLE	NAME	DATE	SCALE		共同企業体名称	
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	外部仕上表・共通事項	Ｈ２５．５		代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作	匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作	０９ Ａ ４７

■ 内 部 仕 上 表

階	室名	内装 (仕上のみ / 下地共)	床高（FL+）	天井高（FL+）	床下地		床仕上	巾木	壁下地	壁仕上		天井下地	天井仕上		廻り縁	室名札	○：カーテン（別途工事・レール本工事） △：ブラインド（別途工事）	備考
1階	風除室	準不	±0	2,970	RC	モルタル塗	磁器質150角タイル張	——	LGS	——	サッシ顕し	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	—	—	床点字タイル、介護保険及び施設概要表示板
	玄関ホール・接客コーナー	準不	±0	3,000	RC	セルフレベリング	複層ビニル床タイル3tデザイン張	化粧シート張既製品（腰壁材専用品）	LGS	PB12.5t（階段廻り2重張） LGS準耐火遮音間仕切（EV廻り）	壁：ビニールクロス張 腰：腰壁用壁紙張（専用見切共）H2000	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	—	（タテ型） △ ［アルミBOX共］	床点字鋲、ピクチャーレール、掲示コーナー、案内板、天井見切隔板、コーナーガード（NS50M）*3ヶ所
	事務室	難燃	±0	3,000 2,800	RC	セルフレベリング	タイルカーペット6.0t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	—	△	配線ピット、床見切、ポストロ
	多目的ルーム	難燃	±0	2,500	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（A）2.0t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS		化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*1	△	
	相談室1・2	不燃	±0	2,500	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（B）2.8t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	壁：不燃クロス張	LGS	PB12.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	C*2	—	
	総合相談室	難燃	±0	2,830	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（B）2.8t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t LGS準耐火遮音間仕切（EV廻り）	壁：ビニールクロス張	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	C*1	△	
	会長室	難燃	±0	2,700	RC	セルフレベリング	タイルカーペット7.5t張	化粧シート張既製品（腰壁材専用品）	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張 腰：腰壁用壁紙張（専用見切共）H970	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	B*1	△	ピクチャーレール
	小会議室	難燃	±0	2,700	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（B）2.8t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	C*1	△	ピクチャーレール
	団体・ボランティア活動室	難燃	±0	2,830	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（B）2.8t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	B*1	△	
	階段下倉庫		±0	1,770 ～575	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（A）2.0t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	PB顕し	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*1	—	鉄部SOP塗
	通路	準不	±0	2,500	RC	セルフレベリング	複層ビニル床タイル3tデザイン張	化粧シート張既製品（腰壁材専用品）	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張 腰：腰壁用壁紙張（専用見切共）H2000	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	—		
	風除通路		±0	2,500	RC	モルタル塗	磁器質150角タイル張	御影石H100	LGS	耐水PB12.5t2重張（全面パテしごき）	壁：低汚染型内装用仕上塗材仕上	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	—	—	
	書庫		±0	2,500	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（A）2.0t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*1	—	
	更衣室（男・女）		±0	2,500	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（A）2.0t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t 耐水PB12.5t	壁：ビニールクロス張 ライニング：メラミン不燃化粧板3t張（女子）	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*2	—	面台（女）、床下ハッチ（男）、タラップ（男）
	休憩室	難燃	+100 +100 ±0	2,500	RC	ネダフォーム33t 木製床組 T1ラワン合板12t セルフレベリング	一般：畳55t敷 一部：複合フローリング（縁甲板）12t張 踏込：ビニール床シート（B）2.8t張	雑巾摺（米栂） ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS	PB9.5t	ビニールクロス張	塩ビ	A*1	△	上框
	脱衣室		+100	2,500	RC	木製床組 T1ラワン合板12t	ビニール床シート（B）2.8t張	ビニール巾木H60	LGS	耐水PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*1	—	
	シャワー室		+100	2,130	RC	ユニットシャワー0812（TOTOJSV0812LW7同等品）折戸、コーナー収納、換気扇共			LGS	PB12.5t（外壁廻り）	——		——	——	—	—	—	
	授乳室	不燃	±0	2,500	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（B）2.8t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	壁：不燃クロス張	LGS	PB12.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	A*1 （ピクトサイン）	—	
	便所前室		±0	2,500	RC	セルフレベリング	複層ビニル床タイル3tデザイン張	化粧シート張既製品（腰壁材専用品）	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張 腰：腰壁用壁紙張（専用見切共）H2000	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	—	—	
2階	大会議室	難燃	±0	3,000 3,500	RC	セルフレベリング	タイルカーペット6.0t張	ビニール巾木H60	LGS	強化PB12.5t（外壁廻り） LGS準耐火間仕切 PB12.5t	壁：ビニールクロス張（ボーダークロス共）	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張 ビニールクロス張	塩ビ	C*1	（遮光・レース共） ○ ［集成BOX共］	映写用スクリーンA（150型）、天井プロジェクターハンガー 催事用バトン（L4.0m×1ヶ所）
	〃 倉庫		±0	2,500	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（A）2.0t張	雑巾摺（米栂）	LGS	強化PB12.5t（外壁廻り） LGS準耐火間仕切 PB12.5t	壁：PB顕し 腰：シナ合板4t張（H1800）	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*1	—	
	中会議室	難燃	±0	3,000	RC	セルフレベリング	タイルカーペット6.0t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t LGS準耐火遮音間仕切（EV廻り）	壁：ビニールクロス張（ボーダークロス共）	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	C*1	（遮光・レース共） ○ ［集成BOX共］	映写用スクリーンB（100型）、天井プロジェクターハンガー
	〃 倉庫		±0	2,500	RC	セルフレベリング	ビニール床シート（A）2.0t張	雑巾摺（米栂）	LGS	PB12.5t	壁：PB顕し 腰：シナ合板4t張（H1800）	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*1	—	
	和室研修室	難燃	+60	2,760	RC	ネダフォーム33t	畳55t敷	タタミ寄（米栂）	LGS	LGS準耐火間仕切の上PB12.5t PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS	—— PB9.5t	和風化粧PB9.5t張（杉中杢） ビニールクロス張	集成材（赤杉） 二重	A*1	—	造作柱、付柱、長押、付鴨居、釜蛭釘
	〃 床の間	難燃	+160	2,560	RC	木製床組	床板：松集成材	雑巾摺（桧）	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS	——	和風化粧PB9.5t張（杉中杢）	集成材（赤杉）	—	—	床框、落し掛け、無双四分一、可動稲妻折れ釘
	〃 水屋	難燃	+60	1,933	RC	木製床組 T1ラワン合板12t	複合フローリング（縁甲板）12t張	雑巾摺（桧）	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張 腰：桧板12t	LGS	——	和風化粧PB9.5t張（杉中杢）	集成材（赤杉）	—	—	棚板
	〃 押入		+60	2,460	RC	木製床組	T1ラワン合板12t張り	雑巾摺（米栂）	LGS	——	壁：押入用化粧PB12.5t張	LGS	——	押入用化粧PB9.5t張	木製（米栂）	—	—	中棚、枕棚
	〃 踏込	準不	±0・+60	2,700	RC	セルフレベリング	複層ビニル床タイル3t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t	壁：ビニールクロス張	LGS	——	和風化粧PB9.5t張（杉中杢）	集成材（赤杉）	—	—	式台、下足棚*2、スロープ
	ホワイエ	準不	±0	3,500	RC	セルフレベリング	複層ビニル床タイル3t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t 一部PB12.5t+9.5t LGS準耐火遮音間仕切（EV廻り） LGS準耐火間仕切	壁：ビニールクロス張	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	—	（タテ型） △ ［アルミBOX共］	点床字鋲、ピクチャーレール、手摺、目隠板、床ボーダー
	屋内階段		—	—	鉄骨階段	モルタル塗	複層ビニル床タイル3t張（蹴込共）	御影石30t（ボーダー）		——	——	LGS	PB9.5t	ビニールクロス張（階段裏）	—	—	—	床点字鋲、手摺、目隠板、ノンスリップ
	通路	準不	±0	3,000	RC	セルフレベリング	複層ビニル床タイル3t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t（SHD面は2重張）	壁：ビニールクロス張	LGS	PB9.5t	ロックウール化粧吸音板9t張	塩ビ	—	—	コーナーガード*2ヶ所
共通	EVシャフト	難燃	-1,250	8,250	RC	モルタル塗	特殊機能性防水材（A-3歩行用）	∠——	LGS	PB12.5（外壁廻り） LGS準耐火遮音間仕切	壁：PB顕し	LGS	PB9.5t	PB顕し	—	A*2 （ピクトサイン）	—	
	給湯室［火器使用室］	準不	±0	2,500	RC	セルフレベリング	複層ビニル床タイル3t張	ビニール巾木H60	LGS	PB12.5t 耐水PB12.5t	壁：ビニールクロス張 流し前：メラミン不燃化粧板3t張	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*2	—	システムキッチンL1800、吊戸棚 床下ハッチ、タラップ（1F）
	WC（男・女）		±0	2,500	RC	セルフレベリング	トイレ用塩ビシート2.0t張	床シート巻上H100（役物共）	LGS	耐水PB12.5t（SHD面は2重張）	壁：ビニールクロス張 腰：メラミン不燃化粧板3t張（H1800）	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*4 （ピクトサイン）	—	面台、ポリ合板F棚W300（掃除具入内 フック共） 波型手摺L880（クネットポップ程度）*12ヶ所
	WC（多目的）		±0	2,500	RC	セルフレベリング	トイレ用塩ビシート2.0t張	床シート巻上H100（役物共）	LGS	耐水PB12.5t（SHD面は2重張）	壁：ビニールクロス張 腰：メラミン不燃化粧板3t張（H1800）	LGS	——	化粧PB9.5t張（900角）	塩ビ	A*2 （ピクトサイン）	—	間仕切カーテン

TITLE （仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）

NAME 内部仕上表

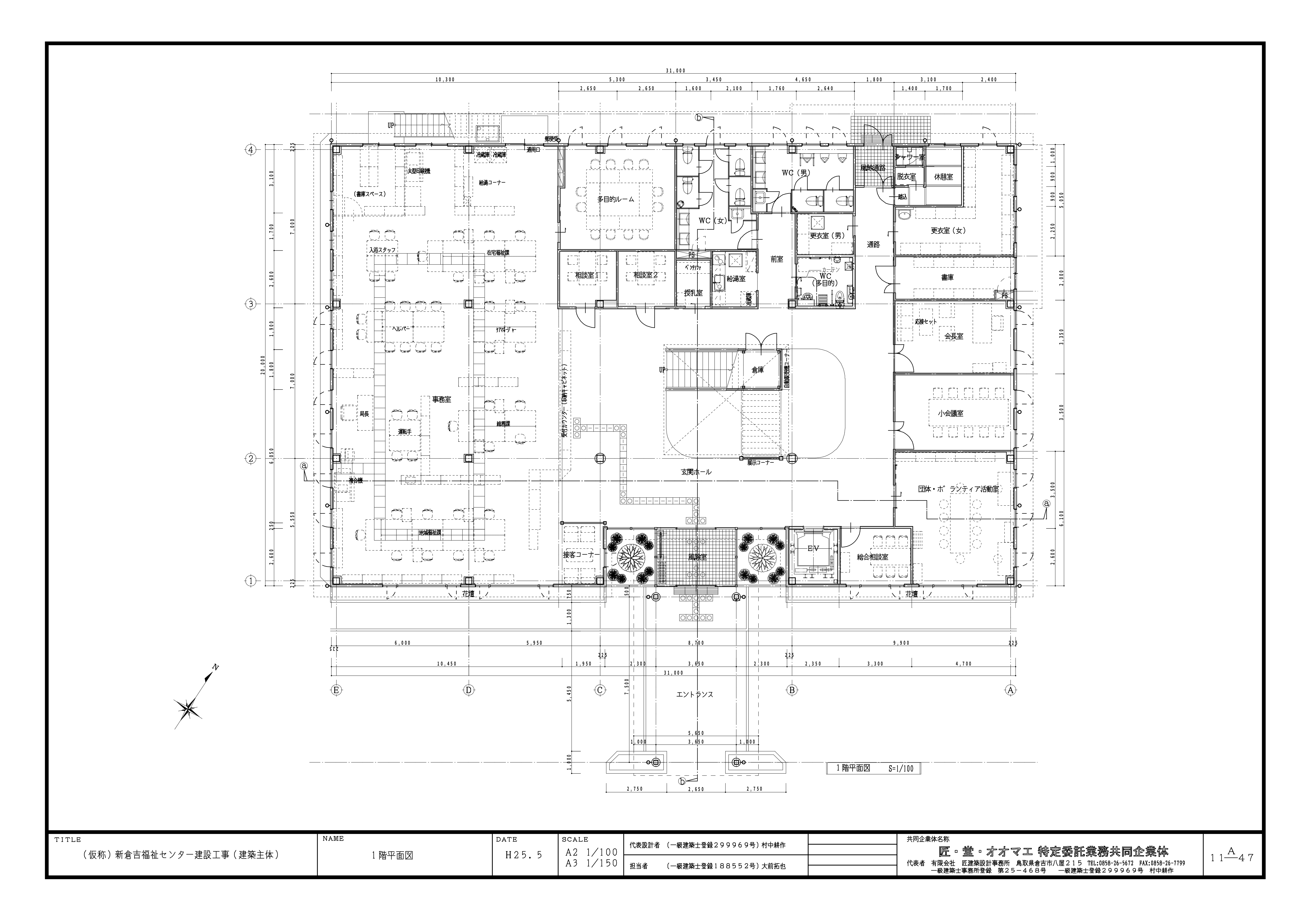
DATE H25.5

SCALE

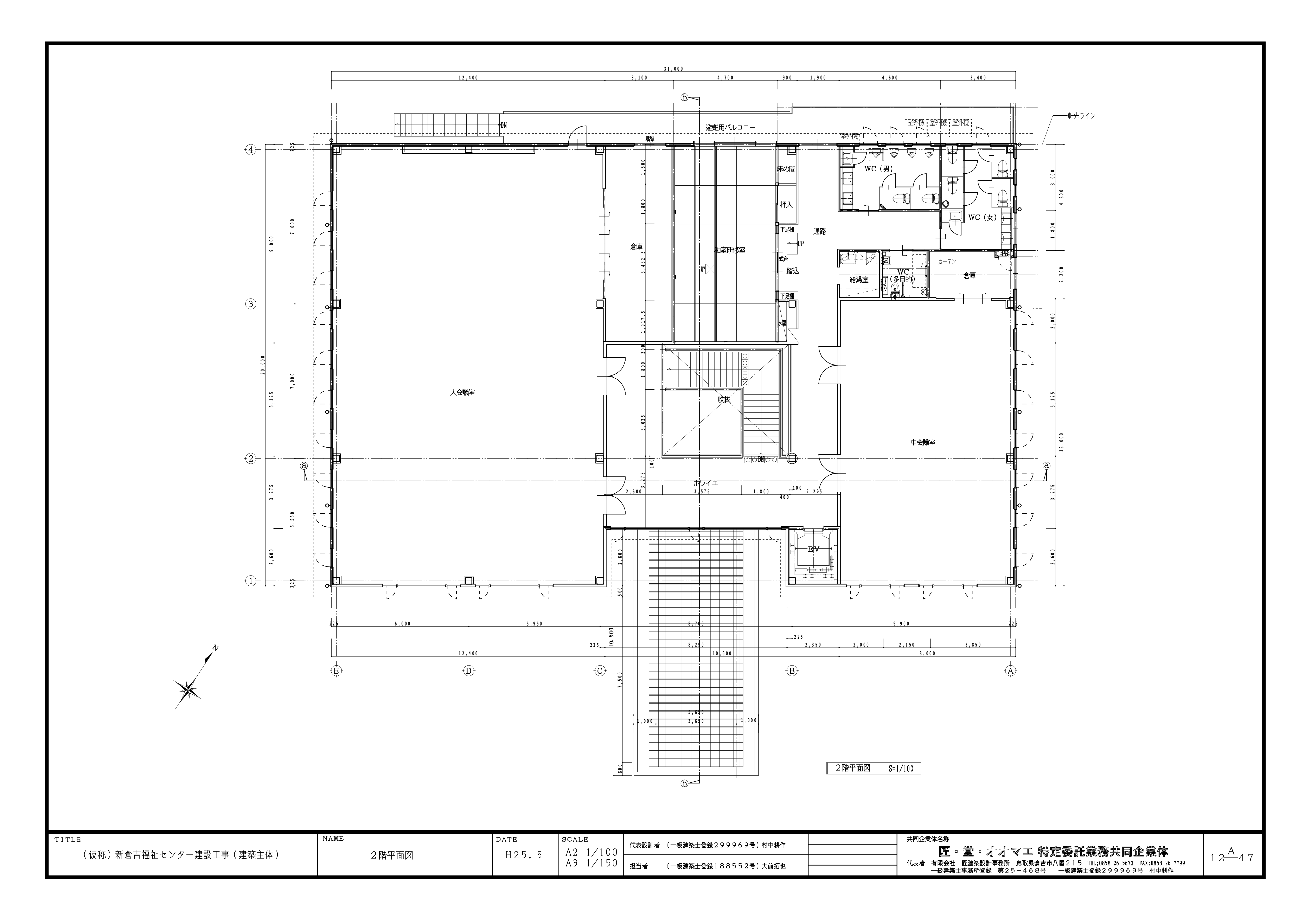
代表設計者 （一級建築士登録299969号）村中耕作

担当者 （一級建築士登録299969号）村中耕作

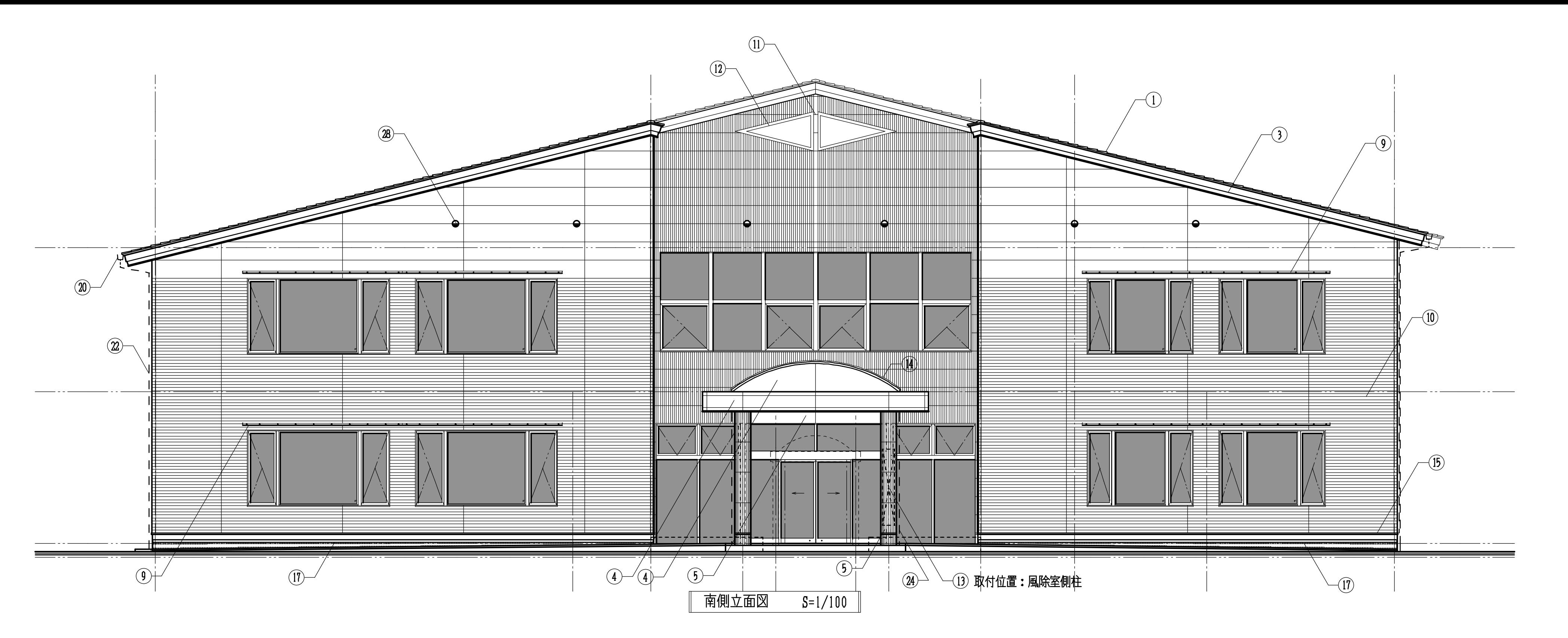
共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋215 TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録 第25-468号 一級建築士登録299969号 村中耕作

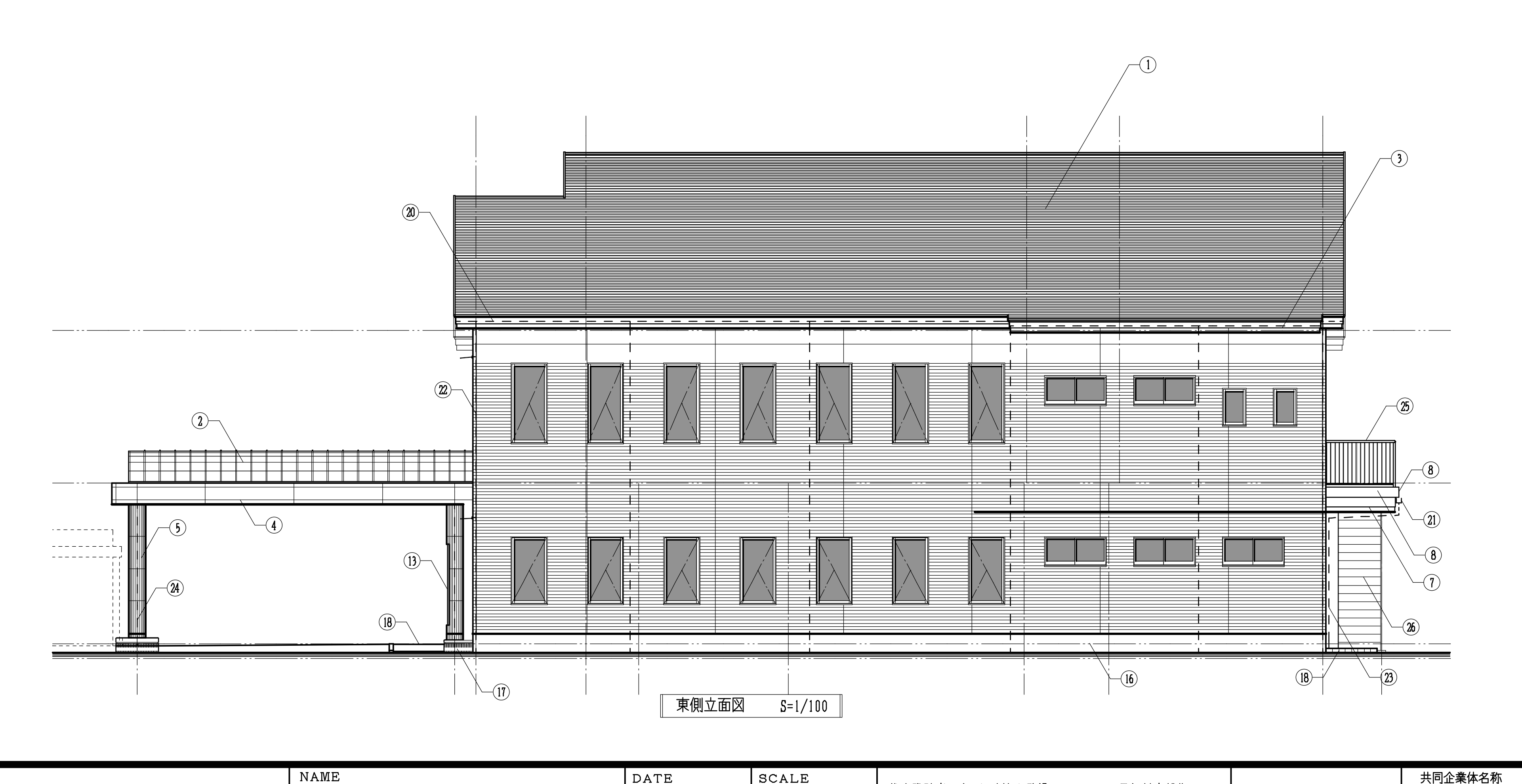


TITLE	NAME	DATE	SCALE			共同企業体名称	
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	1階平面図	H25.5	A2 1/100 A3 1/150	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　（一級建築士登録１８８５５２号）大前拓也		匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作	11 A/47



TITLE	NAME	DATE	SCALE			
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	2階平面図	H25.5	A2 1/100 A3 1/150	代表設計者 （一級建築士登録299969号）村中耕作 担当者 （一級建築士登録188552号）大前拓也	共同企業体名称 匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋215 TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録 第25-468号 一級建築士登録299969号 村中耕作	12 A 47



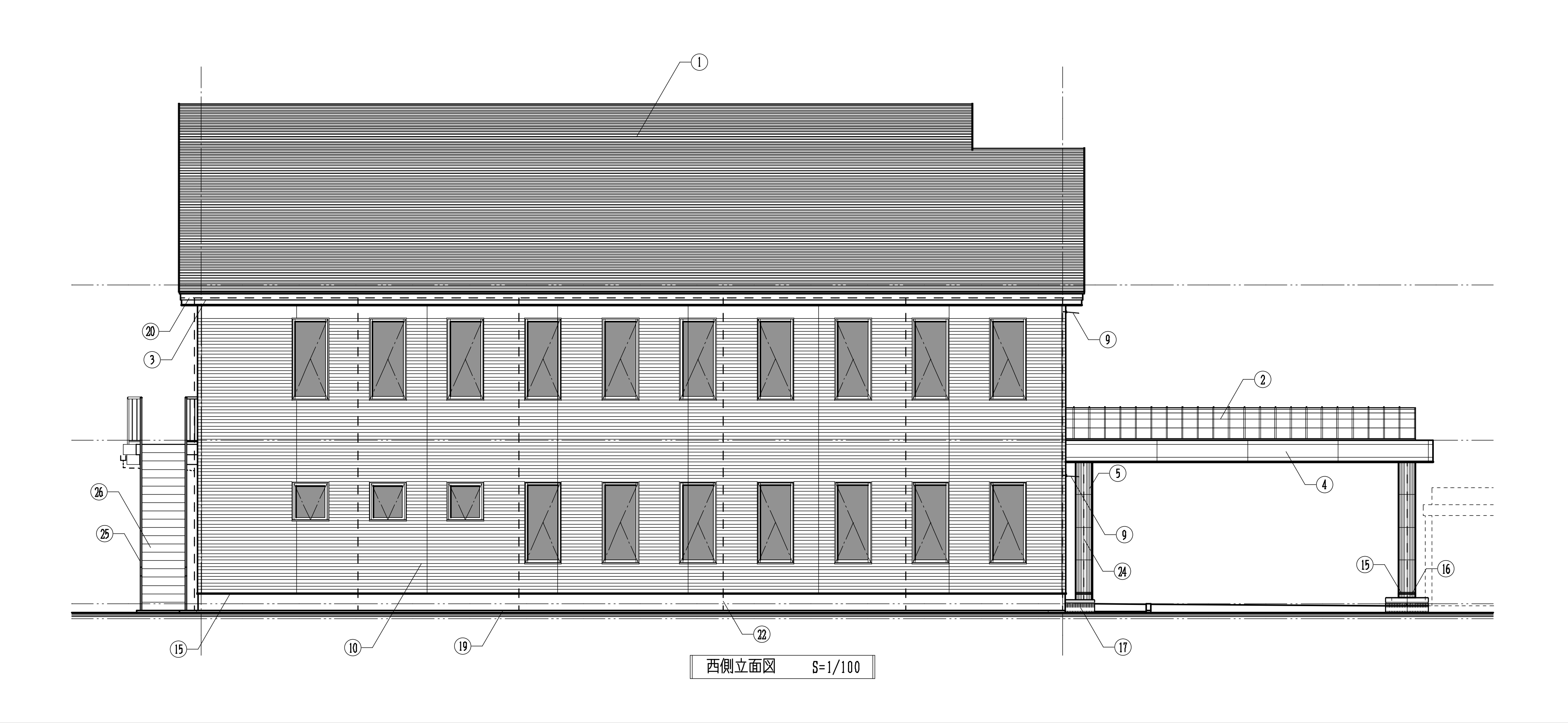


凡　例	
①	屋根：ｶﾗｰGL鋼板0.5ｔ段葺　雪止めｱﾝｸﾞﾙ（溶融亜鉛ﾒｯｷ）下部2段 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ4ｔ裏張　ｺﾞﾑｱｽﾙｰﾌｨﾝｸﾞ1.0ｔ
②	屋根：ｶﾗｰGL鋼板0.5ｔ立平Tｶﾝ合葺（ｱｰﾙ工法）　雪止金物2段 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ4ｔ裏張　ｺﾞﾑｱｽﾙｰﾌｨﾝｸﾞ1.0ｔ
③	破風板：ｶﾗｰGL鋼板0.8ｔﾊﾟﾈﾙ加工　耐水PBﾎﾞｰﾄﾞ12.5ｔ裏張
④	幕板・笠木・ｱｰﾙ壁：ｱﾙﾐ鋼板ﾊﾟﾈﾙ１．５ｔ　焼付塗装（ｸﾞﾗｲﾄ吹付）
⑤	柱型・下り壁：ｱﾙﾐ鋼板ﾊﾟﾈﾙ１．５ｔ　焼付塗装（ｸﾞﾗｲﾄ吹付）
⑥	幕板：押出し成形板（ｺｰﾅｰ共）　DP塗　240ﾀｲﾌﾟ
⑦	幕板：押出し成形板（ｺｰﾅｰ共）　DP塗　240＋150ﾀｲﾌﾟ
⑧	特殊機能性防水材　ﾓﾙﾀﾙ下地
⑨	ｱﾙﾐ庇　出300　外部ｱﾝｶｰ止方式
⑩	外壁：防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ16ｔ張　通気金具工法　透湿防水ｼｰﾄ0.2ｔ張
⑪	壁見切縁：SUS304　HL1.5t曲げ加工
⑫	ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ受角ﾊﾟｲﾌﾟ：SUS304　HL16*16*1.5t
⑬	施設名看板（上下取付金物－SUS304　HL2t曲げ加工）
⑭	雨押え：ｶﾗｰGL鋼板0.5ｔ　木下地30*90
⑮	土台水切：ｶﾗｰGL鋼板0.4ｔ
⑯	基礎立上り部：化粧型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上
⑰	化粧型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し小叩き仕上
⑱	床：磁器質150角ﾀｲﾙ張
⑲	犬走り：ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え
⑳	軒樋：ｶﾗｰ塩ビ複合樹脂製V200　吊金物ｽﾃﾝﾚｽ製
㉑	軒樋：ｶﾗｰ塩ビ複合樹脂製W120　吊金物ｽﾃﾝﾚｽ製
㉒	竪樋：ｶﾗｰVU75　掴金物：ｽﾃﾝﾚｽ製
㉓	竪樋：ｶﾗｰVU50　掴金物：ｽﾃﾝﾚｽ製
㉔	玄関ﾎﾟｰﾁ竪樋：ｶﾗｰｽﾃﾝﾚｽφ60　掴金物：ｽﾃﾝﾚｽ製
㉕	手すり：溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げの上　ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂塗料塗　上部φ42.7*2.0 下部φ34.0*2.0　脚□－35*35*2@1200　手すり子φ13@100
㉖	階段（蹴上面・裏側）：PL-4.5ｔ曲げ加工　ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂塗料塗
㉗	階段ｻｻﾗ桁：PL-16*270　ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂塗料塗
㉘	小屋裏換気口：ｽﾃﾝﾚｽ製丸型防風板付ｶﾞﾗﾘφ150（防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ、SUS防虫網付）

TITLE	NAME	DATE	SCALE			
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	立面図（１）	H25.5	A2 1/100 A3 1/150	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　（一級建築士登録１８８５５２号）大前拓也	共同企業体名称 匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作	13 A 47



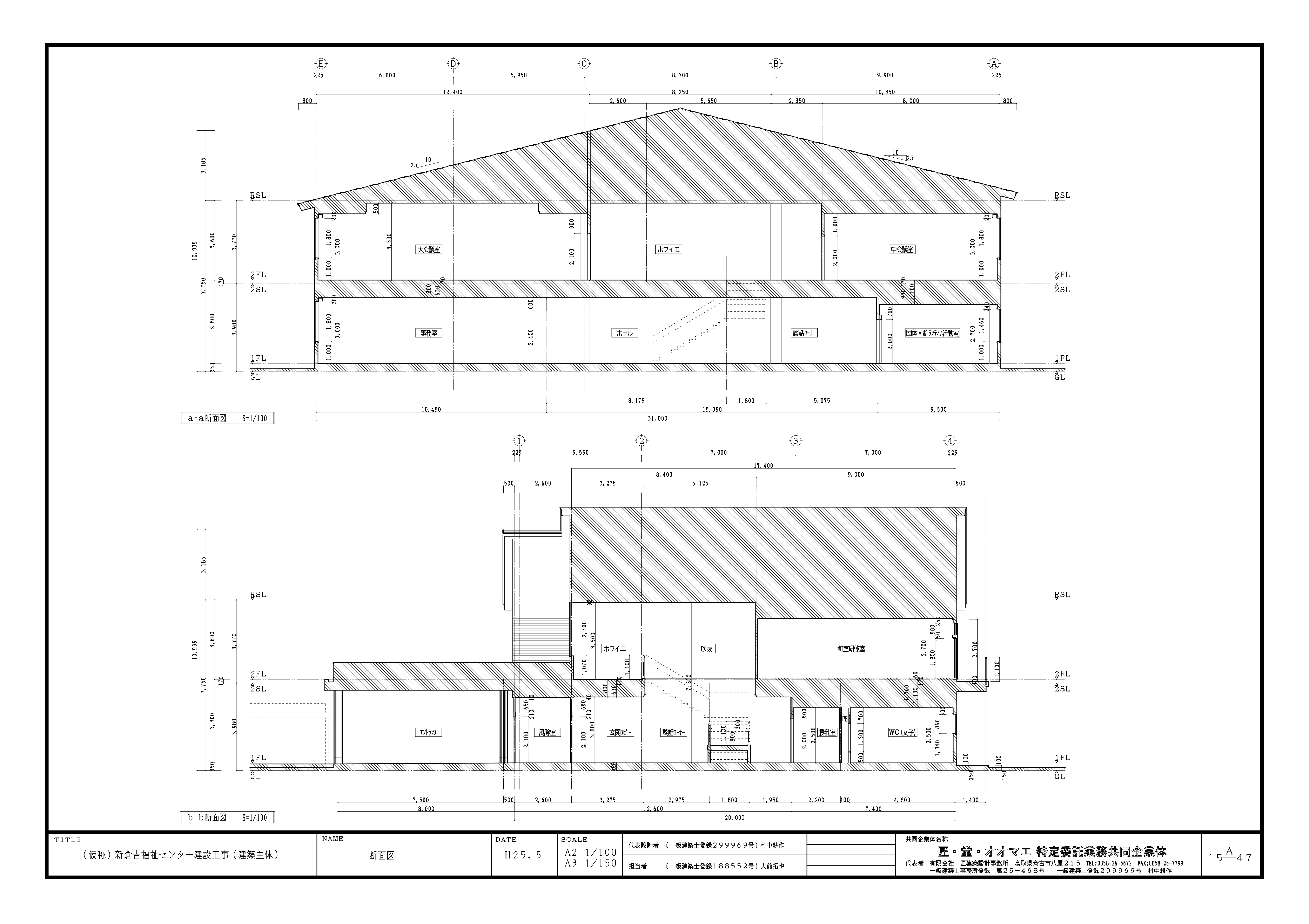
北側立面図　S=1/100



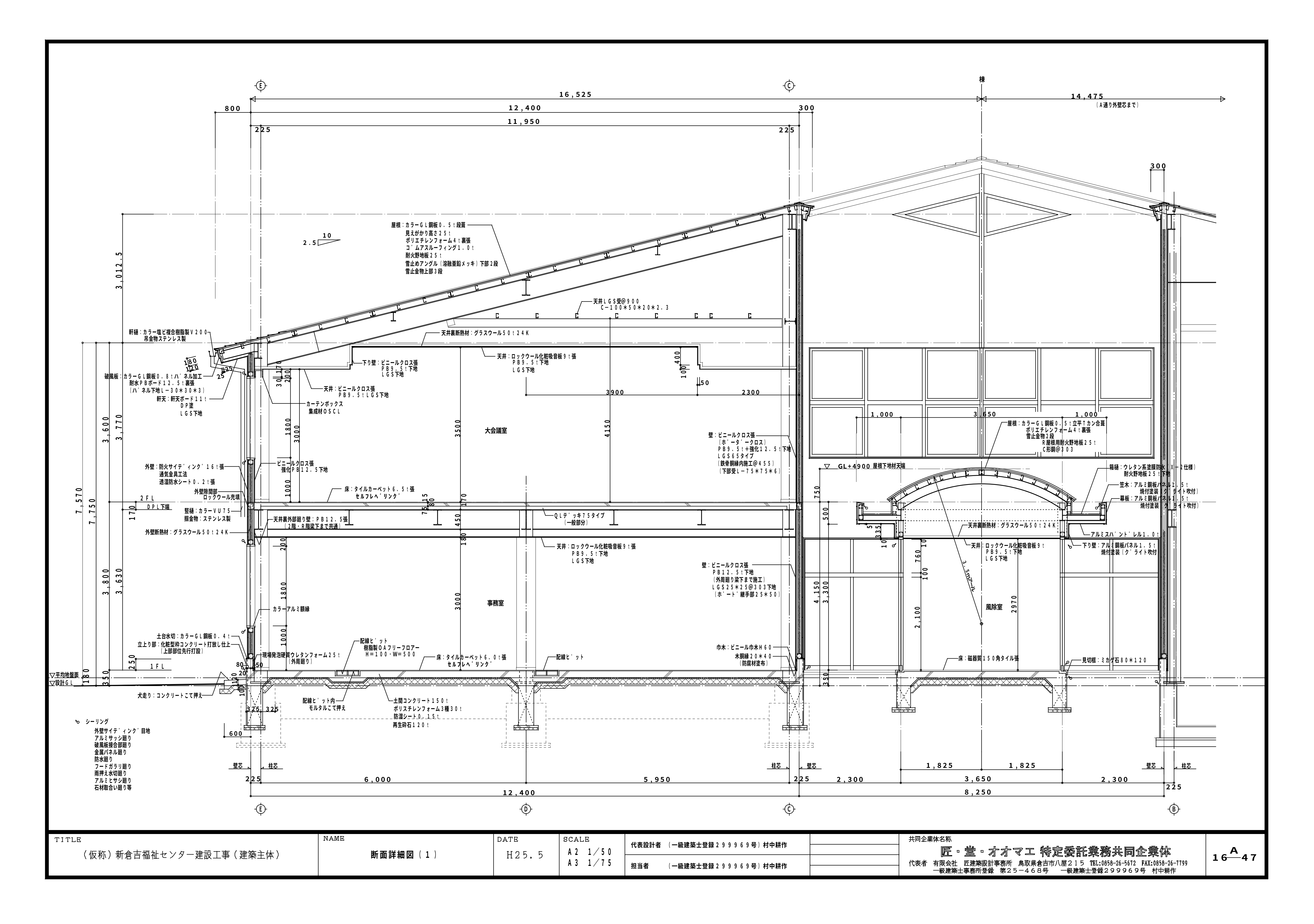
西側立面図　S=1/100

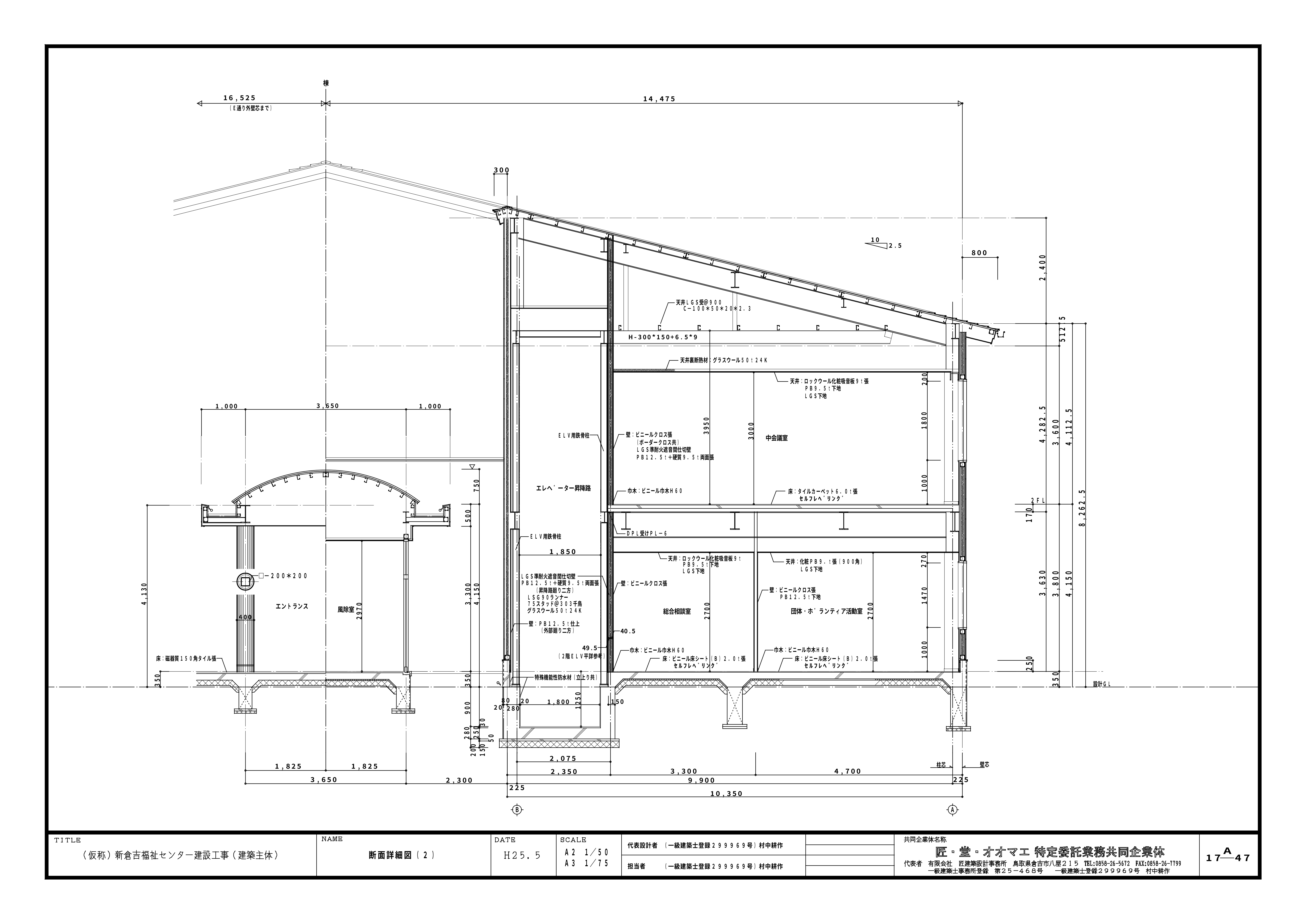
凡　例	
①	屋根：ｶﾗｰGL鋼板0.5ｔ段葺　雪止めｱﾝｸﾞﾙ（溶融亜鉛ﾒｯｷ）下部2段 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ4ｔ裏張　ｺﾞﾑｱｽﾙｰﾌｨﾝｸﾞ1.0ｔ
②	屋根：ｶﾗｰGL鋼板0.5ｔ立平Tｶﾝ合葺（ｱｰﾙ工法）　雪止金物2段 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ4ｔ裏張　ｺﾞﾑｱｽﾙｰﾌｨﾝｸﾞ1.0ｔ
③	破風板：ｶﾗｰGL鋼板0.8ｔﾊﾟﾈﾙ加工　耐水PBﾎﾞｰﾄﾞ12.5ｔ裏張
④	幕板・笠木・ｱｰﾙ壁：ｱﾙﾐ鋼板ﾊﾟﾈﾙ１．５ｔ　焼付塗装（ｸﾞﾗｲﾄ吹付）
⑤	柱型・下り壁：ｱﾙﾐ鋼板ﾊﾟﾈﾙ１．５ｔ　焼付塗装（ｸﾞﾗｲﾄ吹付）
⑥	幕板：押出し成形板（ｺｰﾅｰ共）　DP塗　240ﾀｲﾌﾟ
⑦	幕板：押出し成形板（ｺｰﾅｰ共）　DP塗　240＋150ﾀｲﾌﾟ
⑧	特殊機能性防水材　ﾓﾙﾀﾙ下地
⑨	ｱﾙﾐ庇　出300　外部ｱﾝｶｰ止方式
⑩	外壁：防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ16ｔ張　通気金具工法　透湿防水ｼｰﾄ0.2ｔ張
⑪	壁見切縁：SUS304　HL1.5t曲げ加工
⑫	ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ受角ﾊﾟｲﾌﾟ：SUS304　HL16*16*1.5t
⑬	施設名看板（上下取付金物－SUS304　HL2t曲げ加工）
⑭	雨押え：ｶﾗｰGL鋼板0.5ｔ　木下地30*90
⑮	土台水切：ｶﾗｰGL鋼板0.4ｔ
⑯	基礎立上り部：化粧型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上
⑰	化粧型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し小叩き仕上
⑱	床：磁器質150角ﾀｲﾙ張
⑲	犬走り：ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え
⑳	軒樋：ｶﾗｰ塩ビ複合樹脂製V200　吊金物ｽﾃﾝﾚｽ製
㉑	軒樋：ｶﾗｰ塩ビ複合樹脂製W120　吊金物ｽﾃﾝﾚｽ製
㉒	竪樋：ｶﾗｰVU75　掴金物：ｽﾃﾝﾚｽ製
㉓	竪樋：ｶﾗｰVU50　掴金物：ｽﾃﾝﾚｽ製
㉔	玄関ﾎﾟｰﾁ竪樋：ｶﾗｰｽﾃﾝﾚｽφ60　掴金物：ｽﾃﾝﾚｽ製
㉕	手すり：溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げの上　ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂塗料塗　上部φ42.7*2.0 下部φ34.0*2.0　脚□－35*35*2@1200　手すり子φ13@100
㉖	階段（蹴上面・裏側）：PL-4.5ｔ曲げ加工　ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂塗料塗
㉗	階段ｻｻﾗ桁：PL-16*270　ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂塗料塗
㉘	小屋裏換気口：ｽﾃﾝﾚｽ製丸型防風板付ｶﾞﾗﾘφ150（防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ、SUS防虫網付）

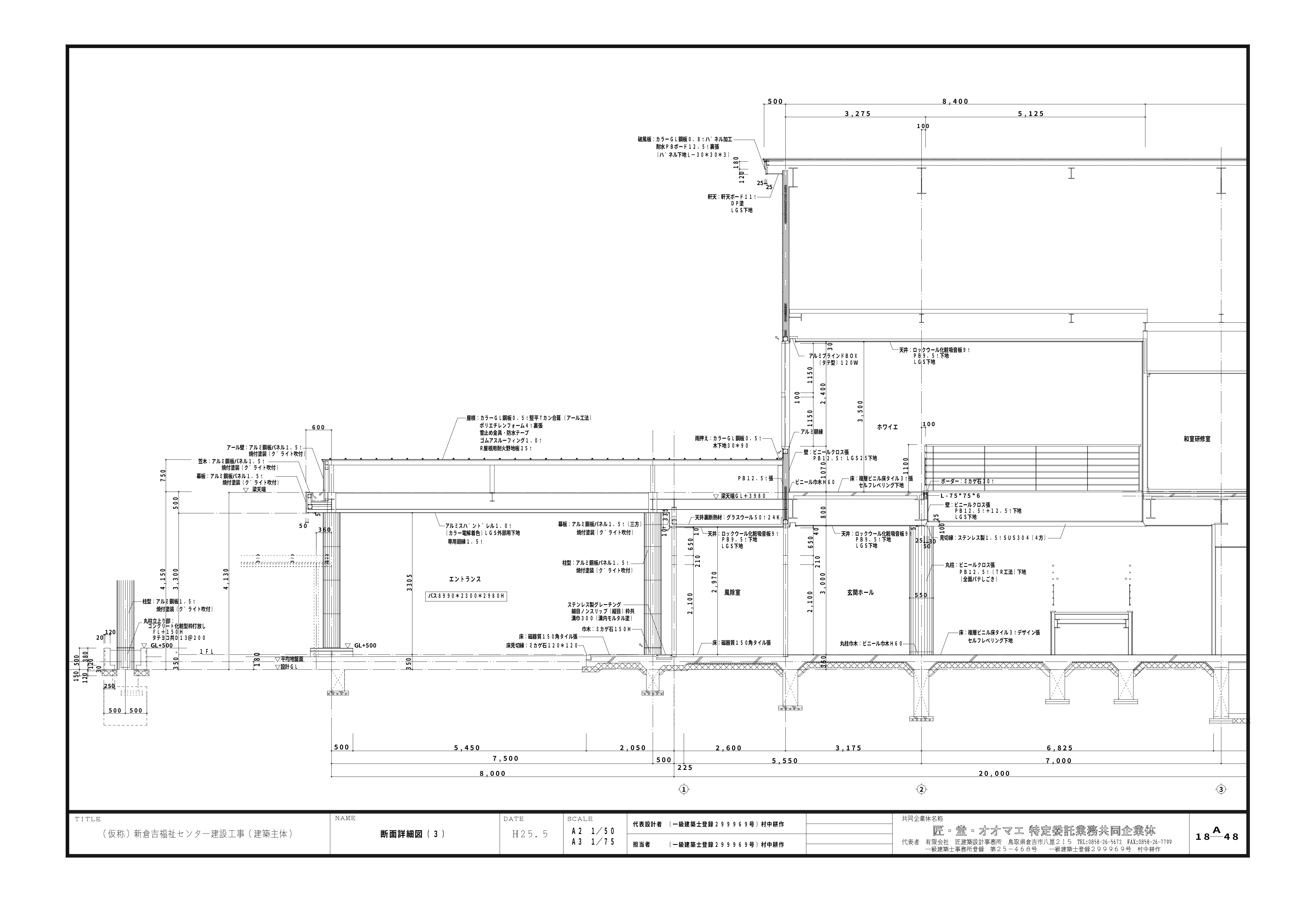
TITLE	NAME	DATE	SCALE		共同企業体名称	
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	立面図（２）	H25.5	A2 1/100 A3 1/150	代表設計者　（一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者　（一級建築士登録１８８５５２号）大前拓也	匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋２１５　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録　第２５－４６８号　一級建築士登録２９９９６９号　村中耕作	14 A 47

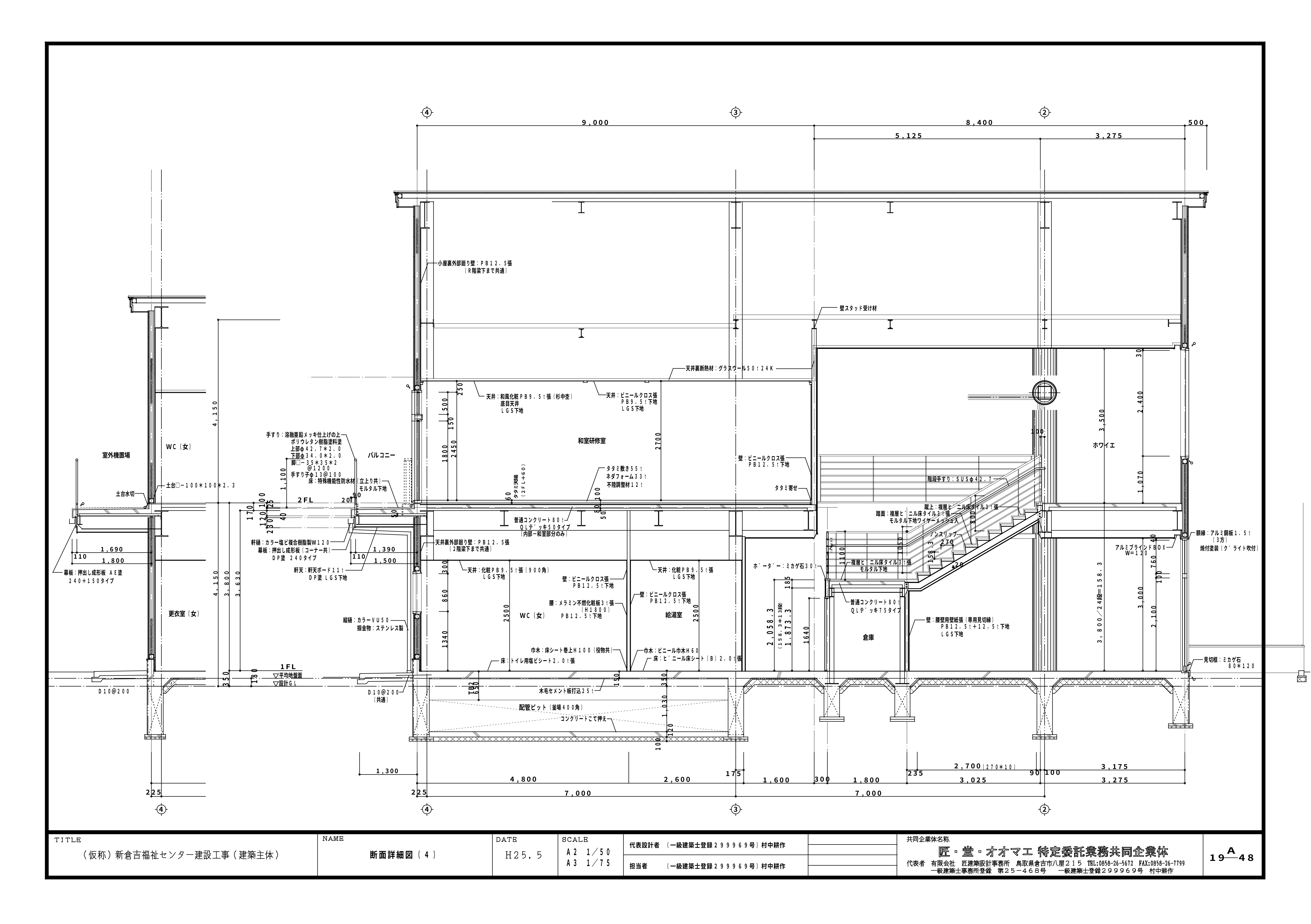


TITLE	NAME	DATE	SCALE			共同企業体名称	
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	断面図	H25.5	A2 1/100 A3 1/150	代表設計者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作 担当者 （一級建築士登録１８８５５２号）大前拓也		匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋２１５ TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録 第２５－４６８号 一級建築士登録２９９９６９号 村中耕作	15 A 47

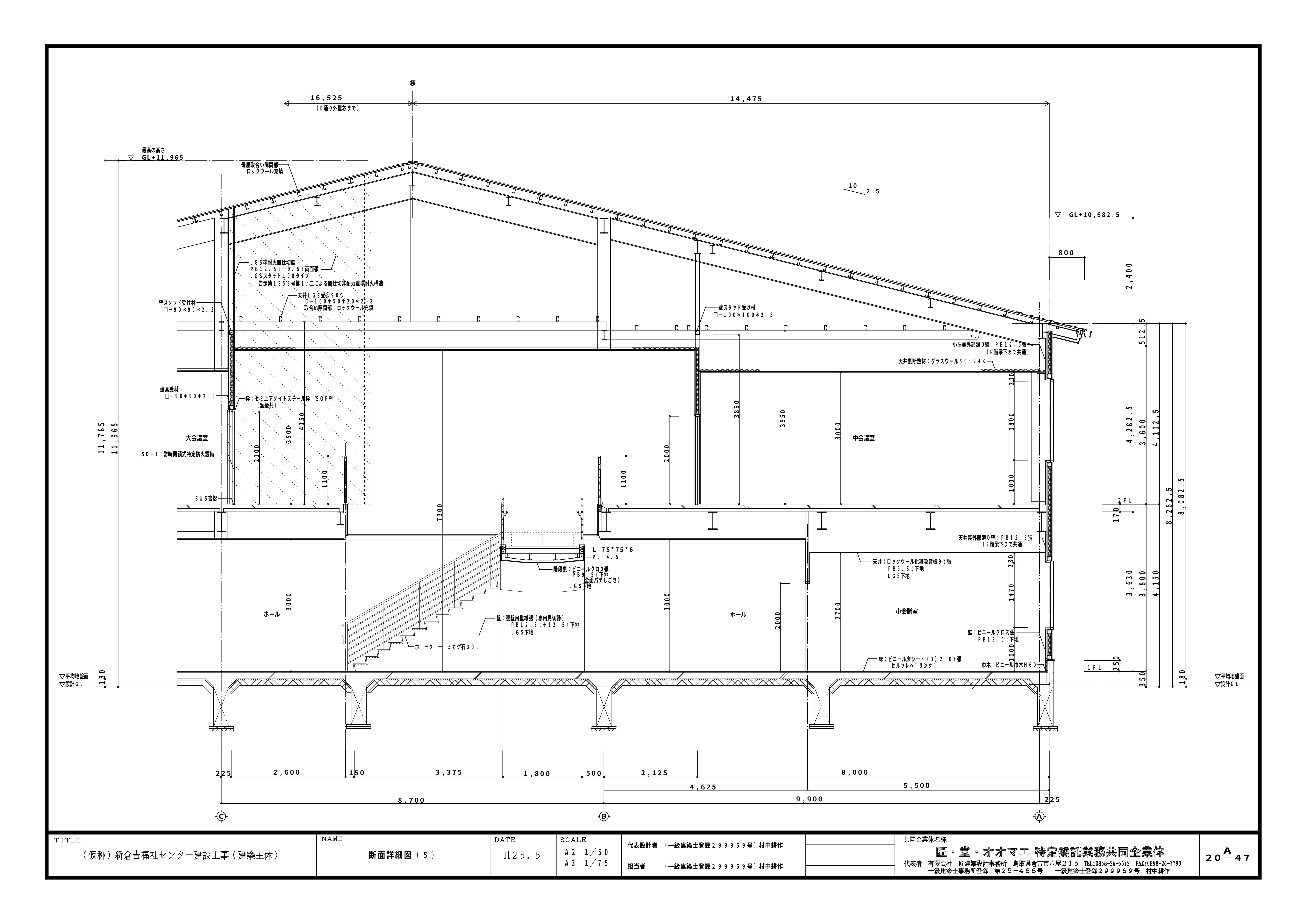

16,525
12,400
11,950
800
300
225
14,475
（A通り外壁芯まで）
棟
屋根：カラーＧＬ鋼板０．５ｔ段葺
見えがかり高さ２５ｔ
ポリエチレンフォーム４ｔ裏張
ゴムアスルーフィング１．０ｔ
耐火野地板２５ｔ
雪止めアングル（溶融亜鉛メッキ）下部２段
雪止金物上部３段
天井ＬＧＳ受＠９００
Ｃ－１００＊５０＊２０＊２．３
天井裏断熱材：グラスウール５０ｔ２４Ｋ
軒樋：カラー塩ビ複合樹脂製Ｖ２００
吊金物ステンレス製
下り壁：ビニールクロス張
ＰＢ９．５ｔ下地
ＬＧＳ下地
天井：ロックウール化粧吸音板９ｔ張
ＰＢ９．５ｔ下地
ＬＧＳ下地
破風板：カラーＧＬ鋼板０．８ｔパネル加工
耐水ＰＢボード１２．５ｔ裏張
（パネル下地Ｌ－３０＊３０＊３）
軒天：軒天ボード１１ｔ
ＤＰ塗
ＬＧＳ下地
天井：ビニールクロス張
ＰＢ９．５ｔＬＧＳ下地
カーテンボックス
集成材ＯＳＣＬ
大会議室
屋根：カラーＧＬ鋼板０．５ｔ立平Ｔカン合葺
ポリエチレンフォーム４ｔ裏張
雪止金物２段
Ｒ屋根用耐火野地板２５ｔ
Ｃ形鋼＠３０３
壁：ビニールクロス張
（ボーダークロス）
ＰＢ９．５ｔ＋強化１２．５ｔ下地
ＬＧＳ６５タイプ
（鉄骨胴縁内施工＠４５５）
（下部受Ｌ－７５＊７５＊６）
外壁：防火サイディング１６ｔ張
通気金具工法
透湿防水シート０．２ｔ張
ビニールクロス張
強化ＰＢ１２．５ｔ下地
外壁隙間部
ロックウール充填
床：タイルカーペット６．５ｔ張
セルフレベリング
ＧＬ＋４９００ 屋根下地材天端
箱樋：ウレタン系塗膜防水（Ｘ－２仕様）
耐火野地板２５ｔ下地
笠木：アルミ鋼板パネル１．５ｔ
焼付塗装（グライト吹付）
幕板：アルミ鋼板パネル１．５ｔ
焼付塗装（グライト吹付）
２ＦＬ
ＤＰＬ下端
竪樋：カラーＶＵ７５
掴金物：ステンレス製
外壁断熱材：グラスウール５０ｔ２４Ｋ
天井裏外部廻り壁：ＰＢ１２．５ｔ張
（２階・Ｒ階梁下まで共通）
ＱＬデッキ７５タイプ
（一般部分）
天井裏断熱材：グラスウール５０ｔ２４Ｋ
アルミスパンドレル１．０ｔ
天井：ロックウール化粧吸音板９ｔ張
ＰＢ９．５ｔ下地
ＬＧＳ下地
下り壁：アルミ鋼板パネル１．５ｔ
焼付塗装（グライト吹付）
壁：ビニールクロス張
ＰＢ１２．５ｔ下地
（外周廻り梁下まで施工）
ＬＧＳ２５＊２５＠３０３下地
（ボード継手部２５＊５０）
事務室
風除室
カラーアルミ額縁
土台水切：カラーＧＬ鋼板０．４ｔ
立上り部：化粧型枠コンクリート打放し仕上
（上部部位先行打設）
配線ピット
樹脂製ＯＡフリーフロアー
Ｈ＝１００・Ｗ＝５００
現場発泡硬質ウレタンフォーム２５ｔ
（外周廻り）
床：タイルカーペット６．０ｔ張
セルフレベリング
配線ピット
巾木：ビニール巾木Ｈ６０
木胴縁２０＊４０
（防腐材塗布）
床：磁器質１５０角タイル張
見切框：ミカゲ石８０＊１２０
１ＦＬ
平均地盤面
設計ＧＬ
犬走り：コンクリートこて押え
配線ピット内
モルタルこて押え
土間コンクリート１５０ｔ
ポリスチレンフォーム３種３０ｔ
防湿シート０．１５ｔ
再生砕石１２０ｔ
シーリング
外壁サイディング目地
アルミサッシ廻り
破風板接合部廻り
金属パネル廻り
防水廻り
フードガラリ廻り
雨押え水切廻り
アルミ笠木廻り
石材取合い廻り等
壁芯
柱芯
6,000
5,950
12,400
2,300
1,825
3,650
8,250
TITLE
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）
NAME
断面詳細図（１）
DATE
H25．5
SCALE
A2 1/50
A3 1/75
代表設計者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作
担当者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作
共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋２１５ TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録 第２５－４６８号 一級建築士登録２９９９６９号 村中耕作
16 A 47

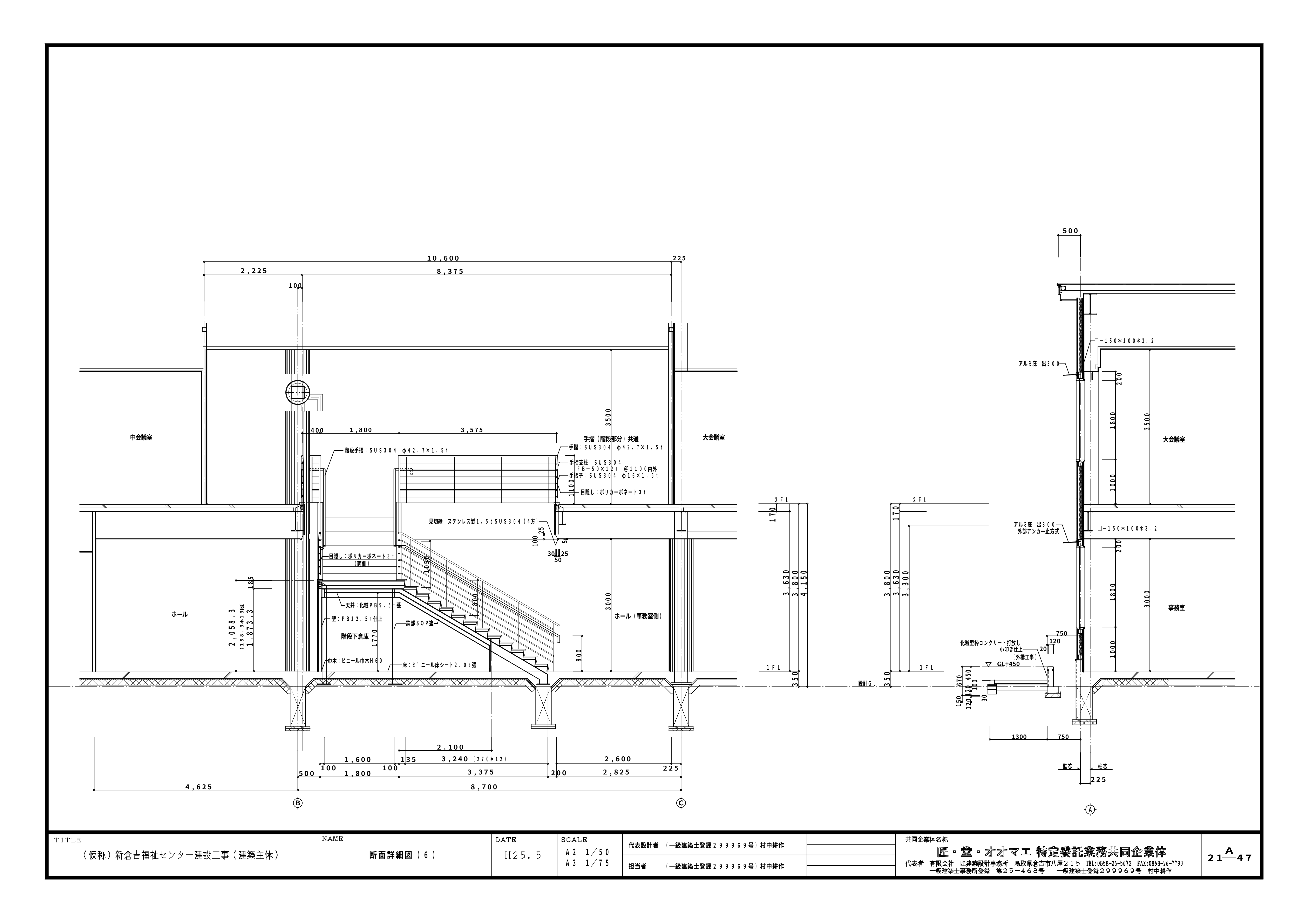

棟
16,525
（E通り外壁芯まで）
14,475
300
10
2.5
800
2,400
512.5
天井LGS受@900
C−100*50*20*2.3
H−300*150+6.5*9
天井裏断熱材：グラスウール50t24K
天井：ロックウール化粧吸音板9t張
PB9.5t下地
LGS下地
中会議室
3950
3000
200
1800
1000
4,282.5
3,600
4,112.5
8,262.5
ELV用鉄骨柱
壁：ビニールクロス張
（ボーダークロス共）
LGS準耐火遮音間仕切壁
PB12.5t+硬質9.5t両面張
エレベーター昇降路
巾木：ビニール巾木H60
床：タイルカーペット6.0t張
セルフレベ゛リング゛
2FL
170
DPL受けPL−6
1,000
3,650
1,000
750
500
ELV用鉄骨柱
1,850
□−200*200
天井：ロックウール化粧吸音板9t
PB9.5t下地
LGS下地
天井：化粧PB9.t張（900角）
LGS下地
LGS準耐火遮音間仕切壁
PB12.5t+硬質9.5t両面張
（昇降路廻り二方）
LSG90ランナー
75スタッド@303千鳥
グラスウール50t24K
壁：ビニールクロス張
壁：ビニールクロス張
PB12.5t下地
4,130
エントランス
風除室
2970
3,300
4,150
総合相談室
団体・ボランティア活動室
2700
270
1470
3,630
3,800
4,150
400
壁：PB12.5t仕上
（外部廻り二方）
40.5
49.5
（2階ELV平詳参考）
巾木：ビニール巾木H60
床：ビニール床シート（B）2.0t張
セルフレベ゛リング゛
巾木：ビニール巾木H60
床：ビニール床シート（B）2.0t張
セルフレベ゛リング゛
床：磁器質150角タイル張
350
350
特殊機能性防水材（立上り共）
250
350
設計GL
80
20
20
280
1,800
1250
150
900
280
250
150
200
30
50
2,075
1,825
1,825
3,650
2,300
2,350
3,300
4,700
9,900
225
225
10,350
柱芯
壁芯
B
A
TITLE
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）
NAME
断面詳細図（2）
DATE
H25.5
SCALE
A2 1/50
A3 1/75
代表設計者 （一級建築士登録299969号）村中耕作
担当者 （一級建築士登録299969号）村中耕作
共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋215 TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録 第25−468号 一級建築士登録299969号 村中耕作
17 A 47


破風板：カラーＧＬ鋼板０．８ｔパネル加工
耐水ＰＢボード１２．５ｔ裏張
（パネル下地Ｌ－３０＊３０＊３）
軒天：軒天ボード１１ｔ
ＤＰ塗
ＬＧＳ下地
屋根：カラーＧＬ鋼板０．５ｔ竪平Ｔカン合葺（アール工法）
ポリエチレンフォーム４ｔ裏張
雪止め金具・防水テープ
ゴムアスルーフィング１．０ｔ
Ｒ屋根用耐火野地板２５ｔ
アール壁：アルミ鋼板パネル１．５ｔ
焼付塗装（グライト吹付）
笠木：アルミ鋼板パネル１．５ｔ
焼付塗装（グライト吹付）
幕板：アルミ鋼板パネル１．５ｔ
焼付塗装（グライト吹付）
梁天端
アルミスパンドレル１．０ｔ
（カラー電解着色）ＬＧＳ外部用下地
専用廻縁１．５ｔ
幕板：アルミ鋼板パネル１．５ｔ（三方）
焼付塗装（グライト吹付）
柱型：アルミ鋼板パネル１．５ｔ
焼付塗装（グライト吹付）
エントランス
バス８９９０＊２３００＊２９８０Ｈ
ステンレス製グレーチング
細目ノンスリップ（縦目）枠共
溝巾３００（溝内モルタル塗）
巾木：ミカゲ石１５０Ｈ
床：磁器質１５０角タイル張
床見切縁：ミカゲ石１２０＊１２０
柱型：アルミ鋼板１．５ｔ
焼付塗装（グライト吹付）
丸柱立上り部：
コンクリート化粧型枠打放し
ＦＬ＋１５０Ｈ
タテヨコ共Ｄ１３＠２００
GL+500
１ＦＬ
平均地盤面
設計ＧＬ
アルミブラインドＢＯＸ
（タテ型）１２０Ｗ
天井：ロックウール化粧吸音板９ｔ
ＰＢ９．５ｔ下地
ＬＧＳ下地
ホワイエ
和室研修室
雨押え：カラーＧＬ鋼板０．５ｔ
木下地３０＊９０
アルミ額縁
壁：ビニールクロス張
ＰＢ１２．５ｔ ＬＧＳ２５下地
ＰＢ１２．５ｔ張
ビニール巾木Ｈ６０
床：複層ビニル床タイル３ｔ張
セルフレベリング下地
ボーダー：ミカゲ石３０ｔ
Ｌ－７５＊７５＊６
梁天端ＧＬ＋３９８０
天井裏断熱材：グラスウール５０ｔ２４Ｋ
天井：ロックウール化粧吸音板９ｔ
ＰＢ９．５ｔ下地
ＬＧＳ下地
壁：ビニールクロス張
ＰＢ１２．５ｔ＋１２．５ｔ下地
ＬＧＳ下地
見切縁：ステンレス製１．５ｔＳＵＳ３０４（４方）
丸柱：ビニールクロス張
ＰＢ１２．５ｔ（ＴＲ工法）下地
（全面パテしごき）
風除室
玄関ホール
床：磁器質１５０角タイル張
丸柱巾木：ビニール巾木Ｈ６０
床：複層ビニル床タイル３ｔデザイン張
セルフレベリング下地
500
8,400
3,275
5,125
500
5,450
2,050
2,600
3,175
6,825
7,500
500
5,550
7,000
8,000
225
20,000
①
②
③
TITLE
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）
NAME
断面詳細図（３）
DATE
Ｈ２５．５
SCALE
Ａ２ １／５０
Ａ３ １／７５
代表設計者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作
担当者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作
共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋２１５ TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録 第２５－４６８号 一級建築士登録２９９９６９号 村中耕作
18 A 48



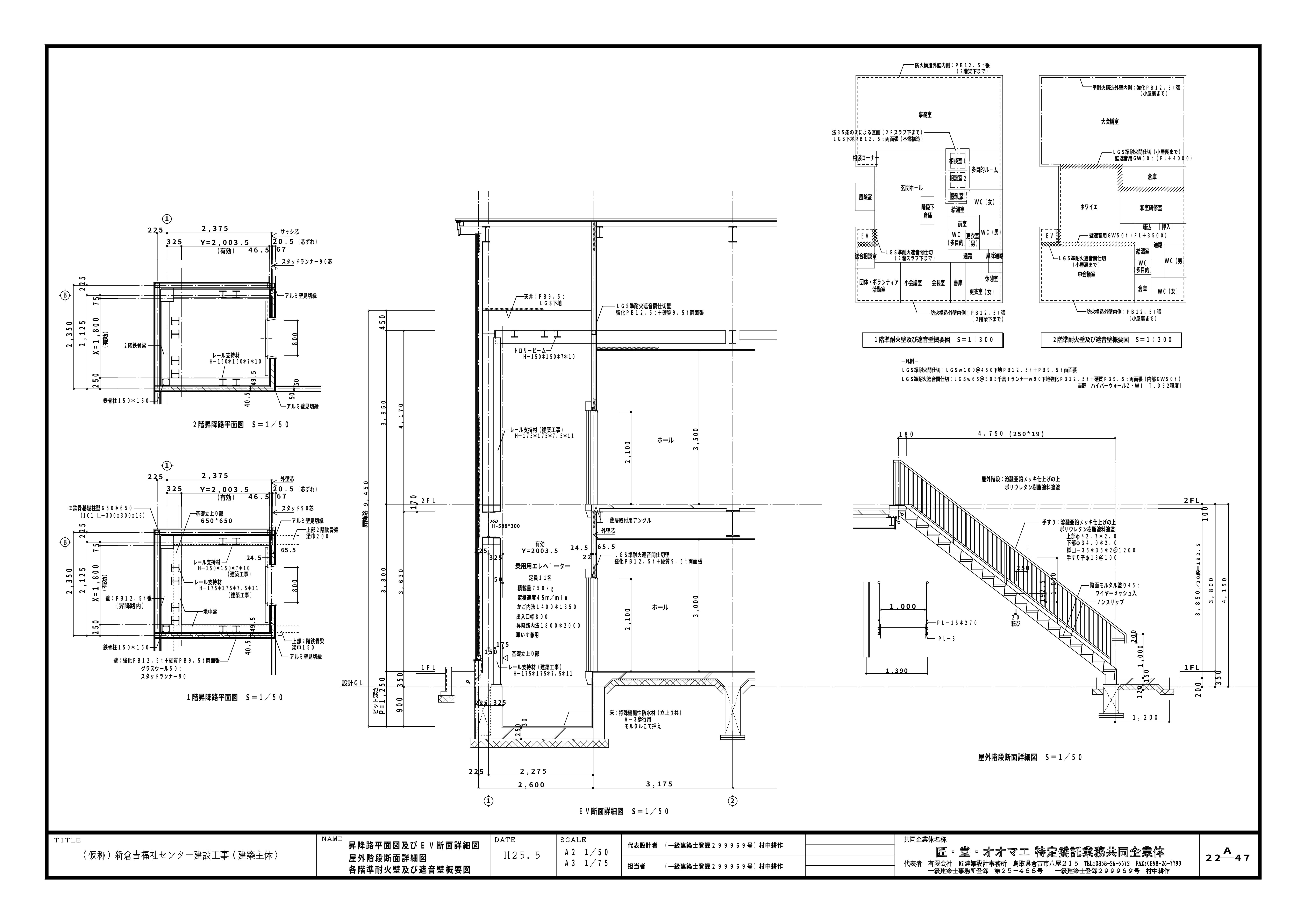
小屋裏外部廻り壁：ＰＢ１２．５張
（Ｒ階梁下まで共通）
壁スタッド受け材
天井裏断熱材：グラスウール５０ｔ２４Ｋ
天井：和風化粧ＰＢ９．５ｔ張（杉中杢）
底目天井
ＬＧＳ下地
天井：ビニールクロス張
ＰＢ９．５ｔ下地
ＬＧＳ下地
和室研修室
ホワイエ
壁：ビニールクロス張
ＰＢ１２．５ｔ下地
タタミ寄せ
タタミ敷き５５ｔ
ネダフォーム３３ｔ
不陸調整材１２ｔ
階段手すり：ＳＵＳφ４２．７
蹴上：複層ビニール床タイル３ｔ張
踏面：複層ビニール床タイル３ｔ張
モルタル下地ワイヤーメッシュ入
ノンスリップ
複層ビニール床タイル３ｔ張
モルタル下地
普通コンクリート８０ｔ
ＱＬデッキ５０タイプ
（内部－和室部分のみ）
普通コンクリート８０ｔ
ＱＬデッキ７５タイプ
天井裏外部廻り壁：ＰＢ１２．５張
（２階梁下まで共通）
手すり：溶融亜鉛メッキ仕上げの上
ポリウレタン樹脂塗料塗
上部φ４２．７＊２．０
下部φ３４．０＊２．０
脚□－３５＊３５＊２
＠１２００
手すり子φ１３＠１００
床：特殊機能性防水材（立上り共）
モルタル下地
バルコニー
室外機置場
WC（女）
更衣室（女）
土台水切
土台□－１００＊１００＊２．３
軒樋：カラー塩ビ複合樹脂製Ｗ１２０
幕板：押出し成形板（コーナー共）
ＤＰ塗 ２４０タイプ
軒天：軒天ボード１１ｔ
ＤＰ塗 ＬＧＳ下地
幕板：押出し成形板 ＡＥ塗
２４０＋１５０タイプ
縦樋：カラーＶＵ５０
掴金物：ステンレス製
天井：化粧ＰＢ９．５ｔ張（９００角）
ＬＧＳ下地
壁：ビニールクロス張
ＰＢ１２．５ｔ下地
腰：メラミン不燃化粧板３ｔ張
（Ｈ１８００）
ＰＢ１２．５ｔ下地
WC（女）
給湯室
巾木：床シート巻上Ｈ１００（役物共）
床：トイレ用塩ビシート２．０ｔ張
巾木：ビニール巾木Ｈ６０
床：ビニール床シート（Ｂ）２．０ｔ張
ボーダー：ミカゲ石３０ｔ
倉庫
壁：腰壁用壁紙張（専用見切縁）
ＰＢ１２．５ｔ＋１２．５ｔ下地
ＬＧＳ下地
額縁：アルミ鋼板１．５ｔ
（３方）
焼付塗装（グライト吹付）
アルミブラインドＢＯＸ
Ｗ＝１２０
見切框：ミカゲ石
８０＊１２０
木毛セメント板打込２５ｔ
配管ピット（釜場４００角）
コンクリートこて押え
2FL
1FL
▽平均地盤面
▽設計ＧＬ
D10@200
D10@200
（共通）
9,000
8,400
500
5,125
3,275
4,150
4,150
3,800
3,630
3,800／24段＝158.3
2,058.3
1,873.3
(158.3＊13段)
1,300
4,800
2,600
1,600
1,800
3,025
3,275
7,000
7,000
2,700(270＊10)
3,175
1,690
1,800
1,390
1,500
TITLE
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）
NAME
断面詳細図（４）
DATE
H25.5
SCALE
A2 1/50
A3 1/75
代表設計者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作
担当者 （一級建築士登録２９９９６９号）村中耕作
共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋２１５ TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録 第２５－４６８号 一級建築士登録２９９９６９号 村中耕作
19 A 48


棟
16,525
（E通り外壁芯まで）
14,475
最高の高さ
GL+11,965
母屋取合い隙間部
ロックウール充填
10
2.5
GL+10,682.5
800
2,400
LGS準耐火間仕切壁
PB12.5t+9.5t両面張
LGSスタッド100タイプ
（告示第1358号第1、二による間仕切非耐力壁準耐火構造）
天井LGS受@900
C−100*50*20*2.3
取合い隙間部：ロックウール充填
壁スタッド受け材
□−90*90*2.3
壁スタッド受け材
□−100*100*2.3
小屋裏外部廻り壁：PB12.5張
（R階梁下まで共通）
天井裏断熱材：グラスウール50t24K
建具受材
□−90*90*2.3
枠：セミエアタイトスチール枠（SOP塗）
（額縁共）
大会議室
SD−1：常時閉鎖式特定防火設備
SUS笠木
中会議室
小会議室
ホール
ホール
L-75*75*6
PL−4.5
階段裏：ビニールクロス張
PB9.5t下地
（全面パテしごき）
LGS下地
壁：腰壁用壁紙張（専用見切縁）
PB12.5t+12.5t下地
LGS下地
ボーダー：ミカゲ石30t
天井裏外部廻り壁：PB12.5張
（2階梁下まで共通）
天井：ロックウール化粧吸音板9t張
PB9.5t下地
LGS下地
壁：ビニールクロス張
PB12.5t下地
床：ビニール床シート（B）2.0t張
セルフレベリング
巾木：ビニール巾木H60
2FL
1FL
▽平均地盤面
▽設計GL
11,785
11,965
180
3500
4150
2100
1100
7300
3000
3860
3950
2000
1100
3000
200
1800
1000
170
230
1470
2700
1000
250
3000
2000
3000
512.5
4,282.5
3,600
4,112.5
8,262.5
8,082.5
3,630
3,800
4,150
350
180
225
2,600
150
3,375
1,800
500
2,125
8,000
4,625
5,500
8,700
9,900
225
C
B
A
TITLE
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）
NAME
断面詳細図（5）
DATE
H25.5
SCALE
A2 1/50
A3 1/75
代表設計者 （一級建築士登録299969号）村中耕作
担当者 （一級建築士登録299969号）村中耕作
共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋215 TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録 第25−468号 一級建築士登録299969号 村中耕作
20 A 47



TITLE	NAME	DATE	SCALE		
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）	断面詳細図（6）	H25.5	A2 1/50 A3 1/75	代表設計者 （一級建築士登録299969号）村中耕作 担当者 （一級建築士登録299969号）村中耕作	共同企業体名称 匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体 代表者 有限会社 匠建築設計事務所 鳥取県倉吉市八屋215 TEL:0858-26-5672 FAX:0858-26-7799 一級建築士事務所登録 第25-468号 一級建築士登録299969号 村中耕作

21 A 47



2階昇降路平面図　S＝1／50
1階昇降路平面図　S＝1／50
EV断面詳細図　S＝1／50
1階準耐火壁及び遮音壁概要図　S＝1：300
2階準耐火壁及び遮音壁概要図　S＝1：300
屋外階段断面詳細図　S＝1／50
乗用用エレベーター
定員11名
積載量750kg
定格速度45m／min
かご内法1400＊1350
出入口幅800
昇降路内法1800＊2000
車いす兼用
ホール
事務室
玄関ホール
大会議室
ホワイエ
中会議室
和室研修室
倉庫
屋外階段：溶融亜鉛メッキ仕上げの上
ポリウレタン樹脂塗料塗装
－凡例－
LGS準耐火間仕切：LGSw100@450下地PB12.5t＋PB9.5t両面張
LGS準耐火遮音間仕切：LGSw65@303千鳥＋ランナーw90下地強化PB12.5t＋硬質PB9.5t両面張（内部GW50t）
［吉野 ハイパーウォールZ・WI TLD52程度］
TITLE
（仮称）新倉吉福祉センター建設工事（建築主体）
NAME
昇降路平面図及びEV断面詳細図
屋外階段断面詳細図
各階準耐火壁及び遮音壁概要図
DATE
H25．5
SCALE
A2 1/50
A3 1/75
代表設計者　（一級建築士登録299969号）村中耕作
担当者　（一級建築士登録299969号）村中耕作
共同企業体名称
匠・堂・オオマエ 特定委託業務共同企業体
代表者　有限会社　匠建築設計事務所　鳥取県倉吉市八屋215　TEL:0858-26-5672　FAX:0858-26-7799
一級建築士事務所登録　第25－468号　一級建築士登録299969号　村中耕作
22 A 47